

年報

2010

vol.8

～人と自然と文化の調和した丹波の森づくりをめざして～



(財) 兵庫丹波の森協会

県立丹波の森公苑

県立ささやまの森公園

県立丹波年輪の里

もくじ

森トピックス	2
活動方針	9

丹波の森公苑

■2010年度事業報告	
事業報告	10
講座一覧	30
出前講座の状況	35
活動・施設利用一覧	37
理事会・運営委員会の開催状況	46
■組織及び施設概要	
機能	51
沿革	54
施設の概要	55
組織と職員	57

ささやまの森公園

■2010年度事業報告	
事業報告	59
プログラム一覧	65
活動・施設利用一覧	70
運営協議会委員名簿	75
■組織及び施設概要	
機能	76
沿革	77
施設の概要	78
組織と職員	79

丹波年輪の里

■2010年度事業報告	
事業報告	81
事業一覧	85
活動・施設利用一覧	89
運営協議会委員名簿及び開催状況	96
■組織及び施設概要	
沿革	97
施設の概要	99
組織と職員	100

利用案内	101
------	-----

森トピックス

1. たんば恐竜・哺乳類化石等を活かした

まちづくりの推進



協議会マーク



サイエンスカフェ

篠山層群で発見された世界的にも希少な恐竜・哺乳類化石等や丹波の魅力を広く情報発信しながら、地域が一体となって、持続可能な地域づくりを進めるため、「たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会」を設立しました。

(財)兵庫丹波の森協会はその事務局機能を担い、平成 22 年度は、「化石セミナー」や「サイエンスカフェ」の開催、ホームページの作成、化石を活かしたツアーの企画や商品開発等を進めました。また、発掘された化石や篠山層群の見所を満載した、恐竜化石マップ 2011 を作成するとともに、協議会の活動がイメージできるマークを選定するため、丹波地域の小・中・高校生対象に募集したところ、514 点の応募があり、最優秀賞に選ばれた作品をもとにデザインされた協議会マークが決定しました。

2. 講座「丹波学」の開催

『みち』から見た丹波の歴史 ～京都丹波とともに学ぶ～



現地見学の様子

古くから交通の要所であった丹波地域について、『みち』をキーワードにして、往来した人や物、数々の文化とその交流の歴史を学びました。また、京都丹波との関係も考えながら、兵庫と京都の両丹波で育まれた文化や先人たちの知恵を再認識し、今後の丹波地域のあり方を探りました。

- 1 伊能忠敬が測量した丹波の道
郷土史家・伊能忠敬研究会会員 横川淳一郎 氏
- 2 南北朝時代の丹波 ～足利尊氏の動向を中心に～
亀岡市文化資料館長 黒川孝宏氏
- 3 古道と信仰の道を行く 日本民俗学会評議員 久下隆史氏
- 4 丹波に延びる鉄路 南丹市立文化博物館学芸員 井尻智道氏
- 5 丹波再発見総括シンポジウムと京都丹波の史跡巡り
亀岡市文化資料館長 黒川孝宏氏

3. 広がる交流の輪『丹波の森演劇祭』

京都府からの初参加



地元劇団発表公演より

丹波の森子どもミュージカル体験塾は、将来の芸術文化を担う子どもたちにミュージカル体験の機会を提供し創造する楽しさを味わわせることで、子どもたちの心身の健やかな成長を願っています。これに加え、地元で活動する劇団等が一堂に会し、地域住民の演劇に対する理解と関心を高め、演劇を通して地域住民の交流を深めるために、劇団発表公演を開催しました。平成22年度は、これら『丹波の森演劇祭』に、京都府（綾部市）の劇団（花形文化劇場）も初めて参加し、芸術文化を通じた交流の輪が、いっそう広がりました。

4. 丹波出会いサポートセンターの開設

～ふたりの出会いを応援します！～



丹波出会いサポートセンター開所式

急速に進む人口減少社会にあって、ここ兵庫県においても少子対策については喫緊の課題となっており、「ひょうご縁結びプロジェクト」を推進するため、各地域で出会いの場作りを支援するサポートセンターを開設することになりました。

丹波地域では、12月1日に丹波の森公苑内に、「丹波出会いサポートセンター」を開設し、2名の「このとり出会いサポーター」を配置し、お見合い希望の「はばタン会員」の登録、お見合い紹介等を開始しました。

登録者数 男性 51名 女性 13名
お見合い数 9組

5. 丹波の森公苑環境学習推進事業の充実



手づくり網小屋とオオムラサキ

兵庫丹波オオムラサキの会との連携

国蝶オオムラサキが飛翔する空間と自然豊かな丹波の里山文化を創造することを目的に平成 23 年 2 月に兵庫丹波オオムラサキの会が設立されました。生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりの推進を図る丹波の森公苑の事業と目的を同じとすることから、兵庫丹波オオムラサキの会と協働で国蝶オオムラサキ舞う里山づくりを学校や地域住民に発信しました。

6. 兵庫教育大学連携事業 丹波の森 美術学校 を実施

～陶片で彩るMy Style 陶灯づくり！ひと夏のアーティスト体験～



制作の様子

大学生が自ら講師となってワークショップを実施

大学教授等の監修のもと、美術を専門に学ぶ大学生がワークショップを企画・実施するなかで、美術の新たな可能性を発見するとともに、児童及び青少年が創作活動を通じ、美術の楽しさと奥深さを知る機会として実施。不要となった陶磁器の破片を用いて、陶器の陶灯とうろうを制作しました。

<指 導> 兵庫教育大学学生（監修：大学教員）

<日 程>

- 1 日目 8月5日(木)
オリエンテーション、陶片作り、個人作品制作
- 2 日目 8月6日(金)
グループ作品制作
- 3 日目 8月28日(土)
作品講評・鑑賞、点灯式

7. 丹波の森美術展40周年記念招待作家展の開催



展示会場の様子

丹波の森美術展40年間の集大成

世代や分野を超えた心の交流を深め、芸術文化の高揚を図ることを目的として実施してきた「丹波の森美術展」も、その前身である「丹波文化会館美術展」から通算して40回目を迎え、その集大成として「丹波の森美術展40周年記念招待作家展」の開催をもって終了することとなりました。

会場には、日本画、洋画、彫刻・彫塑、工芸、写真、書の6部門で、招待作家及び平成8年度から美術展の審査員を務めていただいた先生方の作品45点を展示しました。個性豊かな作品に会場は賑わい、期間中の来場者は656人で、心に残る最高のフィナーレとなる美術展となりました。皆様のご愛顧に感謝申し上げます。

開催日 平成23年7月3日～11日※5日は休園
会場 丹波の森公苑 多目的ルーム

8. 丹波の森国際音楽祭

シューベルティアーデたんば2010の開催



ファイナルコンサートの様子

歌い継がれ、集い継がれたコンサート

本音楽祭は、音楽を通じた仲間づくりと、丹波地域の人々が自分たちの故郷の良さを見つめ直すきっかけになればと願いスタートしました。16回目となった今年にはスウェーデンからリコーダー奏者とアーチリュート奏者を招聘し、「ファイナルコンサート」を開催しました。そのほか、地域住民の企画・運営による「街角コンサート」、小学校での「ふるさと音楽ひろば」、中学校・高等学校での「キン・コン・カン・コンサート」も盛況の内に開催できました。

シューベルティアーデたんばというここにしかない文化資源をこれからも、地域をつなぎ、家族をつなぎ、世代を超え愛され続けていく音楽祭になるよう、心を一つに17回目の新たな企画にチャレンジしていきます。

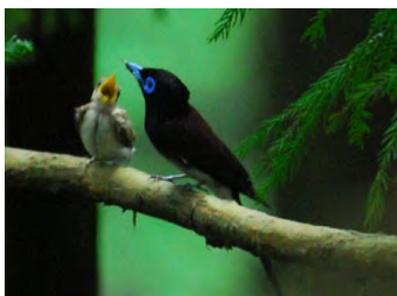
9. 「ギフチョウ」の飼育を開始



園内のオオムラサキを飼育しているゲージ内で、ギフチョウの飼育を始めました。その成虫は、桜の開花期のみ姿を見せる、『春の女神』と呼ばれる里山を代表する美しいチョウです。

飼育に際しては、まず冬季にゲージ内に幼虫の食草であるカンアオイを植栽し、4月に10匹の成虫を放したところ、葉の裏に産卵し、数匹の幼虫が無事に育ちました。幼虫は8月にサナギになり、翌年4月まで越冬します。将来的には数を増やして、来園者の方々に、その美しい姿を園内のいたるところで見ただけのようにしたいと思っています。

10. 野鳥の森の充実



平成21年度から3年計画で、(財)三菱UFJ環境財団にご協力いただき、野鳥が好む実の成る木の植樹を行っております。

野鳥観察小屋と合わせた植栽エリアを『野鳥の森』と名付け、平成22年度も冬季にガマズミ、ウメモドキ、ナナカマドなどを20本植樹しました。

巣箱なども設置し、徐々に野鳥の姿も増えてきました。特に東南アジアからサンコウチョウ・アカショウビンが飛来しており、愛鳥家の訪園が多くなっています。

今後もさらに『野鳥の森』を充実させていく予定です。

11. 木育講演会の実施

テーマ：「木育」で人間が、地球が蘇る



講演中の山下教授

木育とは、木工作、木を切る、削る等の体験を通じて、木や森、自然環境のこと、そして生活環境のことを学び、人間としての成長も促す教育活動のことです。

日本は「木の文化の国」で、昔から住宅はもちろん、食器や家具など身近な生活用品は殆どが木製品でした。大人も将来を担う子ども達も、実際に木に触れ、木を使うことを通して、より身近に木を感じ、木のぬくもりなど良さを知り、森林や自然、地球環境を思いやる心を育てようという提案です。「ものづくり」と学習、「ものづくり」と木の切っても切れない関係について、わかりやすくお話いただきました。

- 1 日時：平成 22 年 10 月 30 日(土) 13:30～15:30
- 2 会場：丹波年輪の里 木の館研修室
- 3 講師：島根大学教育学部 山下晃功教授

12. 第 2 3 回丹波の森ウッドクラフト展

(おもちゃ大賞展)



一般の部 優秀賞（丹波市長賞）
「ゆめのゆりかご」
大森 恵さん（丹波市）

丹波から 4 名の入賞者

23回目を迎えた丹波の森ウッドクラフト展、一般の部は全国20の都道府県から57点、ジュニアの部では260点の作品の応募がありました。

今年度は、丹波からの出展者が4名（一般の部1名、ジュニアの部3名）入賞するなど、丹波にとっては大変うれしい結果となりました。

併行して開催した展示会にはたくさんの来場者があり、木の温もりや自らの手でものを作る創造の喜び、楽しさを伝えることができました。

活動方針

■基本方針

財団法人兵庫丹波の森協会は、丹波地域（篠山市・丹波市）の地域づくりの指針である「丹波の森構想」の推進母体として昭和63年に設立、平成2年に法人化され、兵庫県、篠山市、丹波市や市民と連携しながら、丹波の森づくりの意識啓発や人材育成、ふるさと教育の推進、地域づくり活動の支援などの取り組みを進めてきた。

また、丹波の森づくりの拠点である「丹波の森公園」と「ささやまの森公園」「丹波年輪の里」及び「丹波の森研究所」を管理運営し、新しいライフスタイルの創造と地域資源を活かした地域づくり、地域情報の発信、環境学習の推進、木工クラフトの創造、活動のコーディネートなど多彩な分野の学習、交流、地域づくり事業等を支援・推進してきた。

平成22年度は、丹波の森構想評価・検証結果報告を踏まえ、「もりびとになって、たんばらしさを楽しもう」をテーマに、次世代の人材育成と集落の活性化を支援する「集落の活性化事業」や「恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業」に取り組むとともに、新しい地域文化の創造や生活創造活動への支援、生物多様性の保全に向けた取り組みを引き続き推進する。加えて3つの施設を一体的に管理・運営することにより、事務事業の効果的、効率的な執行を図り、総合的な地域情報の発信や施設の利用促進を行っていく。

具体的には、「人と自然と文化の調和した丹波の森づくり」を目指して、次の3つのテーマを設定し、事業や取り組みを推進する。

■3つの推進テーマ■

- **森林文化の創造** …… 人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するため、魅力ある地域づくりや生物多様性保全に向けた里山づくり、里山とのふれあい事業、木育の推進など**森林文化の創造**に取り組む。
- **生活創造活動への支援** …… 多彩なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、暮らしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など**生活創造活動への支援**を行う。
- **芸術文化の振興** …… 人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切にすることを醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など**芸術文化の振興**を図る。

【丹波の森構想】

①自然と共に生きる地域社会の実現

人間も自然界の一員であることを認識して、自然と共に生きる地域社会の実現をめざします。

②潤いと安らぎのある地域社会の実現

素晴らしいふるさと景観をかけがいのない共有財産とする共通認識にたつて、環境や景観の保全と創造を図り、潤いと安らぎのある豊かな地域社会の実現をめざします。

③活力のある開かれた地域社会の実現

地域風土を生かし、文化の十字路口として、新しい地域文化を創造し活力のある開かれた地域社会の実現をめざします。

■みんなで丹波の森づくり■

丹波地域のすぐれた自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波の森（地域）づくりを推進するため、次の広域団体が事務局を丹波の森公苑に設置し、（財）兵庫丹波の森協会とともに参画と協働による地域づくりを推進しています。

○こころ豊かな美しい丹波地域推進会議

丹波地域の各種団体の中間支援組織として各団体と重層的なネットワークを築きながら、連携・協働して“こころ豊かな美しい丹波”の実現を図る。

①実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会、地域団体活動パワーアップ事業 ・県民運動E-news、情報誌「ネットワーク」丹波頁の発行 ・森のe～なかまの利活用促進の啓発
-------	---

○丹波文化団体協議会

丹波（篠山市・丹波市）地域内の文化団体が相互の緊密な連携のもとに研修を深め、芸術・文化の振興を図り、もって地域文化の向上に寄与する。

①実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波文化活動交流会 ・ふるさとの心うたう丹波音楽祭 ・丹波の森フェスティバル（丹波市茶華道連盟によるお茶席）など
②協賛事業	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば ・市民創作オペラ「おさん茂兵衛 丹波歌暦」
③兵庫県地域文化団体協議会関係事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化を考えるシンポジウム

○丹波消費者団体連絡協議会

丹波地区の消費者団体相互の連絡を密にし、消費者活動の推進を図る。

①実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・くらしのクリエイター研修、地域別学習会、金融学習会 ・夏の買い物袋持参運動店頭キャンペーン ・冬の買い物袋持参運動店頭キャンペーン ・丹波の森「消費者のつどい」、「おいしいごはんを食べよう県民運動」の推進 ・丹波の食育を推進する「こども料理教室」の開催
-------	---

○丹波青少年本部

青少年の健全育成にかかる行政・団体等が連帯して、青少年の健全育成活動を強力に推進する。

①実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょうごハート・ブリッジ運動の推進、子どもの冒険ひろば事業の支援 ・若者ゆうゆう広場事業の支援、たんば子ども塾・丹波の森若者塾の開催 ・丹波青少年マナーアップ啓発事業の推進 ・こころ豊かな人づくり 500人委員丹波OB会活動の支援 ・たんば青少年環境浄化啓発活動の支援 ・第11期こころ豊かな人づくり 500人委員会の開催
-------	---

○兵庫県生きがい創造協会丹波支部

丹波（篠山市、丹波市）地域の高齢者大学・講座と連携し、地域のニーズを反映した高齢者の健康と生きがいの創造活動を開発・普及する。

①実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会、高齢者学習研究協議会 ・高齢者大学OB会等による団塊の世代・シニアの広場デビュー支援事業 ・学ぶ高齢者のつどい中央大会への参加 ・兵庫県高齢者学習研究協議会ブロック代表者会議
-------	---

※他のグループ活動については、丹波の森公苑ホームページの“森のe～なかま”をご覧ください。

(URL : <http://www.tanba-mori.or.jp/bbs/index.html>)

丹波の森公苑 事業報告

2010年度に実施した丹波の森公苑の主要な事業・取り組みについては次のとおりです。

森林文化(地域づくり)の創造 10

魅力ある地域づくりの推進

生物多様性保全に向けた
豊かな里山づくりの推進

生物多様性を育む里山との
ふれあい事業の推進

- ・丹波の森大学の開設及び専科生への研究支援
- ・ウイーンの森親善訪問事業の実施
- ・丹波の森研究所の活動
- ・丹波恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業の推進
- ・県立大学山南スタジオの開設事業
- ・花づくり研究員活動支援事業の実施
- ・丹波の森フェスティバルの開催
- ・里山ボランティア養成事業の実施
- ・国蝶オオムラサキの舞う里山づくり
- ・丹波の森公苑環境学習推進事業の実施

生活創造活動への支援 13

地域・団体活動への支援

生涯学習の場の提供

くらしの安全安心の推進

- ・生活創造活動支援機能充実事業の実施
- ・地域づくり活動総合コーディネーターによる地域活動支援
- ・地域高齢者大学4年制大学講座「丹波OB大学」の開設
- ・地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波OB大学大学院」の開設
- ・講座「丹波学」の開設
- ・兵庫県立大学特別公開講座の開設
- ・消費生活相談の実施
- ・消費生活情報の提供
- ・「くらしの通信講座」の開設
- ・トライやる・ウィーク、インターンシップの受入れ
- ・丹波の森美術学校の開設
- ・丹波の森子どもミュージカル体験塾の開設
- ・丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯の開催

芸術文化の振興 8

舞台芸術鑑賞機会の提供

芸術文化活動の振興

芸術文化団体等活動支援

- ・シューベルティアードたんば2010の開催
- ・舞台芸術鑑賞機会の提供
- ・ふるさと心の心をつたう丹波音楽祭の実施
- ・丹波文化活動交流会の実施
- ・丹波合唱講習会の実施
- ・丹波の森演劇祭の開催
- ・丹波の森アートフェスティバルの開催
- ・丹波の森食文化講座の開設

施設の利用促進 1

丹波地域の情報発信

- ・情報誌等の発行

丹波県民局等との連携 12

- ・県民交流広場事業の実施(丹波県民局)
- ・たんば田舎暮らしワンストップ相談の実施(丹波県民局)
- ・県民交流広場を活用した都市との交流事業の支援(丹波県民局)
- ・交流促進パワーアップ事業の実施(こころ豊かな美しい丹波地域推進会)
- ・こころ豊かな人づくり500人委員会の運営(丹波青少年本部)
- ・たんば子ども塾の開催(丹波青少年本部)
- ・子どもの冒険ひろば事業の支援(丹波青少年本部)
- ・丹波の森若者塾の開催(丹波青少年本部)
- ・若者ゆうゆう広場事業の支援(丹波青少年本部)
- ・丹波青少年マナーアップ啓発事業の推進(丹波青少年本部)
- ・青少年を守り育てる県民スクラム運動の推進(丹波青少年本部)
- ・高齢者の生きがい創造の推進(兵庫県生きがい創造協会丹波支部)

森林文化(地域づくり)の推進

丹波の森大学（第20期）の開設及び専科生への研究支援

◇実施内容

丹波の森構想に沿った個性的な地域づくり、それを支える人づくり、環境づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を組み合わせた講座を10回開催し、その内1回を公開講座として広く市民の参加を呼びかけました。

普通科コース 全10回講座 86人受講

6月25日（金）～12月10日（金）

（詳細は講座一覧に掲載）

◇成果（自己評価等）

丹波の森構想評価・検証を踏まえ、「もりびとになって、たんばらしさを楽しもう」を合言葉に、新たな丹波の森づくり、地域づくりの方向性を提案しました。

◇23年度の予定

引き続き実施していきます。



講座の様子

協会事務局

ウィーンの森親善訪問事業の実施

◇実施内容

「森と自然とふれあいの旅」をテーマに、丹波の森と友好親善提携を結ぶウィーンの森を表敬訪問し、世界遺産のハンガリーのブダペスト、音楽の都ザルツブルグ、スイスアルプスを巡りました。

参加人員 43人

実施期間 7月6日～7月14日（9日間）

◇成果（自己評価等）

交流により相互の森づくりに向けて一層の親密な関係ができました。

◇23年度の予定

第20回記念ウィーンの森親善訪問を行います。



シルバーエコーささやまと
ミヒヤエル合唱団との交歓会

協会事務局

丹波の森研究所の活動

◇実施内容

地域づくり支援事業

活力と魅力ある丹波地域づくりに向けて、地域・市・森協会が情報共有のもとに協働していくことを基本としながら、①要支援度の高い地区の重点的支援（研究員の派遣）、②情報共有のための地区カルテの作成、③実践活動を通じた人材育成の3つを柱として支援していく方針を設定し、推進しました。

美しい村づくり活動支援事業

丹波らしい風景を守り育てるために設立された「たんば道えにし」（26 団体）の活動支援とともに、雑誌・ホームページなどへの情報提供を通じて、地域外へむけて丹波の魅力の情報発信を行いました。

たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進事業

（丹波県民局・篠山市・丹波市からの受託事業）

恐竜・ほ乳類化石等の価値や丹波の魅力を内外に広く発信しながら、地域が一体になったまちづくりを推進することを目的に、平成 22 年 2 月に設立された「たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会」（61 団体）の事務局として、各種プロジェクトの企画調整、ガイド養成を目的とする化石セミナーの開催、ホームページ「恐竜.info」の開設、サイエンスカフェの開催、たんば恐竜化石マップの作成、協議会マークの募集などを行いました。



兵庫県立大学山南スタジオの開設事業（丹波県民局・丹波市からの受託事業）

フィールドワークなどを通じて社会に対応できる実践・応用力のある人材の育成が大学に求められている中、兵庫県立大学の学生・教員が地域の住民とともに、地域活性化に向けた計画や提案などを行う拠点として、丹波市山南町の民家を活用した大学スタジオを開設し、運営の補助を行いました。



企業と住民の協働による企業の森・里づくり事業（丹波県民局からの受託事業）

企業と地域が協力して、森林・農地の保全整備を行い、都市・農村の交流を進める「企業の森・里づくり」（平成 23 年 3 月現在 5 地区）の活動をサポートするとともに、新たに森・里づくりへの参画を希望する企業の情報収集と地域情報の提供、マッチングに係わるコーディネートなどを行いました。

丹波の森研究所

花づくり研究員活動支援事業 「花と緑の教室」「園芸教室」の実施

◇実施内容

美しい丹波づくりを推進するため、花、緑、園芸に関する知識の習得並びに地域での普及活動のリーダーを育成する教室を開催しました。

(花と緑の教室)

開催日 毎月原則第2木曜日

受講者 午前・午後の部 計65人

参加者数 延べ652人

(園芸教室)

4回(6、8、10、12月)28人/1回 延べ86人

◇成果(自己評価等)

地域住民の参加希望が多く、年間を通じた活動により、各参加者の花づくりを通じた交流が深まっている。

◇23年度の予定

引き続き、長期(1年)講座に加え、短期講座を開催するなど、住民ニーズに沿った展開を図る。



寄せ植えづくり実習

森づくり課

丹波の森フェスティバルの開催

◇実施内容

「丹波の森構想」評価・検証結果を踏まえ、「もりびとになって たんばらしさを楽しもう」をテーマに、丹波の森を守り盛んにし、元気で楽しい丹波地域をめざして、緑豊かな自然の中で地域や世代を越えて多くの人々の参加により、交流とふれあいの場となる多彩な事業を実施しました。

内容

10月31日(日)

ふれあいステージ、地域交流フェスタ、
わくわく親ひろば体験まつり、里山ハイク、
丹波の森演劇祭、フリーマーケット、
特産市コーナー、お茶席ほか

参加者：約3,000人



ふれあいステージ

◇成果(自己評価等)

都市部や幅広い分野からの参加があり、秋のシンボルイベントとして定着してきました。

◇23年度の予定

引き続き実施します。

企画・調査課

里山ボランティア養成事業の実施

◇実施内容

里山の魅力や大切さをともに考え、身近な里山づくりを促進していくため、森づくりの技法・知識、森を活用したソフト事業のノウハウを習得し、森を守り育てる人材を養成しました。

- ・第11期森づくりスタッフ活動
年間12回実施 スタッフ数25人
森づくり活動アドバイザー2人設置
学校や団体等の森づくり・環境学習活動を支援
- ・里山倶楽部による森づくり活動を支援

◇成果（自己評価等）

本苑の里山を拠点として、多彩なボランティア活動が展開され、丹波地域外からの参加者も増え、都市との住民交流も深まっている。



里山整備の様子

◇23年度の予定

新たに第12期森づくりスタッフを募集し、一層充実した活動を展開する。

森づくり課

丹波の森公苑環境学習推進事業の実施

◇実施内容

丹波の森公苑の豊かな自然環境を活かして、子どもや地域住民の環境学習・自然体験活動を促進するとともに、次代の環境学習・自然体験活動の支援ボランティアを育成しました。

- ・丹波縄文の森塾の開設
年間 10回（うち1回は2泊3日のキャンプ）
塾生 25人（小学3～6年生）延べ365人
うちキャンプの参加者 18人
- ・環境体験プログラム
メダカの棲む環境調査
親水公園を活かした生き物調査
春の山菜採取と里山散歩
- ・家族向け環境学習プログラム
オオムラサキ観察会、放蝶会
里山ふれあいハイキング
ビツ栗の森栗拾い体験
- ・小学校等の環境学習実践講座
- ・自然体験活動リーダーの育成

◇成果（自己評価等）

縄文の森塾は、今年度2年目の通年での事業展開となり、塾生も1年間の四季の動植物の観察や様々な体験をし、他校の友達との交流も深まった。



キャンプでの筏遊びの塾生たち

◇22年度の予定

丹波縄文の森塾は、引き続き通年開催として実施する。

環境学習については、積極的に受け入れる。

森づくり課

生活創造活動への支援

生活創造活動支援機能充実事業の実施

◇実施内容

丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集発信し、団体・グループ活動を支援しました。

◇成果（自己評価等）

○生活創造ニュース「たんば.COM」の編集
活動事例紹介と消費者相談コーナー

○生活創造グループ登録と活動支援

登録グループ数 205団体

グループ活動コーナーの利用

140件 868人

情報発信のための印刷機械の利用件数

667件



グループ活動コーナー

◇23年度の予定

引き続き、団体・グループ活動を支援する。

県民課

地域づくり活動総合コーディネーターによる地域活動支援

◇実施内容

「こころ豊かな美しい兵庫」をめざす県民運動を積極的に推進するため、多様な活動団体等のつなぎ役として活動する地域づくり活動総合コーディネーターを設置し、地域づくり活動を支援しました。

◇成果（自己評価等）

地域づくり活動団体やNPO法人に対して、情報発信や相談・アドバイスなど、様々な支援を行ないました。

また、各地域の公民館担当者とも連携して県・市の施策、活動団体の様子など情報交換を行いました。

◇23年度の予定

引き続き、地域づくり活動総合コーディネーターを設置し、県民運動を支援する



公民館担当者との情報交換の様子

県民課

兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座 「丹波OB大学」の開設

◇実施内容

高齢者の生涯学習の一環として、交流と学習の機会を提供するとともに、魅力ある地域社会を創り出す実践者を育成するため実施しました。

講座 教養講座

専門講座 (①健康福祉コース・②地域文化コース・③生活創造コース)

学外研修、運動会、文化祭、オープン学習、地域実践の日、学年別研修、地域別研修

クラブ活動 (グラウンドゴルフ、歌謡教室、絵手紙、ダンス、花づくり他)

受講者数 181人

開講日 5月12日～3月9日 (全17回)

日程 9:30～朝の集い
10:30～教養講座など
13:00～専門講座など
14:30～クラブ活動

(詳細は講座一覧に掲載)



オープン学習の様子

◇成果 (自己評価等)

講座において、地域の実践者や実業家を講師として招聘し、また、タイムリーな話題をテーマとして設定するなどして、質の高い講座が開催でき、アンケートにおいても高評価を得ることができました。また、芸術鑑賞会を新たに開催し、クラシックコンサート、津軽三味線演奏会、童謡コンサートを開催し、好評を得ました。

◇23年度の予定 5月11日～3月7日

文化振興部

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座 「丹波OB大学大学院」の開設

◇実施内容

兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座「丹波OB大学」等での学習をもとに、実践的な社会参加活動について総合的・体系的、かつ実践的に学習することにより、地域づくり活動などの実践能力を習得するとともに、地域づくり活動などへの主体的な取り組み意欲を醸成し、その実践者を育成するため実施しました。

講座 1年次 21人 講義、ワークショップ、インターンシップ

2年次 8人 講義、地域実践活動

開講日 5月12日～3月9日

(1年次18回、2年次19回)

(詳細は講座一覧に掲載)

◇成果 (自己評価等)

2年生は、「共に楽しくみんなでまち歩き～柏原町の歴史再発見～」をテーマに、丹波地域住民同士のつながりの希薄化を解消するため、まち歩きを実施し住民同士が出会い、語り合う場を提供する実践活動

を実施しました。

学年全員で8名ということから、グループ名を「フレンズ・エイト」とし、自分たちの地域の社会状況、人間関係について話し合い、課題解決に向けて実践活動を楽しみながら学びました。



地域実践活動(共に楽しくみんなでまち歩き)

1年生が行ったインターンシップでは、受講生の自主性を重視し、計画・実践・振り返りを行いながら、実践力を高めることができました

丹波市立進修小学校での子どもたちとの交流を始め、いくつかのインターンシップの体験を通して、貴重な体験をすることができました。

◇23年度の予定 5月11日～3月7日

文化振興部

県立大学特別公開講座の開設

◇実施内容

生涯学習の一環として、また、地域に開かれた大学として地域社会への貢献に資するため、大学の研究成果を判りやすく紹介し、現代の社会や世界の動向を理解する上で役立つ知見を広く県民の皆様に提供するために実施しました。

テーマ「ひょうごの生物再発見
－丹波の動植物を中心に－」

講義回数 3回
受講生 30人



身近な昆虫の再発見

◇成果（自己評価等）

私たち“にんげん”のすんでいる場所には、数多くの植物や動物もすんでいます。この講座では、丹波地域を中心に、広く兵庫県に見られる野生動植物の姿や生態を、スライドを使ったり実際の観察活動を行ったりして教えていただきました。野生動植物の持つ魅力を再確認することができました。

◇23年度の予定

8月20日～9月17日の内5日間

文化振興部

消費生活相談の実施

◇実施内容

商品やサービスに関するトラブルをはじめ食に関する相談など、暮らしに関する様々な問い合わせに対して、生活情報活動アドバイザーが相談を実施しました。

【電話相談】火曜日～金曜日 9時～17時15分

【面接相談】火曜日～日曜日 9時～17時15分
(年末年始を除く。土日は要予約)

◇成果（自己評価等）

平成22年度の相談受付件数は380件（うち苦情件数は323件）で、前年度と比較すると、107件（△22.0%）減少した。これはセミナーや出前講座など消費者にさまざまなトラブルについて周知したためと思われる。しかし、携帯電話やインターネット関係のトラブルは依然として後を絶たない。



相談や問い合わせに応じている様子

◇23年度の予定

引き続き相談を実施する。

消費生活課

消費生活情報の提供

◇実施内容

消費トラブルの未然防止を図るための相談情報、関係法の解説、消費者団体の動向、講座案内などの情報を市・警察・マスコミなどに提供しました。

- ・「消費生活相談」
年6回 1,330部発行
- ・「情報活動にゆーす」
年4回 1,300部発行

◇成果（自己評価等）

相談情報が新聞記事や市・団体の広報紙に掲載され、消費者被害の防止につながりました。また、出前講座も16回実施しました。

◇23年度の予定

情報紙の発行方法を見直す。
出前講座を引き続き実施する。



情報誌「消費生活相談」・「情報活動にゆーす」、配布物

消費生活課

生活創造活動支援事業 「くらしの通信講座」の開設

◇実施内容

9月～2月の間、「携帯電話・インターネットに潜む危険」、「健康食品をサプリメント」、「電子マネーの基礎知識」、「製品事故から身を守るために」、「景品表示法の基礎知識」をテーマにテキストを5回送付し、それぞれの課題への解答を求めるとともに、スクーリングとして講演会「携帯電話・インターネットに潜む危険（講師 兵庫県情報セキュリティサポーター 篠原嘉一氏）」「製品事故から身を守るために（講師 NITE製品安全調査課専門官 葛谷弘之氏）」を実施しました。

◇成果（自己評価等）

いろいろな内容を気軽に自宅で学習する講座として、募集人員100人に対して87人が受講し62人が修了しました。



「くらしの通信講座」スクーリング

◇23年度の予定

引き続き通信講座を実施する。

消費生活課

トライやる・ウィーク、インターンシップの受入れ

◇実施内容

職業体験の場の提供を通して、森公苑をよりよく知ってもらうとともに、中高生の視点から施設利用促進を図る機会として実施しました。

- トライやる・ウィーク2010（中学生）
受入人数 8人（柏原、春日、和田中学校）
受入期間 6月1日～5日
体験内容 丹波の森公苑の利用促進を図る活動（樹木札、環境整備等）
- インターンシップ2010（高校生）
受入人数 5人（篠山産業高等学校）
受入期間 11月16日～19日
体験内容 丹波の森公苑の利用増進を図る活動（事業ポスター等作成、環境整備等）



里山遊歩道の整備（トライやる・ウィーク）

◇成果（自己評価等）

丹波の森公苑をよく知ってもらうとともに、中高生の視点から施設の魅力を提案してもらう場とすることができました。

◇23年度の予定

受け入れを継続し、様々な体験活動を提供する。

企画・調査課

丹波の森美術学校の開設

◇実施内容

大学生や次代を担う若手芸術家が自ら講師となってワークショップを開催することにより、青少年や子どもたちがアーティストと交流しながら造形の楽しさを体験し、豊かな感性を伸ばすことを目的として実施しました。

①丹波の森子ども美術クラブ

「～みんなで丹波に灯そうよ！～

森の和風ランタンと

ビックリ光る恐竜のたまごづくり」

開催日 8月18日、19日、20日、26日、28日

開催回数 5回（3コース、3日間）

参加者 小学生 66人

②アトリエアーティスト

別府 充貴（金沢美術工芸大学 学生）

滞在期間 7月23日～9月20日

滞在場所 アトリエ彫刻棟

③丹波の森美術学校

「陶片で彩る MyStyle^{とうろ}陶灯づくり！

～ひと夏のアーティスト体験～

開催日 8月5日、8月6日、8月28日

開催回数 3回（1コース、3日間）

参加者 小学生、中・高生 22人



子ども美術クラブの様子

◇成果（自己評価等）

いかにイメージ通りに作品を仕上げるか、普段学校では取り組めないような時間をかけ、集中して表現の難しさや楽しさを体験することができた。また、グループ制作では役割分担をし、協力して大きな作品を作りあげる達成感を味わい、点灯式には思わず歓声をあげる児童が見られた。

◇23年度の予定

・丹波の森子ども美術クラブ

8月3日、20日、21日、26日

（2コース・2日間）

・アトリエアーティスト

山橋大二郎（彫刻家）

（4月30日～9月19日 土日祝 滞在）

・宝塚大学連携事業 丹波の森美術学校

8月6日、7日

文化振興部

芸術文化の振興

舞台芸術鑑賞機会の提供

子どものための優れた舞台芸術体験事業

◇実施内容

子どもたちが、優れた舞台芸術を鑑賞し、ワークショップなどをおして、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うために、文化庁との共催で、ミュージカル公演を実施しました

子どものための優れた舞台芸術体験事業

開催日 平成22年10月19日（火）

会場 丹波の森公苑ホール

入場者数 636人

◇成果（自己評価等）

俳優さんたちによる迫力あるダンスと優れた歌唱、専門スタッフによる音響・照明など、子どもたちが、「優れた舞台芸術」を体験、体感するよい機会になりました。また、ワークショップも、実際に体感できることで、子どもたちにとってよい刺激になりました。



ミュージカル公演の様子

◇23年度の予定

京都フィル子どもためのコンサート

「はじめてのクラシックコンサート」

開催日 平成24年3月18日（日）

会場 丹波の森公苑ホール

文化振興部

丹波地域ふるさと芸術文化振興事業

ふるさとの心をうたう丹波音楽祭の実施

（第38回篠山・丹波合唱祭）

◇実施内容

丹波地域で活動している音楽活動団体に対し、公演と交流の場を提供することにより、活動団体の育成と芸術文化活動の向上発展を図りました。

開催日 11月21日（日）

会場 丹波の森公苑ホール

内容 丹波地域27団体による合唱祭

参加者 600人（出演者含む）

◇成果（自己評価等）

昨年度より3つ多い、27の出演団体が日々の練習の成果を発揮し、質の高い発表会となりました。子どもたちの出演があり、また会場を楽しませようとするパフォーマンスもあり大変和やかな雰囲気での会が進行しました。団体相互に刺激を受け活動意欲の喚起に寄与しています。



発表公演の様子

◇23年度の予定

開催日 11月20日（日）

会場 丹波の森公苑ホール

文化振興部

丹波地域ふるさと芸術文化振興事業 丹波文化活動交流会の実施

◇実施内容

丹波文化団体協議会会員を中心とする作品展示及び公演

開催日：12月3日（金）～12月5日（日）

会 場：丹波の森公苑

①創作展示の部：書、着尺、生け花、彫刻、情報展示

作品数：84点

②創作展示部門体験・実演・解説コーナー

③公演の部：詩吟、謡曲、新舞踊、おどり、社交ダンス、 舞踊、銭太鼓、邦楽、三味線、民謡、民踊、 コーラス、長唄、童謡、民舞、武術、民舞踊

尺八、吹奏楽、歌唱など27団体

参加者：700人

◇成果（自己評価等）

文化団体に発表と交流の場を提供し、丹波地域の特色ある文化活動や伝統芸能に光をあて、地域の文化活動の裾野を拡大し、活性化することに寄与しています。



ステージ部門

◇ 23年度の予定

12月2日（土）～ 3日（日）

文化振興部

丹波地域ふるさと芸術文化振興事業

丹波合唱講習会の実施

◇実施内容

丹波地域の合唱愛好家の育成と資質の向上を図るため、合唱法及び日々の練習方法等について研修を深めました。

開催日：平成23年3月13日（日）

会 場：丹波の森公苑多目的ルーム

内 容：合唱指導

「クレーの絵本第1集 混声三部版」より

第2楽章「あやつり人形劇場」

第5楽章「黄色い鳥のいる風景」

講 師：豊中混声合唱団 音楽監督・常任指揮者

西岡 茂樹 氏

参加者：138人



合唱講習会の様子

◇成果（自己評価等）

西岡先生のエネルギーで卓越された指揮指導とユニークな話術により、受講生の方が三善作品のもつ言葉と合唱の素晴らしさに引き込まれていきました。

「合唱団の枠も世代の枠も地域の枠も越え、一緒に三善作品を唄うなかで、歓びを共有できる仲間の輪を広げていきましょう。」という講師の思いが伝わり、温かなぬくもりの感じる講習会になりました。

◇23年度の予定

平成24年3月11日（日）

文化振興部

丹波の森演劇祭の開催

◇実施内容

地域住民の演劇に対する理解と関心を高めるとともに、演劇を通して感動と共感の輪を広げながら交流を深めるため開催しました。

また、将来の芸術文化を担う子どもたちにミュージカル体験機会を提供することにより、豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、子どもたちが創造する楽しさを体験し舞台芸術に親しむことを通じて、舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図るため実施しました。

丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演

10月24日 「オズの魔法使いと夢の国」

(「劇団フジ」の俳優との共演)

劇団発表公演

10月30, 31日

出演劇団：劇研椎の実、花形文化劇場、演劇塾くろまめ、劇団シーブ、劇団水彩パルチザン

参加者 950人

◇成果（自己評価等）

丹波の森子どもミュージカル体験塾は、小学校低学年から高校生という幅広い年齢層の参加者と、プロによる質の高い演技指導が合わさり、充実した講座となりました。

劇団発表公演では5劇団が一堂に会し、各劇団の持ち味を存分に発揮した創作劇を披露するとともに、劇団相互の協力を得て特色ある演劇祭となりました。



丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演の様子

◇23年度の予定

丹波の森子どもミュージカル発表公演

10月9日 「ピーターパン」

(「ウエスト・プロ」の俳優との共演)

劇団発表公演 10月29, 30日

出演劇団：劇研椎の実

花形文化劇場

さざんか劇団

演劇塾くろまめ

劇団シーブ

水彩パルチザン

文化振興部

丹波の森アートフェスティバルの開催

(丹波の森美術展 40周年記念招待作家展、丹波の森作品展、丹波の森兵庫県文化賞受賞者小品展、展示ギャラリー)

◇実施内容

日頃から美術を愛好し、創作活動に励まれている多くの人々の作品を一堂に展示するとともに、世代や分野を越えた心の交流を深め、豊かな芸術文化の高揚を図るため開催しました。

○丹波の森美術展 40周年記念招待作家展

(過去の審査員及び招待作家(日本画、洋画、彫刻・彫塑、工芸、写真、書)の作品)

開催日 7月3日～7月11日

出展数 45点 入場者数 656人

○丹波の森作品展

開催日 6月8日～6月19日

出展数 18点 入場者数 300人

○2010兵庫県文化賞受賞者小品展

開催日 9月18日～9月26日

出展数 40点 入場者数 121人

○第34回丹波の森新春書き初め展

開催日 1月21日～1月23日

会場 丹波の森公苑

出展数 767点 入場者数 1,485人

開催日 1月28日～1月30日

会場 篠山市立四季の森生涯学習センター

出展数 310点 入場者数 702人

○展示ギャラリー

利用随時(利用日数 213日、利用率 68.5%)



◇成果（自己評価等）

日頃から創作活動に励まれている方々の新たな発表の場として「丹波の森作品展」を展示ギャラリーにおいて開催したところ、出品数は少なかったものの、多彩な部門の見応えのある作品展示で会場は賑わいました。

展示ギャラリーは、利用者が年々増加しており、幅広い分野の作品展示で、多くの方々に鑑賞いただきました。

◇23年度の予定

2011兵庫県文化賞受賞者小品展

10月26日～28日

第35回丹波の森新春書き初め展

1月中旬～2月上旬

文化振興部

食文化講座の開設

◇実施内容

人と自然と文化の調和した地域づくりをめざす「丹波の森構想」への理解を深めるとともに、多彩な資源を有する丹波地域を中心とした食文化の再発見などを通じて主体的な地域づくりに結びつく学習機会を提供しました。（受講者数 47人）

- こころを元気にお話
- こころを豊かにつながって生きる（観察、実習）
- 名刹で味わう精進料理（体験）
- こころと身体の健康づくり（お話、実習）
- 自分を生きる（セミナー）
- 現地学習（バスツアー）



第3回講座の様子

◇成果（自己評価等）

「心ゆたかに」を合い言葉として、調理実習、セミナー、里山散策、現地視察など、多彩な内容で実施し、互いに学び合い交流を深めることができました。定員を超える参加があり、満足のいく講座であったとの感想を多数いただきました。

◇23年度の予定

引き続き実行委員会の企画運営による「食文化講座」を開設。6月から12月にかけて6回講座で、食といのちの共振 part3（つながって生きる）について考えます。

文化振興部

施設の利用促進

情報誌・年報等の発行

◇実施内容

丹波の森づくりをはじめ、生活創造・地域づくり活動等の地域情報を、「年報」、情報誌「丹波の森」やインターネットのホームページで発信しました。

- ・「年報2009」の作成
- ・情報誌「丹波の森」の発行
年2回（9月、3月：41,000部（丹波市、篠山市全戸配布）
- ・ホームページによる情報発信（毎月更新）
アクセス件数 22,058件（平成22年度）

◇成果（自己評価等）

情報誌やHPを通じて森公苑や地域情報を幅広く発信することができました。

◇23年度の予定

紙面やHPの見やすさ、利用しやすさを検討し幅広い層の利用を図る。



ホームページ画面URL <http://www.tanba-mori.or.jp/>

企画・調査課

丹波県民局等との連携

県民交流広場事業の推進

◇実施内容

小学校区単位のコミュニティとして、みんなが訪れ、集う空間としての「場」の整備と、子育て、防犯、環境、文化、まちづくり等多彩な「活動」を支援するため実施しました。

平成 22 年度事業実施地区 16 地区（新規採択）

篠山市内 6 地区

（篠山城下まちづくり協議会ほか 5 団体）

丹波市内 10 地区

（新井自治協議会ほか 1 団体）

（追加採択：柏原自治協議会ほか 7 地区）

◇成果（自己評価等）

各地域における活動拠点が整備され、子育て支援、防犯、防災など多彩な活動を通して、地域の活性化と世代間交流が促進されました。

◇23 年度の予定

追加採択地区の具体的な計画づくりや実施中の地区の情報共有など課題解決のフォローアップを行う。



篠山市今田地区拠点竣工式での
マスコットキャラクター「ときめきくん」
のお披露目

県民課（県民局）

県民交流広場を活用した都市との交流事業の支援

◇実施内容

丹波と都市部の県民交流広場が、農産物直販や農業体験等を通じて交流を行うことにより、相互の理解と信頼のもと地域の活性化を図るとともに地域コミュニティの連携強化につなげる事業を拡大実施した。

◇成果（自己評価等）

管内及び神戸・阪神間の県民交流広場に情報提供等を行う他「都市・農村交流ネットワーク会議」の開催など交流の場づくりを行い、事業に取り組む県民交流広場の地区数を拡大した。

◇23 年度の予定

継続的な交流に向けてのフォローアップを行い、県民交流広場が行う都市と丹波の交流の取り組みを推進する。



「都市・農村交流ネットワーク会議」
での意見交換

県民課（県民局）

交流促進パワーアップ事業の実施

◇実施内容

地域団体の活性化や魅力ある丹波づくりに向けて、各地域団体が共同利益の実現を目的として主体的に取り組む諸活動に対し、事業経費の一部を助成しました。

助成団体：34団体

助成額：580万円

◇成果（自己評価等）

事業実施や報告会を通して、交流のなかった地域団体が出会い、連携し、事業を実施することにより新しいネットワークができた等、との高い評価を得ている。

◇23年度の予定

引き続き実施する。



町家を活用した「町屋の芸術学校」での子供狂言会

こころ豊かな美しい丹波地域推進会議

第11期

こころ豊かな人づくり500人委員会の運営

◇実施内容

“こころ豊かな美しい兵庫”の実現に向けて、青少年育成活動や地域づくり活動に関して、主体的・能動的に参画する地域の担い手を養成するため、各種学習、実践の場を提供しました。（1期2年）。（詳細は講座一覧に掲載）

- 全県セミナー（年2単位）
- ブロック別カリキュラム（年6単位）
 - 専門セミナー（年3単位）
 - 実践セミナー（年3単位）
- 自主グループ研修（年間随時）

◇成果（自己評価等）

2年間のセミナー、グループ研修を終え、第11期500人委員会を閉講しました。27名の方が修了し、青少年育成活動、地域づくり活動の担い手としての人材を養成できました。



第11期500人委員会全県セミナー（修了式）

◇23年度の予定

こころ豊かな人づくり500人委員会前期の1年間のセミナーを開催予定（期制廃止）

丹波青少年本部

たんば子ども塾の開催

◇実施内容

丹波地域の7県立高校の生徒が講師となり、小学校の児童を対象に各校の特色を生かした講座を実施しました。

協力校 篠山鳳鳴高、篠山産業高、
篠山産業高東雲校・丹南校
柏原高、氷上高、氷上西高

内容 科学実験、機械工作、競技
かるた、調理実習 など
(詳細は講座一覧に掲載)

受講生 40人

◇成果（自己評価等）

講師の高校生及び参加の小学生にとって、交流を通じた豊かな感性と自立心を育む場として賑やかに実施することができました。保護者からも高い評価が得られており、人気の講座となっています。

◇23年度の予定

引き続き、丹波地域の7県立高校で実施予定。



メッキの実験に挑戦
(県立柏原高等学校)

丹波青少年本部

子どもの冒険ひろば事業の支援

◇実施内容

子どもたちが旺盛な好奇心やエネルギーを発散させ、自分の責任で自由に遊ぶことができる「子どもの冒険ひろば」の開設を支援しました。

・ 「たんばっ子ひろば」

実施団体：ナルク丹波

活動場所：里山ごんげんさん

◇成果（自己評価等）

プレイリーダーの見守りのもと、子どもたちの体験活動の機会を広げるとともに、異世代との交流を深めることができました。

◇23年度の予定

引き続き開設を支援します。



「たんばっ子ひろば」
(丹波市 里山・ごんげんさん)

丹波青少年本部

丹波の森若者塾の開催

◇実施内容

地元の高校生が、都市部の大学生との交流を通じ、自らのふるさとの魅力を発見し、将来丹波に定住するきっかけとなる体験・実践活動を行い、研究報告の場として、2月5日に合同フォーラムを開催しました。

協力大学 神戸大学農学部・関西大学環境都市工学部・関西学院大学総合政策学部・兵庫県立大学

参加高校 篠山鳳鳴高校・篠山産業高校（東雲校・丹南校含む）柏原高校・氷上西高校・氷上高校

◇成果（自己評価等）

合同フォーラムでは、各高校が工夫を凝らした研究活動発表を行い、参加者からは、高校生が地域を知り、地域のことを考えるよい機会であるとの評価をいただきました。



篠山産業高校丹南校水生生物調査

◇23年度の予定

引き続き、事業を継続します。

丹波青少年本部

若者ゆうゆう広場事業の支援

◇実施内容

中・高校生を対象に、気軽に立ち寄り集まった仲間と楽しく交流できる「若者ゆうゆう広場」の設置を支援しました。

- ・「ゆうゆうかすが」（実施主体：丹波市社会福祉協議会）
- ・「ゆうゆうささやま」（実施主体：一般社団法人ノオト）

◇成果（自己評価等）

中・高校生が学校帰りなどに立ち寄り、ゆったりと好きなことをして過ごす「たまり場活動」や音楽などの「サークル活動」により若者の自主的な活動の輪が広がりました。

◇23年度の予定

自主運営となるが、引き続き開設を支援します。



「ゆうゆうささやま」

丹波青少年本部

丹波青少年マナーアップ啓発事業の推進

◇実施内容

青少年のマナーアップを図るため、啓発資料を活用し、各種会議・イベント等で啓発するほか、青少年問題を考える研修会として「～暴力から何も生まれない～児童虐待事案から考える『自己肯定感』の重要性」（11月10日参加者87人）のテーマで講演会を開催しました。

◇成果（自己評価等）

暴力からは何も生まれない。子どもたちの心と体を傷つける暴力を排除し、自分を大切にする「自己肯定感」を育て引き出すことが、子どもたちの幸せと未来に必要である。そのためにおとなができることについて学習することができました。

◇23年度の予定

「現代的な青少年をめぐる諸問題」をテーマに実施します。



子どもの人権を考える研修会

丹波青少年本部

青少年を守り育てる 県民スクラム運動の推進

◇実施内容

青少年愛護活動推進員等の設置、「青少年を守り育てる丹波地域スクラム会議」の開催（7月23日、参加者23人）、地域環境の整備及び啓発活動の展開等を行いました。

◇成果（自己評価等）

青少年に関わりのある業界、団体、機関と連携し、青少年の健全育成に対する住民の意識の高揚と大人の規範意識の醸成、社会環境浄化等を推進することができました。

◇23年度の予定

引き続き、業界、団体、関係機関の連携を強化し、青少年の健全育成を推進します。



青少年を守り育てる丹波地域スクラム会議

丹波青少年本部

高齢者の生きがい創造推進

◇実施内容

(財)兵庫県生きがい創造協会丹波支部と篠山市、丹波市の高齢者大学・講座、兵庫県地域高齢者大学「丹波OB大学」が連携して様々な取り組みを実施することにより、地域ニーズを反映した高齢者の健康と生きがいの創造活動を開発、普及しました。

- ・学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の実施
- ・高齢者学習研究協議会丹波ブロック会議の開催
- ・高齢者大学OB会等による団塊の世代・シニアの広場デビュー支援事業の実施

◇成果（自己評価等）

本年度初めて、学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の実行委員に篠山市、丹波市から高齢者学級の代表者に参画を得たことにより、大会当日は、学級生が主体となって、日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい交流を深めることができました。

広場デビュー支援事業では、丹波OB大学関係者が地域においてさまざまな活動を実施できるよう支援することができました。



学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の様子

◇23年度の予定

引き続き(財)兵庫県生きがい創造協会と連携し、高齢者の健康と生きがいの創造を推進する。

生きがい創造協会丹波支部

講座一覧

丹波の森大学(第20期)

回	開催日	テーマ・内容	講師(敬称略)
1	6月25日	【開講式】 「人と自然の共生」とはどういうことか	京都大学名誉教授・丹波の森大学名誉学長 河合 雅雄
2	7月23日	「旅行動向と傾向についての解説&旅行広報による発信について」	JTB西日本広報室長 高崎 邦子
3	8月6日	公開講座 「環境革命の時代と中山間地域の生存戦略—生物多様性の観点から—」	東京都市大学教授 涌井 史郎
4	9月3日	「日本の花文化の継承とガーデンルネサンス」	(株)辻本智子環境デザイン研究所長 辻本 智子
5	9月16日	淡路景観園芸学校 他	現地研修
6	10月1日	「生物多様性と氷上回廊」	兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授 服部 保
7	10月22日	「小さな町の豊かな生活」	関西学院大学教授 角野 幸博
8	11月5日	「生活者視点での地域づくり」	(株)マーケティングダイナミックス研究所 代表取締役 上野 祐子
9	11月12日	「行動する多自然居住地」	兵庫県立大学教授 丹波の森公苑長 中瀬 勲
10	12月10日	文明が育てた植物たち—野生生物と飼育栽培動植物— 【開講式】	東京大学名誉教授 人と自然の博物館長 岩槻 邦男

花と緑の教室

回	開催日	テーマ・内容	講師(敬称略)
1	4月8日	講義・実習 春の草花の寄せ植えと土作り、肥料の特徴と施肥方	佐用 利光
2	5月13日	講義・実習 ハンキングバスケットを使った寄せ植えと春から夏に作る野菜の育て方	桐村 義孝
3	6月10日	講義・実習 ハーブを使った寄せ植えとハナミズキの育て方と殖やし方	坂本 正秀
4	7月8日	講義・実習 観葉植物を使った寄せ植えとジャコバサボテン、月下美人の育て方	大野 三郎
5	8月12日	講義・実習 日陰で楽しむ植物の寄せ植えと秋から冬に作る野菜の育て方	桐村 義孝
6	9月9日	講義・実習 屋外で栽培できる食中植物の楽しみ方と寄せ植え	土居 寛文
7	10月21日	講義・実習 エアープランツと秋まき草花の育て方	小山 明俊
8	11月12日	講義・実習 ポインセチアを使ったクリスマスの寄せ植えと洋ランの育て方	廣瀬 健司
9	12月9日	講義・実習 松竹梅の寄せ植えと観葉植物の冬場の管理	高見 敬次
10	1月13日	講義・実習 鉢植えで楽しむバラ作りの養育管理の仕方	高田 正
11	2月10日	講義・実習 苔玉を使った寄せ植えと庭木の手入れと育て方	高田 正
12	3月10日	講義・実習 ミニ盆栽の楽しみ方	高見 敬次

丹波の森園芸教室

回	開催日	テーマ・内容	講師(敬称略)
1	6月2日	講義・実習 初夏のガーデン管理&フレンチローズを楽しむ	但馬高原植物園 植栽主任 田丸 和美 (ガーデンマイスター)
2	8月4日	講義・実習 初秋のガーデン管理&多肉植物の楽しみ方	
3	10月6日	講義・実習 秋のガーデン管理&フェスティバス出展用の寄せ植えづくり	
4	12月1日	講義・実習 秋の終わりのガーデン管理&お客様をお迎えする寄せ植えづくり	

丹波縄文の森塾

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	5月29日	【開塾式・オリエンテーション】「竹食器づくりと田植えに挑戦」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
2	6月19日	「水の中の生きものをみてみよう！」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
3	7月10日	「縄文土器をつくろう」	国立民族博物館名誉教授小山修三、陶芸家 宮本ルリ子、丹波の森公苑森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
4	7月30日 ～8月1日	縄文キャンプ「野外生活にチャレンジしよう」 縄文土器野焼き、火熾し、自炊、森遊び、昆虫採集、里山探検など	国立民族博物館名誉教授小山修三、陶芸家 宮本ルリ子、丹波の森公苑森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
5	9月25日	「秋の里山を味わおう」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
6	10月30日	台風接近により中止	—
7	11月27日	「里山の尾根歩きをしよう！」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
8	12月25日	「お餅を作って食べよう！」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
9	1月29日	「冒険基地づくりと凧揚げをしよう！」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
10	2月26日	「椎茸と竹炭づくり」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
11	3月19日	【閉塾式】「みんなで一年を振り返ろう」	国立民族博物館名誉教授小山修三、河合雅雄名誉公苑長、中瀬勲公苑長、森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか

兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座「丹波OB大学」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	5月12日	【開講式】 コース別研修、地域別研修、学年別研修	
2	5月26日	教養講座：「聞き上手は話し上手」	関西国際大学教授・元NHKエグゼクティブアナウンサー 高梨敬一郎
3	6月9日	里山観察会、学年別研修	丹波の森公苑 足立隆昭
		健康福祉：「ハイカラなものを食べましょう」	(株)アグレッサンス社長 細川泰貴 野菜ソムリエ 原田美保
		地域文化：「夏目漱石と播磨・丹波ゆかりの人々」	元公立中学校長 脇坂俊夫
		生活創造：「地域資源の活用」	レストラン無鹿社長 鴻谷佳彦
		新入生歓迎演奏会	ヴァイオリン：赤松由夏 ピアノ：城村奈都子
4	6月23日	里山観察会、学年別研修	丹波の森公苑 足立隆昭
		教養講座：「マッチ業を守り続ける～弱みは強み～」	(株)ナカムラ社長 中村和弘
5	7月14日	学外研修：奈良（平城遷都1300年祭）	
6	7月28日	朝のつどい、地域別研修	
		健康福祉：「長寿社会を健康に過ごす食生活」	元神戸学院女子大学教授 村上貴美子
		地域文化：「丹波の文化財と民俗芸能」	元県立高校校長 久下隆史
		生活創造：「笑う門には必ず福来たる」	福祉漫才まるっちーず 井上和美 西田直美
7	8月25日	朝のつどい、学年別研修	
		教養講座：「長く健康を維持するために」	県立柏原病院院長 大西洋男
8	9月8日	奉仕作業、各学年運動会準備	運動会
9	9月22日	朝のつどい、学年別研修	
		健康福祉：「気候の変化や天気の見方」	NHK気象予報士 南利幸
		地域文化：「丹波焼きとひょうごの焼物」	陶芸美術館学芸課長 長谷川眞
		生活創造：「海は何も言わないけれど～最近日本海で生じること～」	但馬水産技術センター指導員 玉木哲也
10	10月15日	学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会・丹波OB大学文化祭 「わが歌わが故郷」	武庫川女子大学教授 畑儀文
		※午後：高齢者の主張、芸能発表、作品展	

11	10月27日	オープン学習	「陶芸教室」陶の郷 福壽圭輔 坏土工場長 原田清 「ターゲットゴルフ」丹波の森公苑 永井寿幸 「ウォーキング教室」丹波の森公苑 足立隆昭 「手芸教室」キルトアート代表取締役社長 小東千鶴 「料理教室」神戸北野ホテルシェフ 山口浩 山口宏治 武藤聖郷
12	11月10日	地域実践の日	
13	11月24日	教養講座「同時～笑顔で元気にとともに仲良く～」	篠山市長楽寺住職 安達瑞樹
		芸術鑑賞会	歌手 深川和美 ピアノ 多久雅三
14	12月8日	朝のつどい、学年別研修	
		教養講座：「知って得する歯のお話」	丹波健康福祉事務所歯科衛生士 山内千代
		健康福祉：「太極拳を楽しむ」	三田太極拳協会 小島睦 太田里子 木南裕子 荻坂智美
		地域文化：「丹波の偉人」	丹波新聞社社長 荻野祐一
		生活創造：「農を生活に入れて楽しむ」	兵庫楽農生活センター指導員 和田豊二
15	1月19日	教養講座：「まちづくりの精神」	滋賀県長浜市プラチナプラザ事務局長 馬場吉彦
		研修会：「大学院実践発表会」	
16	2月2日	学年別研修、地域別研修、自治会臨時総会	
		健康福祉：「百歳になっても歩くことのできる自分を目指して」	神戸常磐大学教授 柳本有二
		地域文化：「ご当地“ソング”大経師昔暦」	園田学園女子大学教授 井上勝志
		生活創造：「地域連携と丹波の未来」	神戸大学大学院地域連携センター研究員 内平隆之
17	3月9日	修了式	
		記念講演：「人生負けてたまるか。泣いても笑っても同じ人生」	漫才師 レッゴー正児

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波OB大学大学院」 1年生講座

回	開講日	学習テーマ・内容等	講師（敬称略）
1	5月12日	開講式、オリエンテーション	
2	5月26日	講義「聞き上手は話し上手」	関西国際大学 教授 高梨 敬一郎
3	6月9日	講義「狂言を地域づくりに活かす」	大蔵流狂言方 山口 耕道
4	6月23日	講義「まちの活性化への取組み～みなさんにもできること・みなさんだからできること～」	空き缶でもうけてもええ会 事務局長 千種 和英
5	7月28日	講義「ニュースポーツから学ぶ地域づくり」	ボードゲーティング協会 事務局長 助田 敦 理事 助田 節子
6	8月6日	「環境革命の時代と中山間地域の生存戦略－生物多様性の観点から－」	東京都市大学教授 涌井 史郎
7	8月25日	講義「まちづくりって何だろう・・・千里、堺、そして丹波」	(財)兵庫丹波の森協会 主任専門研究員 山本 茂
8	9月15日	学 外 研 修 (9:00～17:00)	
9	9月22日	インターンシップ（地域実践活動）の計画	丹波の森公苑 文化専門員
10	10月15日	丹波OB大学文化祭・学ぶ高齢者の集い丹波ブロック大会	
11	10月20日	インターンシップ「世代間交流」	丹波市立進修小学校（丹波市春日町国領1011）
12	10月27日	丹波OB大学オープン学習に参加	
13	11月10日	インターンシップ（地域実践活動）	丹波の森公苑 文化専門員
14	11月24日	講義「～食べる楽しみをいつまでも～」	キュービー株式会社大阪支店 ヘルスクエア営業課長 武田 清
15	12月8日	講義「実践活動をするにあたりその意味と価値を知る」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長 浅見 真一
16	1月19日	講義「2年生実践活動について考える」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長 浅見 真一
17	2月2日	講義「2年生実践活動グループ分け」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長 浅見 真一
18	3月9日	修了式 記念講演「人生負けてたまるか。～泣いても笑っても同じ人生～」	レッゴー正児

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波OB大学大学院」2年生講座

回	開講日	学習テーマ・内容等	講師（敬称略）
1	5月12日	開講式、オリエンテーション	
2	5月26日	講義「聞き上手は話し上手」	関西国際大学 教授 高梨 敬一郎
3	6月9日	講義「実践活動の企画書をつくる」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長 浅見 真一
4	6月23日	講義「まちの活性化への取組み～みなさんにもできること・みなさんだからできること～」	空き缶でもうけてもええ会 事務局次長 千種 和英
5	7月28日	講義「企画書の作成」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長 浅見 真一
6	8月6日	「環境革命の時代と中山間地域の生存戦略－生物多様性の観点から－」	東京都市大学教授 涌井 史郎
7	8月25日	講義「まちづくりって何だろう・・・千里、堺、そして丹波」	(財)兵庫丹波の森協会 主任専門研究員 山本 茂
8	9月1日	実践活動準備	丹波の森公苑 文化専門員
9	9月15日	学外研修 (9:00～17:00)	
10	9月22日	「先輩から学ぶ③（現地学習）」	丹波OB大学大学院卒業生グループ フレンドシップ…灯
11	10月15日	丹波OB大学文化祭・学ぶ高齢者の集い丹波ブロック大会	
12	10月27日	丹波OB大学オープン学習に参加	
13	11月10日	実践活動まとめ	丹波の森公苑 文化専門員
14	11月24日	講義「～食べる楽しみをいつまでも～」	キュービー株式会社大阪支店 ヘルスケア営業課長 武田 清
15	12月8日	実践活動の振り返りおよびグループ別発表準備	丹波の森公苑 文化専門員
16	1月19日	実践活動グループ別発表準備および発表	丹波の森公苑 文化専門員
17	2月2日	実践活動グループ別報告書づくり	丹波の森公苑 文化専門員
18	3月9日	修了式 記念講演「人生負けてたまるか。～泣いても笑っても同じ人生～」	レッゾー正児

平成22年度講座「丹波学」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	10月9日	【開講式】・オリエンテーション	丹波の森公苑職員
		伊能忠敬が測量した丹波の道	郷土史家・伊能忠敬研究会会員 横川 淳一郎
2	11月27日	南北朝時代の丹波～足利尊氏の動向を中心に～	亀岡市文化資料館館長 黒川 孝宏
3	1月15日	古道と信仰の道を行く	日本民俗学会評議員 久下 隆史
4	2月19日	丹波に延びる鉄路	南丹市立文化博物館学芸員 井尻 智道
5	3月13日	丹波再発見総括シンポジウムと京都丹波史跡巡り	亀岡市文化資料館館長 黒川 孝宏 他5名

平成22年度県立大学特別公開講座

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	5月22日	苔とキノコ その魅力と美しさ	自然・環境科学研究所（自然環境系） 准教授 秋山 弘之
2	5月29日	身近な昆虫の再発見	自然・環境科学研究所（自然環境系） 助手 沢田 佳久
3	6月5日	身近な動物たち	自然・環境科学研究所（自然環境系） 教授 太田 英利

平成22年度「丹波の森 子ども美術クラブ」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	8月18日 午後	Aコース：個人制作（森の和風ランタンづくり）	別府 充貴（金沢美術工芸大学 学生）
	8月19日 午後	Bコース：個人制作（森の和風ランタンづくり）	
	8月20日 午後	Cコース：個人制作（森の和風ランタンづくり）	
2	8月26日 午後	A+B+Cコース：グループ制作（ピッキリ光る恐竜のたまごづくり）	
3	8月28日 午後	A+B+Cコース：点灯式 <自由参加>	

平成22年度「丹波の森 美術学校」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	8月5日 午前・午後	個人制作	兵庫教育大学（大学連携事業）
2	8月6日 午後	グループ制作	
3	8月28日 午後	点灯式 <自由参加>	

平成22年度「丹波の森子どもミュージカル体験塾」

開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
7月18日	オーディション・開講式	劇団フジ 田村代表、劇団員 丹波の森公苑職員
7月19日～ 10月23日	実習「基本段階」（9回）	
10月24日	発表公演「オズの魔法使いと夢の国」	

平成22年度丹波の森食文化講座

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	8月1日	開講式 お話を元気に「人生を生き抜く」	丹波の森食文化講座実行委員会、丹波の森公苑職員 兵庫教育大学 教授 釈 徹宗
2	8月21日	お話を豊かにつなげて生きる 観察「里山、いのちの森で遊ぶ」 実習「山里弁当」	丹波の森公苑 足立 隆昭 実習指導 田中 範子
3	9月4日	名刺で味わう精進料理 お話「精進料理のこころ」 体験「精進料理」	極楽寺住職 門脇 弘嶽 慧日寺住職 門脇 靖巖
4	10月5日	お話を豊かにつなげて健康づくり お話「丹波の食材を生かし元気なこころと身体をつくろう」	丹波市役所健康課 保健師 山下 好子 管理栄養士 山本 由美子
5	11月6日	自分を生きる お話「ストレスからの解放」	医学博士 精神科医 落語家 北畑 英樹（あやしや小丸）
6	12月3日	現地学習（バスツアー） 楽農生活センターほか	神戸税関広報担当ほか

第11期こころ豊かな人づくり500人委員会

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	5月30日	「環境問題を考える」	篠山市地球温暖化防止活動推進連絡会員 第11期こころ豊かな人づくり500人委員会委員（環境グループ）
2	6月20日	「子どもたちの冒険心を刺激する 体験活動の実践的取り組み」	NPO生涯学習サポート兵庫指導局長 榎本 英樹
3	9月12日	「グローバル時代の日本人及び地域社会の在り方」	元財団法人兵庫県国際交流協会常務理事 寺林 建雄
4	1月23日	「プロップ・ステーションの挑戦～チャレンジが世界を変える～」	社会福祉法人プロップ・ステーション理事長 竹中 ナミ
5	2月20日	11期委員による活動の振り返り	第11期こころ豊かな人づくり500人委員会委員
		11期委員地域交流活動報告会・丹波OB会実践活動報告・交流会	第11期こころ豊かな人づくり500人委員会委員 こころ豊かな人づくり500人委員会丹波OB会員

平成22年度たんば子ども塾

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	7月26日	【開講式】 みんなで楽しくコミュニケーションゲーム	篠山産業高等学校丹南校 コミュニケーション研究会
2	7月27日	メッキに挑戦～銅が銀になりそして金になる～	柏原高等学校生徒 理科部
3	8月3日	東雲校で加工・収穫体験	篠山産業高等学校東雲校生徒 農業科生活文化類型
4	8月10日	競技かるた入門	篠山鳳鳴高等学校生徒 カルタ部
5	8月13日	海藻に含まれている元素を確認してみよう	氷上西高等学校生徒 3年生有志
6	8月17日	パンからふくらむ！たべものの不思議	氷上高等学校生徒 食品加工科
7	8月24日	ロボット工作教室 【閉講式】	篠山産業高等学校生徒 機械工作部及び機械科

出前講座の状況

消費生活

回	開催日	場 所	講 座 名	テ ー マ 等	人数
1	4月24日(土)	市島町上垣公民館	市島町上垣公民館	悪質商法の内容と対処法	30
2	6月2日(水)	氷上町井中公民館	氷上町井中ふれあいサロン	同上	40
3	6月30日(水)	市島町与戸公民館	市島町与戸いきいきサロン	同上	40
4	8月28日(土)	市島町樽井公民館	樽井自治公民館住民学習	同上	60
5	10月3日(日)	春日町広瀬公民館	広瀬自治会敬老会	同上	30
6	10月24日(日)	篠山市垣屋公民館	垣屋自治会住民学習会	同上	25
7	11月12日(金)	篠山市今田まちづくりセンター	今田地区すこやか会	高齢者が被害に遭いやすい最近の犯罪、防犯について	20
8	11月13日(木)	大山小学校「ふれあい館」	大山校区まちづくり防犯グループ研修会	悪徳商法の手口と対処法	50
9	11月14日(日)	市島町友政公民館	友政自治会敬老会	同上	20
10	11月18日(木)	丹南健康福祉会館	篠山地区すこやか会	高齢者が被害に遭いやすい最近の犯罪、防犯について	100
11	11月20日(土)	住吉台消防コミュニティセンター	住吉台自治会住民学習会	消費者被害に関して	30
12	11月25日(木)	西古佐公民館	西古佐自治会住民学習会	同上	20
13	11月30日(火)	青垣福祉交流センター	芦田自治会防犯講習会	悪徳商法の内容と対処法	40
14	1月22日(土)	杉公民館	杉自治会住民学習会	悪質商法の内容とその対処法	30
15	2月1日(火)	やまなみホール	民生委員・児童委員研修会	同上	100
16	3月13日(日)	雲部コミュニティセンター	くもべまちづくり協議会防犯セミナー	同上	30

森づくり

回	開催日	場 所	対 象 団 体	テ ー マ 等	人数
1	4月9日	小川小学校、篠山小学校	小川小学校、篠山小学校	オオムラサキ飼育指導	23
2	4月13日	崇広小、中央小、新井小	崇広小学校、中央小学校、新井小学校	オオムラサキ飼育指導	85
3	4月21日	新井小学校	新井小学校	オオムラサキ飼育指導	18
4	5月12日	崇広小、新井小、中央小、上久下小、篠山小、山南中	崇広小学校、新井小学校、中央小学校、上久下小学校、篠山小学校、山南中学校	オオムラサキ飼育指導	12
5	5月18日	崇広小学校、中央小学校	崇広小学校、中央小学校	オオムラサキ飼育指導	4
6	5月21日	崇広小学校	崇広小学校	オオムラサキ観察会	81
7	5月26日	新井小学校、小川小学校、上久下小学校、篠山小学校	新井小学校、小川小学校、上久下小学校、篠山小学校	オオムラサキ飼育指導	8
8	5月28日	丹波市市島町中竹田	中竹田里山維持管理会	里山観察樹木指導	24
9	5月31日	崇広小、新井小、中央小、小川小、上久下小、篠山小	崇広小学校、新井小学校、中央小学校、小川小学校、上久下小学校、篠山小学校	オオムラサキ飼育指導	10
10	6月1日	崇広小学校、篠山小学校	崇広小学校、篠山小学校	オオムラサキ飼育指導	3
11	6月8日	中央小学校	中央小学校	オオムラサキ飼育指導	1
12	6月11日	竹田小学校	竹田小学校	オオムラサキ放虫	8
13	6月13日	丹波市市島町			60
14	6月18日	崇広小学校、新井小学校、中央小学校、篠山小学校	崇広小学校、新井小学校、中央小学校、篠山小学校	オオムラサキ飼育指導	4
15	6月25日	竹田小学校	竹田小学校	オオムラサキ講義	34

回	開催日	場 所	対 象 団 体	テ ー マ 等	人数
16	6月29日	柏原西保育園、新井小、中央小、小川小、上久下小	柏原西保育園、新井小学校、中央小学校、小川小学校、上久下小学校	オオムラサキ飼育指導	40
17	6月30日	新井小学校	新井小学校	オオムラサキ観察会	34
18	7月5日	篠山小学校、小川小学校	篠山小学校、小川小学校	放蝶会、観察会	65
19	7月7日	崇広小学校	崇広小学校	オオムラサキ観察会	85
20	7月20日	篠山小、小川小、新井小、崇広小、竹田小	篠山小学校、小川小学校、新井小学校、崇広小学校、竹田小学校	オオムラサキ飼育指導	29
21	8月3日		丹波市小学校理科部会	丹波の自然環境	15
22	8月8日	吹田博物館			86
23	9月7日	竹田小学校	竹田小学校	オオムラサキ飼育指導	3
24	9月15日	関西大学	関西大学工学部建築学科	講義	26
25	9月18日	加古川市	加古川流域フォーラム	オオムラサキ講義	100
26	9月20日	篠山市河原町	篠山市河原町ふれあいアート		74
27	9月21日	小川小学校	小川小学校	オオムラサキ飼育指導	3
28	9月29日	中央小学校	中央小学校	オオムラサキ飼育指導	51
29	10月1日	上久下小学校	上久下小学校	オオムラサキ飼育指導	61
30	10月8日	崇広幼稚園	崇広幼稚園	オオムラサキ観察会	85
31	10月15日	崇広小学校	崇広小学校	オオムラサキ幼虫放虫指導	81
32	10月30日	新井小学校	新井小学校	オオムラサキ観察会	34
33	12月3日	住友ゴム市島工場	住友ゴム市島工場	オオムラサキ飼育指導	2
34	1月7日	氷上西高校	氷上西高校	オオムラサキ講義	4
35	1月14日	篠山小学校	篠山小学校	オオムラサキ越冬幼虫捕獲指導	28
36	1月21日	氷上西高校	氷上西高校	エノキ植栽指導	4
37	1月26日	篠山市	篠山ロータリークラブ	オオムラサキ講義	5
38	1月31日	氷上西高校	氷上西高校	エノキ植栽	31
39	2月8日	丹波市市島町	SRI(株)市島工場	オオムラサキ飼育指導	8
40	2月13日	篠山市	ささやま環境フォーラム	オオムラサキ講演	91
41	2月15日	篠山小学校	篠山小学校	ホトケドジョウ	43
42	3月6日	丹波市青垣町	青垣いきものふれあいの里	自然観察会	23
43	3月12日	丹波市青垣町		オオムラサキ幼虫探索	2
44	3月25日	丹波市市島町	SRI(株)市島工場	オオムラサキ放虫指導	8

活動一覽

平成22年4月1日～平成23年3月31日

月 日	主 な 事 項	会 場
22年4月		
8	花と緑の教室①	丹波の森公苑
11	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
14	丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし第十集原画展（～22日）	丹波の森公苑
16	丹波消費者団体連絡協議会常任理事会 500人委員会OB三役会及び幹事会	丹波の森公苑
18	森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
22	丹波文化団体協議会正副会長会	丹波の森公苑
24	第18回丹波の森写真コンクール写真展（～5月5日） 消費出前講座	丹波の森公苑 市島町上垣公民館
27	丹波消費者団体連絡協議会理事会	丹波の森公苑
29	春の里山ふれあいハイキングと山菜の試食 年輪の里アトリエ作品展（～5月5日） 丹波の森写真コンクール表彰式	丹波の森公苑 丹波の森公苑 丹波の森公苑
5月		
7	第18回丹波の森写真コンクール写真展（～12日） 和紙ちぎり絵作品展（～16日）	篠山市民センター 丹波の森公苑
11	丹波OB大学同窓会総会	丹波の森公苑
12	丹波OB大学・OB大学大学院開講式	丹波の森公苑
13	花と緑の教室②	丹波の森公苑
19	第108回和田義博展（～6月1日） 丹波文化団体協議会総会	丹波の森公苑 丹波の森公苑
22	県立大学特別公開講座① 500人委員会OB会総会	丹波の森公苑 丹波の森公苑
23	森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
26	丹波OB大学・OB大学大学院 丹波OB大学自治会定期総会	丹波の森公苑 丹波の森公苑
29	丹波縄文の森塾① 開塾式 県立大学特別公開講座②	丹波の森公苑 丹波の森公苑
30	里山倶楽部活動 こころ豊かな人づくり500人委員会丹波セミナー	丹波の森公苑 丹波の森公苑
6月		
1	トライやるウィーク受け入れ（～5日）	丹波の森公苑
2	園芸教室① 消費出前講座	丹波の森公苑 氷上町井中公民館
5	県立大学特別公開講座③	丹波の森公苑
8	丹波の森作品展（～19日）	丹波の森公苑
9	丹波OB大学・OB大学大学院	丹波の森公苑
10	改正貸金業法説明会 花と緑の教室③ 丹波市定住促進会議	丹波の森公苑 丹波の森公苑 青垣佐治スタジオ
12	交流促進パワーアップ事業公開審査会	丹波の森公苑
13	丹波の森ふれあい劇場	丹波の森公苑
16	文化協会長及び公民館長・事務局連絡会議	新たんば荘
17	丹波青少年本部会議	丹波の森公苑
19	消費生活サポーター研修 丹波縄文の森塾② シューベルティアーデたんば実行委員会総会	丹波の森公苑 丹波の森公苑 お菓子の里丹波

20	消費生活サポーター研修 里山倶楽部・森づくりスタッフ合同活動 こころ豊かな人づくり500人委員会丹波セミナー	丹波の森公苑 丹波の森公苑 丹波の森公苑
23	丹波OB大学・OB大学大学院	丹波の森公苑
25	丹波の森大学開講式・第1回	丹波の森公苑
26	丹波のむかしばなし現地研修	丹波の森公苑
29	高齢者放送大学丹波市学友会定期総会 兵庫丹波の森協会理事会 「丹波の森若者塾」第1回担当者会議	柏原公民館 丹波の森公苑 丹波の森公苑
30	「若者塾」事業実施訪問 消費出前講座（市島町与戸いきいきサロン）	篠山産業高校丹南校 市島町与戸公民館
7月		
3	丹波の森美術展40周年記念招待作家展（～11日）	丹波の森公苑
3	第2回国蝶オオムラサキ放蝶会	丹波の森公苑
6	ウィーンの森親善訪問（～14日）	ウィーンほか
8	花と緑の教室④	丹波の森公苑
9	丹波地域消費者問題連絡会議	丹波の森公苑
10	丹波縄文の森塾③	丹波の森公苑
11	森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
13	はばタン消費者ネットコーディネーター会議	丹波の森公苑
14	丹波OB大学学外研修	奈良市
16	職員接遇研修	丹波の森公苑
17	押し花展（～8月1日）	丹波の森公苑
18	子どもミュージカル体験塾開講式	丹波の森公苑
21	こころ豊かな丹波地域推進会議総会	柏原公民館
23	丹波の森大学② 青少年を守り育てる丹波地域スクラム会議	丹波の森公苑 丹波の森公苑
24	交流促進パワーアップ事業特定テーマ枠審査会	柏原公民館
26	たんば子ども塾開講式	篠山産業高校丹南校
27	たんば子ども塾	柏原高校
28	丹波OB大学、OB大学大学院	丹波の森公苑
30	丹波縄文の森塾④夏の「縄文キャンプ」（～8月1日）	丹波の森公苑
8月		
1	丹波の森食文化講座① 開講式	丹波の森公苑
3	壺とうつわ展（～15日） たんば子ども塾	丹波の森公苑 篠山産業高校東雲校
4	園芸教室②	丹波の森公苑
5	丹波の森美術学校 個人制作	丹波の森公苑
6	丹波の森美術学校 グループ制作 丹波OB大学大学院 丹波の森大学③ 公開講座	丹波の森公苑 丹波の森公苑 篠山市民センター
7	兵庫県立大学山南スタジオオープニングセレモニー おさん茂兵衛DEたんば実行委員会総会	山南スタジオ 丹波の森公苑
8	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
10	たんば子ども塾	篠山鳳鳴高校
12	花と緑の教室⑤	丹波の森公苑
13	たんば子ども塾	氷上西高校
17	家族の日写真コンクール作品展（～27日） たんば子ども塾	丹波の森公苑 氷上高校
18	丹波の森子ども美術クラブAコース	丹波の森公苑
19	丹波文化団体協議会3役会 丹波の森子ども美術クラブBコース	丹波の森公苑 丹波の森公苑
20	丹波の森子ども美術クラブCコース	丹波の森公苑
21	丹波の森食文化講座②	丹波の森公苑

2 2	里山倶楽部活動・森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
2 4	たんば子ども塾 閉講式	篠山産業高校
2 5	丹波OB大学・OB大学大学院	丹波の森公苑
2 6	丹波の森子ども美術クラブ合同制作	丹波の森公苑
2 8	丹波の森子ども美術クラブ・美術学校点灯式 消費出前講座	丹波の森公苑 市島町樽井公民館
3 1	丹波の森公苑運営委員会	丹波の森公苑

9月

1	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
3	丹波の森大学④	丹波の森公苑
4	丹波の森食文化講座③	山南町慧日寺
5	ウィーンの森親善訪問反省会	丹波の森公苑
7	アトリエアーティスト展	丹波の森公苑
8	丹波OB大学	丹波の森公苑
9	花と緑の教室⑥	丹波の森公苑
9	県民交流広場事業広域推進委員会	丹波の森公苑
1 2	丹波の森食文化講座③ こころ豊かな人づくり500人委員会丹波セミナー	丹波の森公苑 丹波の森公苑
1 5	関西大学伐採実習 丹波OB大学大学院学外研修	丹波の森公苑 各地域
1 6	丹波の森大学⑤ 現地研修 空き民家活用プロジェクトチーム第2回会議	淡路景観園芸学校 他 丹波の森公苑
1 8	文化賞受賞者小品展（～20日） 消費生活サポーター研修	丹波の森公苑 丹波の森公苑
2 0	秋の全国交通安全運動出発式	おばあちゃんの里
2 2	丹波OB大学・OB大学大学院	丹波の森公苑
2 3	里山秋の実り体験 篆刻展（～26日）	丹波の森公苑 丹波の森公苑
2 4	語りベクラブ交流研修	城南小学校
2 5	丹波縄文の森塾⑤ 消費生活サポーター研修会 シューベルティアーデたんばオープニングサロンコンサート	丹波の森公苑 丹波の森公苑 お菓子の里丹波
2 6	里山倶楽部・森づくりスタッフ活動 柏原街角コンサート	丹波の森公苑丹波年輪の里 他 柏原藩陣屋跡
2 7	県民交流広場関係事業説明会	丹波の森公苑
2 9	AED講習会	丹波の森公苑
3 0	ふるさと音楽広場	芦田小学校

10月

1	和田義博展（～14日） 秋の実り体験（久下小学校） 丹波の森大学⑥ 福住地区防犯パトロール発隊式	丹波の森公苑 丹波の森公苑 丹波の森公苑 福住地区
3	消費出前講座	春日町広瀬公民館
5	秋の実り体験（みつみ・やわらぎ・わかくさ保育園） 丹波の森若者塾担当者会議 丹波の森食文化講座④	丹波の森公苑 丹波の森公苑 丹波の森公苑
6	園芸教室③	丹波の森公苑
7	丹波文化団他競技会第2回理事会・文化活動部会	丹波の森公苑
8	秋の実り体験（崇広幼稚園） 丹波消費者団体連合会理事会	丹波の森公苑 丹波の森公苑
9	講座「丹波学」①	丹波の森公苑
1 0	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
1 3	高齢者のつどい作品展示・審査 秋の実り体験（篠山幼稚園）	丹波の森公苑 丹波の森公苑

1 4	丹波OB大学文化祭・学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会作品展	丹波の森公苑
1 5	秋の実り体験（崇広小学校） 丹波OB大学文化祭・学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会	丹波の森公苑 丹波の森公苑
1 7	森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
1 9	文化庁子どものための優れた舞台芸術体験事業	丹波の森公苑
2 1	花と緑の教室⑦	丹波の森公苑
2 2	丹波の森大学⑦	丹波の森公苑
2 4	子どもミュージカル体験塾発表公演、修了式 消費出前講座	丹波の森公苑 篠山市垣屋公民館
2 6	消費生活巡回相談	丹波の森公苑
2 7	丹波OB大学・OB大学大学院 ふるさと音楽広場 ふるさと音楽広場	丹波の森公苑 岡野小学校 上久下小学校
3 0	丹波の森演劇祭	丹波の森公苑
3 1	2010丹波の森フェスティバル 丹波の森演劇祭	丹波の森公苑 丹波の森公苑
1 1 月		
2	フランス刺繍小椎尾睦子作品展（～14日） 丹波の森公苑運営委員会芸術文化部会	丹波の森公苑 丹波の森公苑
5	丹波の森大学⑧	丹波の森公苑
6	丹波の森食文化講座⑤	丹波の森公苑
7	里山倶楽部活動 シュールベルティアーデたんば歌のつどい	丹波の森公苑 丹波の森公苑
1 2	花と緑の教室⑧ 消費生活出前講座 丹波の森大学⑨	丹波の森公苑 篠山市今田まちづくりセンター 丹波の森公苑
1 3	消費生活出前講座 シュールベルティアーデたんば ファイナルコンサート	大山小学校 丹波の森公苑
1 4	森づくりスタッフ活動 消費出前講座	丹波の森公苑 市島町友政公民館
1 6	インターンシップ受入（篠山産業高校）（～19日） 年輪の里絵画サークル展示（～28日）	丹波の森公苑 丹波の森公苑
1 7	消費者フォーラム2010 丹波文化活動交流会出演団体打合せ	丹波の森公苑 丹波の森公苑
1 8	消費出前講座	丹南健康福祉会館
2 0	消費出前講座	篠山市住吉台消防コミュニティセンター
2 4	丹波OB大学・OB大学大学院	丹波の森公苑
2 5	消費出前講座	篠山市西古佐公民館
2 7	丹波縄文の森塾⑥ 講座「丹波学」②	丹波の森公苑 丹波の森公苑
2 8	たんば田舎暮らしバスツアー（神楽・福住地区）	神楽・福住地区
3 0	消費出前講座	青垣町福祉交流センター
1 2 月		
1	園芸教室④ 丹波出合いサポートセンター開所式	丹波の森公苑 丹波の森公苑
3	丹波文化活動交流会（～5日） 丹波の森食文化講座⑥	丹波の森公苑 楽農生活センターほか
7	瓢友会作品展（～18日）	丹波の森公苑
8	丹波OB大学・OB大学大学院	丹波の森公苑
9	花と緑の教室⑨	丹波の森公苑
1 0	丹波の森大学⑩ 閉講式	丹波の森公苑
1 2	里山倶楽部活動 先進地視察研修（～13日） 大学と地域の連携に関する4大学合同シンポジウム	丹波の森公苑 境港・出雲 丹波の森公苑

1 6	丹波消費者団体連絡協議会常任委員会	丹波の森公苑
1 9	森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
	崇徳会習作展	丹波の森公苑
2 1	キン・コン・カンコンサート	柏原高校
2 5	丹波縄文の森塾⑦	丹波の森公苑

23年1月

1 3	花と緑の教室⑩	丹波の森公苑
1 4	風信書道会作品展（～16日）	丹波の森公苑
1 5	講座「丹波学」③	丹波の森公苑
1 6	里山倶楽部・森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
	シューベルティアーデ小野	エクラホール
1 9	丹波OB大学・OB大学大学院	丹波の森公苑
2 1	新春書き初め展（～23日）	丹波の森公苑
	ふるさと音楽広場	前山小学校
2 2	消費出前講座	篠山市杉公民館
2 3	こころ豊かな人づくり500人委員会丹波セミナー	丹波の森公苑
2 5	ふるさと音楽広場	崇広小学校
2 6	済木勝恵親子3人展（～2月9日）	丹波の森公苑
	丹波消費者団体連絡協議会常任理事会	丹波の森公苑
2 8	新春書き初め展（～30日）	四季の森学習センター
2 9	丹波縄文の森塾⑧	丹波の森公苑
	空き家建物調査	神楽地区

2月

1	消費出前講座	やまなみホール
2	丹波OB大学・OB大学大学院	丹波の森公苑
3	丹波の森公苑運営委員会人と自然部会	丹波の森公苑
5	丹波の森若者塾合同フォーラム	丹波の森公苑
6	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
1 0	花と緑の教室⑪	丹波の森公苑
	三崎、戸田、戸田三人展（～18日）	丹波の森公苑
1 2	丹波の地域文化とまちづくりを考える会	丹波の森公苑
1 3	森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
1 9	講座「丹波学」④	丹波の森公苑
2 0	こころ豊かな人づくり500人委員会丹波セミナー	丹波の森公苑
2 5	消防訓練	丹波の森公苑
2 6	丹波縄文の森塾⑨	丹波の森公苑
	消費者のつどい	丹波の森公苑
2 7	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	第3回童謡唱歌の祭典	丹波の森公苑

3月

2	兵庫県グラフ統計コンクール受賞作品展	丹波の森公苑
	神楽地区・地域づくりワークショップ	神楽の郷交流センター
4	たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会理事会・総会	丹波の森公苑
6	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
9	丹波OB大学・OB大学大学院修了式	丹波の森公苑
9	福住地区・地域づくりワークショップ	福住コミュニティセンター
1 0	花と緑の教室⑫	丹波の森公苑
1 3	丹波合唱講習会	丹波の森公苑
	講座「丹波学」⑤	亀岡市・ギャラリーかめおか
	消費生活出前講座	雲部コミュニティセンター
1 4	今田地区県民交流広場竣工式	今田まちづくりセンター
1 9	丹波縄文の森塾⑩ 閉塾式	丹波の森公苑

20	里山倶楽部・森づくりスタッフ合同活動 丹波の森公苑運営委員会	丹波の森公苑 丹波の森公苑
21	丹波消費者団体連絡協議会常任理事会	丹波の森公苑
25	丹波青少年本部役員会	丹波の森公苑
26	(財)兵庫丹波の森協会理事会	丹波の森公苑
29	たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会マーク作品展(～6日)	丹波の森公苑

施設利用一覧

ホール利用団体

団 体	地域	団 体	地域
大阪音楽教育の会	岸和田市	丹波市郷土民踊保存協会	丹波市
柏原税務署	丹波市	丹波市吹奏楽連盟	丹波市
(株)劇団飛行船関西支社	大阪市	丹波市有機の里づくり推進協議会	丹波市
(株)ミクル・ミュージックカンパニー	大阪市	丹波新体操クラブ	丹波市
劇研椎の実	丹波市	丹波青少年本部	丹波市
県立有馬高校	三田市	丹波青年会議所	丹波市
県立柏原高校	丹波市	丹波地域ふるさと芸術文化振興事業実行委員会	丹波市
県立柏原高校好楽会	丹波市	丹波の森国際音楽祭シューベルティアード実行委員会	丹波市
県立柏原高校コーラス部	丹波市	丹波の森ふれあい劇場実行委員会	丹波市
県立柏原高校吹奏楽部	丹波市	丹波の森文化のまちづくり実行委員会	丹波市
上月みのりバレエスクール	丹波市	丹波ひかみ農業協同組合	丹波市
神戸新聞事業者	三田市	中兵庫信用金庫	丹波市
神戸新聞社	神戸市	日本の童謡・唱歌をひろめる会	篠山市
コンサート音楽院	丹波市	兵庫県生きがい創造協会丹波支部	丹波市
(財)兵庫県消防協会	神戸市	氷上吹奏楽団	丹波市
作曲集団神戸たにしの会	丹波市	兵庫県生きがい創造協会丹波支部	丹波市
(社)柏原納税協会	丹波市	兵庫県教職員組合氷上支部	丹波市
(社)兵庫県建築士会柏原支部	丹波市	兵庫県高齢社会課	神戸市
丹波・篠山吹奏楽連盟	篠山市	兵庫県中学校教育研究会音楽部会丹有支部	丹波市
丹波GOGOフェスタ実行委員会	丹波市	明顕寺	丹波市
丹波市音楽協会	丹波市	連合兵庫丹波地域協議会	丹波市
丹波市教育委員会	丹波市		

来園団体（施設見学など）

団 体	地 域	団 体	地 域
芦屋城山登山会	芦屋市	崇広幼稚園	丹波市
大原・桂木エコタウン	神戸市	中央小学校	丹波市
柏原看護専門学校	丹波市	新井小学校	丹波市
柏原保育園	丹波市	阪神南地域ビジョンOB会	尼崎市
久下小学校	丹波市	みつみ・やわらぎ・わかくさ保育園	丹波市
神戸エコタウン	神戸市	和田中学校	丹波市
篠山幼稚園	篠山市		
崇広小学校	丹波市		

グラウンド・テニスコート利用団体

団 体 名	団 体 名
E L T	丹波OB大学同窓会グラウンドゴルフ部
F Cコスモス	丹波警察署
N T T	丹波市グラウンドゴルフ協会
芦田内科	丹波市サッカー協会
エムシー工業(株)	丹波市商工会
柏星クラブ	丹波市商工会青年部柏原支部
柏原グランドゴルフ協会	丹波市ソフトテニス協会
柏原高校	丹波市ソフトテニスを愛する会
柏原高校女子テニス部	丹波市テニス協会
柏原高校男子テニス部	丹波ひかみ農業協同組合
柏原スターズ	丹有サッカー協会
柏原中学校	中兵庫信用金庫 野球部
柏原テニスクラブ	新井ユニオンズ
柏原テニスサークル	パナソニック電工
柏原軟式野球協会	東灘テニスクラブ
火曜クラブ	フオルサキングス
ガンツ化成(株)	フルハイテック
サンデーズ	ぼちぼち会
山南中学校男子ソフトテニス部	ほのぼのテニスの会
ステップアップ	ミックスベジタブル
スポーツクラブ21崇広	木曜会
セツヨーアステック	桃の木台F C
丹丹シニアテニス大会実行委員会	レクサス
丹波OB大学グラウンドゴルフ部	

展示ギャラリー利用状況

月	展 示 会 名 (開催期間)
4	丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし第10集原画展（13～22） 第18回兵庫丹波の森協会写真コンクール（23～5/5）
5	和紙ちぎり絵サークル作品展（7～16） 第108回 和田義博展（18～30）
6	平成22年度 丹波の森作品展（7～19）
7	第5回 丹波絵画教室油彩画選抜展（4～16） 遊花の会5周年記念展（17～8/1）
8	大杉康伸 壺とうつわ展（3～15） 家族の日写真コンクール、わが家のルール受賞作品展(18～26) 子ども美術クラブ、美術学校作品展示（28～9/5）
9	アトリエアーティスト別府充貴展「Roots」（7～19） デザインとしてみる篆刻 不華篆会習作展XVIII～夢をサブテーマに生活の中の書・篆刻～（23～26）
10	第110回 和田義博展（1～14） こどもの健康週間大会展示（23） 丹波の森フェスティバル 企業の森パネル展示（31）
11	フランス刺繍 小椎尾陸子作品展(2～14) 丹波年輪の里絵画サークル作品展（16～28）
12	文化活動交流会作品展（2～5） 第3回瓢友会作品展－瓢に学ぶ－（7～18） 崇徳会習作展（18～19）
1	風信書道会丹波教室新春作品展（14～16） 親子三人展（木戸勇、茂子、済木勝恵）（26～2/9）
2	趣味三人展（三崎嘉之、戸田清史、戸田嘉宣）（10～18）
3	兵庫県統計グラフコンクール優秀作品展巡回展（2～11） 恐竜・哺乳類化石を活かしたまちづくりマーク応募作品展（29～31）

(財) 兵庫丹波の森協会理事会の開催状況

区 分	期 日	開 催 地	出席者数	議 決 ・ 承 認 事 項
第 70 回	平成 22 年 6 月 29 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	16 名 うち表決 委任 4	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年度（財）兵庫丹波の森協会一般会計事業報告及び収支決算の件 ・平成 21 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波の森づくり基金会計収支決算の件 ・平成 21 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波の森公苑特別会計事業報告及び収支決算の件 ・平成 21 年度（財）兵庫丹波の森協会ささやまの森公園特別会計事業報告及び収支決算の件 ・平成 21 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波年輪の里特別会計事業報告及び収支決算の件 ・役員を選任について
第 71 回	平成 22 年 12 月 17 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	16 名 うち表決 委任 4	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年度（財）兵庫丹波の森協会一般会計収支補正予算の件 ・平成 22 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波の森公苑特別会計収支補正予算の件 ・平成 22 年度（財）兵庫丹波の森協会ささやまの森公園特別会計収支補正予算の件 ・平成 22 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波年輪の里特別会計収支補正予算の件
第 72 回	平成 23 年 3 月 26 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	16 名 うち表決 委任 4	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年度（財）兵庫丹波の森協会一般会計収支補正予算の件 ・平成 22 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波の森公苑特別会計収支補正予算の件 ・平成 22 年度（財）兵庫丹波の森協会ささやまの森公園特別会計収支補正予算の件 ・平成 22 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波年輪の里特別会計収支補正予算の件 ・丹波の森づくり基金取り崩しの件 ・平成 23 年度（財）兵庫丹波の森協会一般会計事業計画及び収支予算の件 ・平成 23 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波の森づくり基金会計収支予算の件 ・平成 23 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波の森公苑特別会計事業計画及び収支予算の件 ・平成 23 年度（財）兵庫丹波の森協会ささやまの森公園等別会計事業計画及び収支予算の件 ・平成 23 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波年輪の里特別会計事業計画及び収支予算の件 ・役員選任の件 ・常務理事互選の件

(財)兵庫丹波の森協会役員名簿

平成23年3月31日現在

役員の種類	氏名	所属団体等
顧問	河合雅雄	丹波の森公苑名誉公苑長（京都大学名誉教授）
理事長	辻重五郎	丹波市長
副理事長	酒井隆明	篠山市長
常務理事	大對信文	(財)兵庫丹波の森協会
〃	林一路	丹波の森公苑次長
理事	伊藤聡	丹波県民局長
〃	大木康次	丹波青少年本部本部長
〃	大木豊	丹波市観光協会会長
〃	荻野洋子	丹波市連合婦人会会長
〃	小田晋作	(株)丹波新聞社社長
〃	尾松勝實	丹波市自治会長会副会長
〃	片寄俊秀	大阪人間科学大学教授
〃	杉尾吉弘	(株)夢こんだ代表取締役社長
〃	谷口務	学識経験者
〃	辻乙夫	篠山市自治会長会会長
〃	中瀬勲	丹波の森公苑長（兵庫県立大学教授）
〃	藤井恒弘	丹波文化団体協議会会長
監事	金野幸雄	篠山市副市長
〃	永井隆夫	丹波市副市長

(理事について、氏名の記載は50音順)

丹波の森公苑運営委員会の開催状況

運営委員会の開催状況

区分	開催日	開催地	出席者数	協議事項
第 30 回	平成 22 年 8 月 31 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	12 名	・平成 22 年度事業の実施状況及び 23 年度の事業計画について
第 31 回	平成 23 年 3 月 20 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	12 名	・平成 22 年度事業報告等について ・専門部会報告（人と自然部会、芸術文化部会） ・平成 23 年度事業計画(案)について

専門部会の開催状況

部会名	開催日	開催地	出席者数	協議事項
人と自然部会	平成 23 年 2 月 3 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	9 名	・平成 22 年度事業実施状況及び平成 23 年度事業計画について ・丹波の森公苑の運営について（意見交換）
芸術文化部会	平成 22 年 11 月 2 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 会議室 3	7 名	・平成 22 年度丹波の森公苑文化振興部事業実施状況について ・丹波の森公苑運営委員会における意見・提案について

丹波の森公苑運営委員会委員名簿

平成 23 年 3 月 31 日現在

区分	氏名	職名・所属団体等	備考
地域代表	赤井 俊子	特定非営利活動法人丹波まちづくりプロジェクト代表	
	浅倉 陽子	県民生活審議会委員、 おさん茂兵衛DEたんば実行委員会企画運営委員長	
	荻野 茂	県立丹波年輪の里館長	
	荻野 洋子	丹波市連合婦人会長	
	小林 廣子	篠山市いずみ会長	
	小森 真一	ひょうごCSRクラブ丹波支部長	
	西尾 昭	篠山音楽協会会長	
	吉見 守正	神戸新聞丹波総局長	
行政	坂上 修	丹波県民局県民室長	
	平野 斉	篠山市政策部長	
	中川 泰一	丹波市企画部長	
学識経験	岡田眞美子	兵庫県立大学環境人間学部教授	
	加藤 恵正	県民生活審議会委員、兵庫県立大学教授	
	河内 厚郎	夙川学院短期大学教授、「関西文学」編集長	芸術文化部会長
	小山 修三	国立民族学博物館名誉教授、 福井県若狭三方町縄文博物館運営委員	
	谷口 務	(財)兵庫丹波の森協会理事、元丹波文化団体協議会長	
	永田 萌	(株)妖精村代表取締役、イラストレーター	
	中村 順子	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター 神戸理事長	人と自然部会長
	端 信行	兵庫県立歴史博物館長	委員長
	服部 保	兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授	

(氏名の記載は、50音順)

丹波の森公苑運営委員会・専門部会名簿

「人と自然」部会

平成23年3月31日現在

氏名	所属団体等	備考
赤井 俊子	(特) 丹波まちづくりプロジェクト	部会長
太田 一成	子育てファミリーサポートクラブ「キッズパーク」、佐治地区防犯グループ	
小橋 昭彦	(特) 情報社会生活研究所、地域づくり活動支援会議委員	
酒井 良治	城南地区まちづくり協議会	
笹倉 武史	(特) ナルク丹波事務局長	
杉本 義治	丹波の森公苑里山倶楽部	
徳平 利加子	(有) ささと代表、地域づくり活動支援会議委員	
中道 知代子	丹波消費者団体連絡協議会、地域ビジョン委員会、自然体験活動サポーター	
西本 富子	こころ豊かな人づくり 500 人委員会丹波OB会、自然体験活動サポーター	

「芸術文化」部会

平成23年3月31日現在

氏名	所属団体等	備考
河内 厚郎	夙川学院短期大学教授 「関西文学」編集長 文化プロデューサー	部会長
磯尾 隆司	丹波彫刻会	
井上 和美	演劇塾「くろまめ」	
上田 秋則	丹波OB大学同窓会	
岸本 雅世	おさん茂兵衛DEたんば	
酒井 欣也	シューベルティアーデたんばプロデューサー	
杉尾 吉弘	創作人の会「めんめ」	
前川 鈴代	丹波広報スタッフ・美たんばネット	

機能

丹波の森公苑は、「丹波の森構想」を推進するため、森（地域）づくりをはじめ、豊かな自然の中で、文化、スポーツ、レクリエーション活動が楽しめ、真の豊かさの実現に向けた「新しいライフスタイルの創造」と「参画と協働によるこころ豊かな美しい丹波づくり」をみんな（住民、事業者、行政）で推進する拠点として、住民の方々の多様なニーズに対応できる多彩な事業・取り組みを展開するとともに、誰もが使いやすく、親しみやすい施設として機能の充実を図っています。

■ 丹波の森公苑がめざすもの（役割・機能）

生活創造・地域づくりの広域拠点、相談・助言、情報収集・発信、学習機会提供・ネットワーク化支援
協働事業企画実施、活動支援機関の連携促進

1 研究員・アドバイザーなどが暮らしや活動を応援

<p>■丹波の森研究所専門研究員</p> <p>環境保全や人づくり、実践活動グループ等の取り組みに対し助言する等地域住民の調査研究活動を応援します。</p>	<p>■森づくり活動アドバイザー</p> <p>親しめる森づくりや花いっぱい運動を支援し、緑豊かな丹波の森づくりを応援します。</p>
<p>■地域づくり総合コーディネーター</p> <p>地域づくりの情報発信や相談、アドバイスなどを行い、様々な地域づくり活動を応援します。</p>	<p>■生活情報活動アドバイザー</p> <p>消費生活、環境問題などについての情報の提供や相談に応じ、安心な暮らしを応援します。</p>
<p>■青少年活動コーディネーター</p> <p>青少年活動に関する相談や指導者の紹介など地域の実情に応じた活動を応援します。</p>	<p>■青少年愛護活動推進員</p> <p>青少年の健全育成を図るため、家庭、学校、地域が一体となった取り組みを応援します。</p>
<p>■展示・企画スタッフ</p> <p>展覧会の企画やギャラリー等での展示の機会を提供するなど、住民の芸術文化活動を応援します。</p>	<p>■芸術村スタッフ</p> <p>芸術を愛する人たちの創作活動を支援し、芸術家と住民との交流を進めます。</p>

2 その他

- 会議室、ホール、多目的ルーム、アトリエ
- 展示ギャラリー、グループ活動コーナー、子ども室
- スポーツ施設（グラウンド、テニスコート）、里山、親水河川、芝生広場、駐車場

展示ギャラリーのご案内（1階）

あなたの作品 展示してみませんか？

丹波の森公苑正面の玄関を入ると、左手の喫茶スペース手前に展示ギャラリーがあります。

このコーナーは絵画や写真などの発表スペースとして、無料で開放しています（営利目的のものを除く）。

広報などのサポートもいたしますので、ぜひご利用ください。

■利用期間 搬入出を含む12日間以内（休園日を除く）

■お申込み・お問合せ 丹波の森公苑2階 文化振興部（0795-72-5170）まで

生活創造活動グループサポート制度のご案内

グループで使いまわろう！

■ご利用特典 施設や備品が利用できるほか、情報誌「丹波の森」などでグループ活動を広報します。

【無料で利用できる施設と備品】

グループ活動コーナー（2階）、展示ギャラリー、子供室、パンフレット台（活動情報紙配布用）、ココロン情報版（ポスター等掲示ボード）、情報ボックス（グループ間の連絡用）、展示ケース、印刷機（紙は持参すること）

【有料で利用できる備品】

コピー機（有料 1枚10円 紙代込み）

■対象グループ 丹波地域に活動拠点を置き「消費生活」「芸術文化」「環境・資源」「健康・福祉」「家庭」「地域づくり」などの丹波地域ビジョン実現に向けて取り組んでいるグループです。
*政治・宗教活動・営利目的など、サポート制度の目的になじまないグループは除きます。

■利用できる曜日及び時間

休園日を除く日の午前9時～午後10時（受付時間 午前9時～午後5時）

ただし、展示ギャラリーの利用は、午前9時～午後5時

（受付時間 午前9時～午後5時 利用の3日前までにお申込みください）

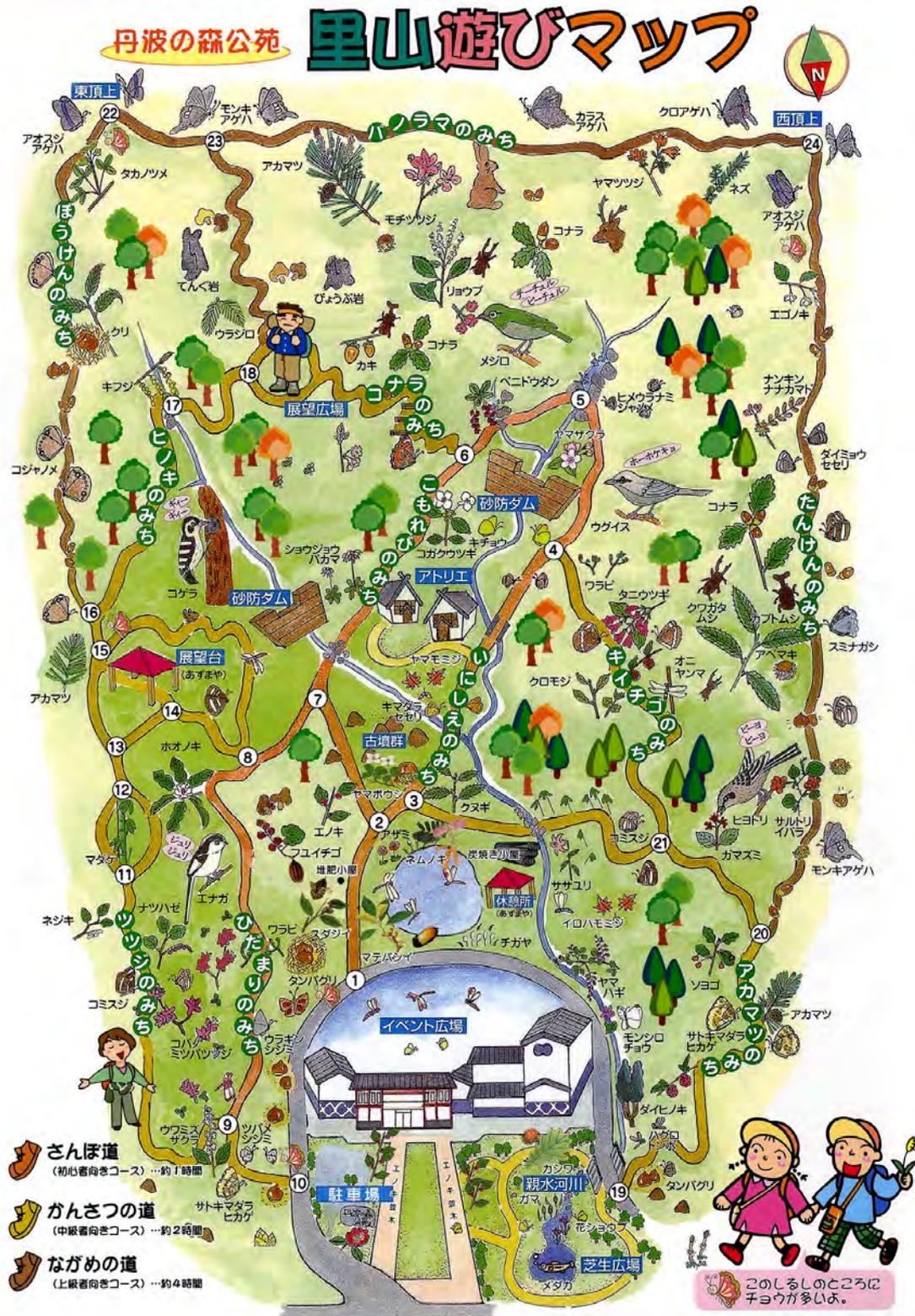
印刷機・コピー機の利用は、午前9時～午後5時

（受付時間 午前9時～午後4時30分）

■お申込み・お問合せ 丹波の森公苑1階 活動支援部 県民課（0795-72-5168）まで

楽しみましょう～森遊び～

- 里山散策 四季折々の自然にふれながら、自然観察、バードウォッチング、ハイキングが楽しめます。
- 里山創造活動（森遊び）モデルの里山で「丹波の森公苑・森づくりスタッフ」や「丹波の森公苑・里山倶楽部」の活動拠点としてシイタケ栽培、炭焼き、樹名札づくりなど様々な活動を展開しています。
- お問合せ 丹波の森公苑1階 活動支援部 森づくり課（0795-72-5169）まで



沿革

(財) 兵庫丹波の森協会の設立

1 設立趣旨

丹波地域の自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波の森づくりを推進するため、以下の事業を実施する組織として設立されました。

- 1 自然環境の保全及び緑化の推進に関する事業
- 2 自然とのふれあいに関する事業
- 3 新しい地域文化の創造及び育成に関する事業
- 4 丹波の森づくりの調査研究及び普及啓発に関する事業
- 5 県立丹波の森公苑の管理運営及びこれに関する事業の受託
- 6 ささやまの森公園の運営等に関する事業の受託
- 7 丹波年輪の里の管理運営及びこれに関する事業の受託
- 8 その他目的達成のため必要な事業

2 沿革

- ・昭和63年11月16日 丹波の森構想を地域住民の総意で推進するための組織として「丹波の森協会（任意団体）」が発足
- ・平成2年2月1日 兵庫県知事から「財団法人 丹波の森協会（公益法人）」の設立を認可
- ・平成8年4月1日 県立丹波の森公苑の管理運営を受託
- ・平成13年10月1日 兵庫県からささやまの森公園の事業を受託
- ・平成18年4月1日 財団法人 兵庫丹波の森協会に名称を変更
- 同 兵庫県から丹波の森公苑の指定管理者に指定される
- 同 篠山市からささやまの森公園（園地管理を除く）の管理運営を受託
- ・平成21年4月1日 兵庫県から丹波年輪の里の指定管理者に指定される

丹波の森公苑の設置

1 設置の趣旨

文化会館や生活科学センター、県民局で、それぞれ展開してきた文化や消費生活、地域づくりなどの活動を一体化し、機能を一層充実・発展させた生活創造センターの第1号として、また、県民が地域や世代を越えて、主体的に学習し、交流し、活動する全県的・基幹的野外CSR施設の第1号として設置された施設であり、各圏域の地域づくり活動の広域拠点として、身近な活動を支え、活動の進展を支援していくとともに、圏域全体で取り組むべき県民と行政の協働事業を企画・提案し、地域力や文化力豊かな地域づくりを推進していきます。

2 沿革

- ・平成8年4月1日 兵庫県立丹波の森公苑の設置及び管理に関する条例（平成8年兵庫県条例第6号）により、氷上郡柏原町柏原5600番地に設置
兵庫県立丹波の森公苑の管理運営を財団法人丹波の森協会に委託
- ・平成8年4月29日 県立丹波の森公苑開園
- ・平成9年7月6日 多目的グラウンド、テニスコート及びクラブハウスの供用開始

施設の概要

丹波の森公苑の概要

- (1) 敷地面積 359,395.99㎡
 (2) 建物面積 延5,953.74㎡

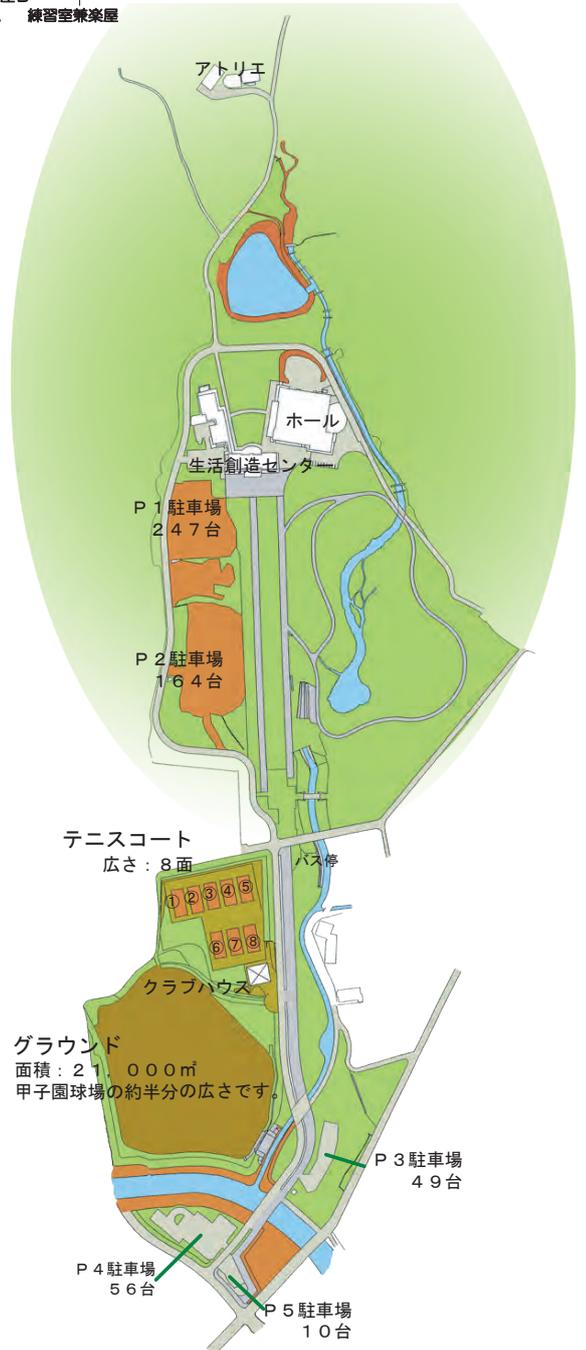
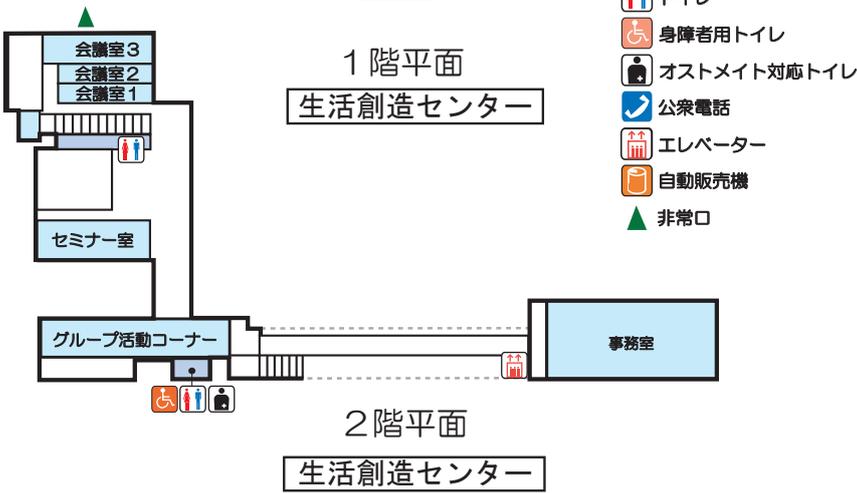
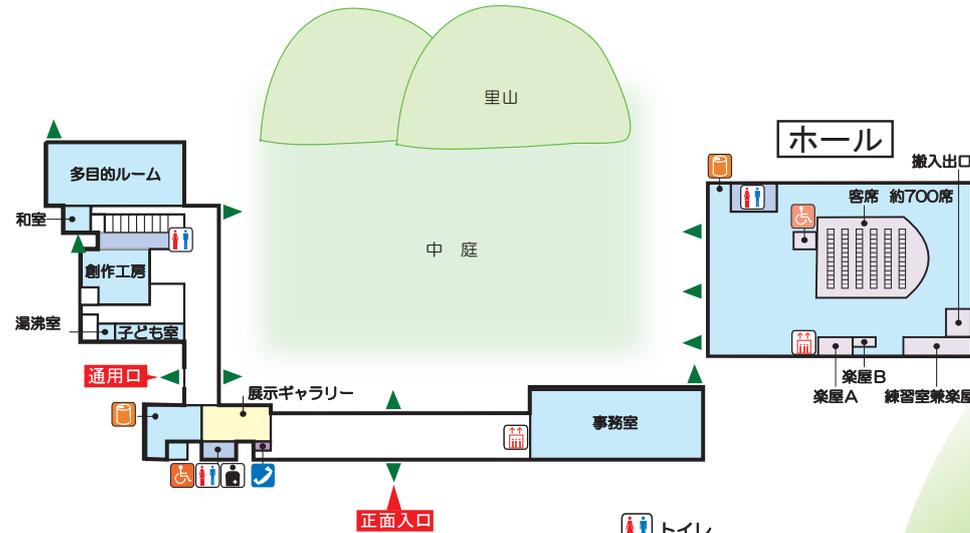
建物の内訳

名 称		建物面積 (㎡)	内 容
生活創造センター棟	管 理 情 報 棟	1,069.33	ライブラリー、インフォメーション、グループ活動コーナー、喫茶・軽食コーナー、事務室等
	研 修 創 作 棟	1,142.36	多目的ルーム (展示等)、創作工房、和室、セミナー室、会議室1、会議室2、会議室3等
	渡り廊下 (1)	53.28	
	プロパン庫	5.16	
ホール棟	ホ ー ル	2,969.62	ホール (固定席691席)、練習室兼楽屋、楽屋A、楽屋B等
	渡り廊下 (2)	26.64	
小 計		5,266.39	
その他	ア ト リ エ	210.28	絵画棟、彫刻棟
	ク ラ ブ ハ ウ ス	252.00	スポーツ施設内
	倉 庫 棟	225.07	倉庫 (4)、車庫兼倉庫 (2)
小 計		687.35	
合 計		5,953.74	

屋外施設

多目的グラウンド	21,000㎡
テニスコート	人工芝コート8面
里山、散策路	490,000㎡ (借地を含む)
その他の施設	主幹園路、親水河川、イベント広場、駐車場

施設案内図



利用者の推移

平成22年度の利用者数	
施設使用料対応入苑者数	86,999人
推計入苑者数(参考)	158,200人
計	≒245,200人

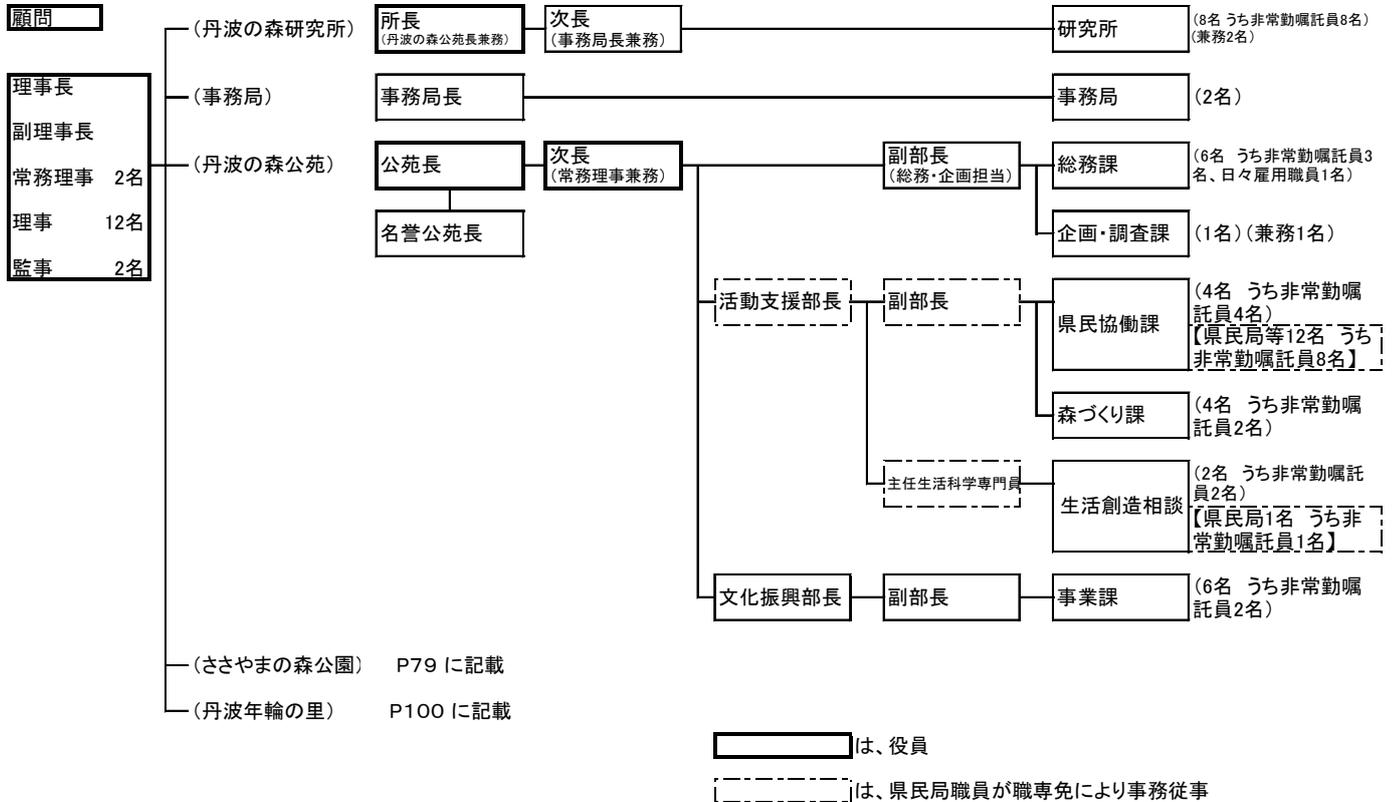
平成8年度から平成22年度までの累計
3,694,300人

組織と職員

平成23年3月31日

(1) 組織図

(財)兵庫丹波の森協会組織図



(2) 職員数

(単位：人)

区分	事務職	小計	非常勤嘱託員等	小計	合計
丹波の森研究所			専門研究員 4 ★化石発掘体験支援員 1 ★恐竜・哺乳類化石を活かしたまちづくり推進員 3	8	8
事務局	4	4			4
丹波の森公苑	13 【7】	13 【7】	名誉公苑長 1 公苑長 1 生活情報活動アドバイザー 2 地域づくり活動総合コーディネーター 1 森づくり活動アドバイザー 2 芸術村スタッフ 1 展示・企画スタッフ 1 ★親ひろばコーディネーター 1 ★たんば田舎暮らしワンストップサービス支援員 3 宿日直代行員 3 日々雇用職員 1 丹波県民局嘱託員 【5】 丹波青少年本部嘱託員 【4】	17 【9】	30 【16】

- 丹波の森研究所長、丹波の森公苑名誉公苑長、丹波の森公苑長及び同次長は役員が兼務している。
- 丹波の森研究所長は丹波の森公苑長が、丹波の森研究所次長は協会事務局長が、研究所は、事務局及び企画・調査課の職員が兼務している。
- 事務職欄は、常務理事、常勤職員及び非常勤嘱託員を計上している。
- 事務職欄及び非常勤嘱託員欄の【 】は、丹波県民局職員及び丹波青少年本部職員を外書きしている。
- ★印は、緊急雇用就業機会創出事業により雇用した職員である。

(3) 役員・職員配置

〔(財)兵庫丹波の森協会〕

顧問	河合 雅雄
理事長	辻 重五郎
副理事長	酒井 隆明
常務理事	大對 信文
常務理事	林 一路
理事	伊藤 聡
理事	大木 康次
理事	大木 豊
理事	荻野 洋子
理事	小田 晋作
理事	尾松 勝實
理事	片寄 俊秀
理事	杉尾 吉弘
理事	谷口 務
理事	辻 乙男
理事	中瀬 勲
理事	藤井 恒弘
理事	金野 幸雄
監事	永井 隆夫

事務局

事務局長	森田 学
事務職員	細見由美子
事務職員	大西 和之

〔丹波の森研究所〕

丹波の森研究所長	(中瀬公苑長兼務)
丹波の森研究所次長	(森田事務局長兼務)
主任専門研究員	山本 茂
専門研究員	重本 幸彦
専門研究員	横山 宜致
専門研究員	上岡 典子
★化石発掘体験支援員	塩山沙弥香
★恐竜・哺乳類化石を活かしたまちづくり推進員	今井 進
★恐竜・哺乳類化石を活かしたまちづくり推進員	細見 孝也
★恐竜・哺乳類化石を活かしたまちづくり推進員	柳瀬 尚子

〔丹波の森公苑〕

名誉公苑長	河合 雅雄
公苑長	中瀬 勲
次長	(林常務理事兼務)
活動支援部長	中野 光司
文化振興部長	豊田 幸雄
副部長(総務企画担当)兼総務課長	畑 隆
活動支援部副部長	山田 貴一
文化振興部副部長兼事業課長	山内 一郎
主任生活科学専門員	別府 英市

★印は、緊急雇用機会創出事業職員

総務課

課長	(畑副部長兼務)
主査	石井 俊之
主査	桐村 雅子
日々雇用職員	臼杵 晃子
宿日直代行員	山内 一行
宿日直代行員	山根 憲明
宿日直代行員	中能 慶三

企画・調査課

課長	高階 強
職員	(大西事務職員兼務)

県民協働課

課長	澤野 勝
主任青少年指導専門員	奥田 格
課長補佐	福戸専太郎
主査	高森 直美
地域づくり活動総合コーディネーター	北村久美子
★親ひろばコーディネーター	井上 暁子
★たんば田舎暮らしワンストップサービス支援員	植木 克幸
★たんば田舎暮らしワンストップサービス支援員	森田 忠
★たんば田舎暮らしワンストップサービス支援員	宮前香陽子

相談担当

生活情報活動アドバイザー	西山 和
生活情報活動アドバイザー	田中 範子

森づくり課

課長	山野 廣史
森づくり活動推進員	脇田 幸重
森づくり活動アドバイザー	松原 泰夫
森づくり活動アドバイザー	足立 隆昭

事業課

課長	(山内副部長兼務)
文化専門員	吉岡 靖磨
文化専門員	永井 寿幸
文化専門員	籾内 大介
文化専門員	足立 幸謙
展示・企画スタッフ	岸本 美鈴
芸術村スタッフ	赤對 友子

〔丹波の森公苑駐在〕

青少年愛護活動推進員	阪下 剛一
地域協働推進事務嘱託員	近藤 康男
地域協働推進事務嘱託員	西山 富
★県民交流広場活性化アドバイザー	高見 祥子
消費者ネット地域コーディネーター	方山 桂子
青少年活動コーディネーター	赤尾 実紗
★ひょうご子ども・若者応援団普及活動促進員	小畠 睦
★こうのとり出会いサポーター	足立志洋子
★こうのとり出会いサポーター	片山喜美代

ささやまの森公園 事業報告

一年間の活動の内容をより分かりやすくお伝えするために、2009年度ささやまの森公園で行った事業12項目をあげ、「ねらい」や「成果」などについてお知らせいたします。

シューベルティアードたんば 2009 「里山コンサートⅦ」

◇ねらい

自然環境豊かな里山の中で、来園者に音楽を気軽に楽しむ機会を提供し、自然と文化に親しむ。

◇実施内容

アカペラユニット「アルバトロス」と沖縄太鼓演奏「丹波篠山真南風」の演奏を聴く。

◇成果（自己評価等）

参加者 88人

◇翌年度の予定

平成22年9月26日



活動拠点施設「中庭」にてコンサート
(2009. 9. 23)

里山まつり（春・秋）

◇ねらい

春の桜満開の頃と秋の黒枝豆収穫の頃に里山まつりを実施し、来園者に里山と親しんでもらい、ふれあい、交流を持つ。

◇実施内容

ボランティアスタッフや地元住民による体験コーナー、バザー等手づくりイベントを実施した。

◇成果（自己評価等）

参加者 春1,823人 秋1,568人

◇翌年度の予定

春4月、秋10月に開催する。



公園の玄関より秋の里山まつり
(2009. 10. 11)

ゴールデンウィーク特別企画 (5月3・4・5・6日)

◇ねらい

連休の来園者が気軽に参加して、里山でプログラムを楽しんでもらう。

◇実施内容

- ・どんぐり・まつぼっくりや木の枝、竹など自然素材を使って動物やネームプレートを作る。
- ・竹炭や石にかわいらしい絵を描く。
- ・木を焦がしながら絵を描く。

◇成果 (自己評価等)

参加者 106人 (3～6日)

◇翌年度の予定

平成22年5月2～4日



親子で熱心に工作をする
(2009. 5. 3)

お盆休み特別企画 (8月14・15日)

◇ねらい

お盆休みの来園者が気軽に参加して、里山でプログラムを楽しんでもらう。

◇実施内容

- ・どんぐり、まつぼっくりや木の枝、竹など自然素材を使って動物やネームプレートを作る。
- ・ヒイラギとヒイラギモクセイの葉で葉脈しおりを作る。
- ・顕微鏡を使ってミクロの生物や葉脈を観察する

◇成果 (自己評価等)

参加者 141人 (14～15日)

◇翌年度の予定

平成22年8月13・14日



木工作品を作る参加者
(2009. 8. 15)

里山体験プログラム

◇ねらい

里山や村に残る資料や技術などを利用して、その価値や文化を広く人々に伝承していく。

◇実施内容

こんにゃく、黒豆腐、黒豆味噌、草木染め、そば道場、木工体験、しめ縄作り、その他

◇成果（自己評価等）

33 回実施 参加者 471 人

◇翌年度の予定

同様のプログラムを、年間を通して実施する。



藍の生葉でストールを染める参加者
(2009. 8. 2)

レクリエーションプログラム

◇ねらい

尾根や谷、溪流、高低差のある散策路などで五感を使って自然環境の豊かさを体感する。

◇実施内容

ダッチオープン料理、深山登山、溪流登り（沢歩き）、グラウンドゴルフ、夜の自然体験、その他

◇成果（自己評価等）

8 回実施 139 人参加

◇翌年度の予定

同様のプログラムを、年間を通して実施する。



ロープを使いアメリカ式木登りをする参加者
(2009. 6. 13)

自然学習プログラム

◇ねらい

参加者に身近な里山の中で体験を通して楽しく学習をしながら、自然環境の関心を高める。

◇実施内容

植物の観察、ハイキング、水生生物の観察、昆虫標本作り、モリアオガエルやホタルの観察、キノコ観察、バードウォッチング、その他

◇成果（自己評価等）

15回実施 参加者 267人

◇翌年度の予定

同様のプログラムを、年間を通して実施する。



園内の野鳥を探す参加者
(2009. 5. 2)

里山復元プログラム

◇ねらい

放置されて荒れていく里山の森を再び活用するために復元・保全活動をする。

◇実施内容

炭焼き体験（木炭・竹炭）、雑木林の整備、丸太のベンチ作り、シイタケづくり①～③、コケ玉とミニ盆栽作り、その他

◇成果（自己評価等）

15回実施、参加者 180人

◇翌年度の予定

同様のプログラムを、年間を通して実施する。



間伐材を使って丸太のベンチを作る参加者(2009. 9. 27)

マツタケ施業

◇ねらい

かつてマツタケの産地として繁栄したこの地域で、マツタケ山を再生して、地域の活性化を図る。

◇実施内容

月に1~2回ボランティアスタッフ有志が公園内のある場所で実際にアカマツ林の整備などを進めている。

◇成果（自己評価等）

平成21年4月より合計18回実施した。

◇翌年度の予定

平成22年度も引き続き進める。



調査のため網を張る活動スタッフ

団体利用活動

◇ねらい

学校や公共・民間、その他の団体の活動や交流の場として公園を提供し、積極的に活用できるようにする。

◇実施内容

ネイチャーゲーム、園内散策、葉脈しおり作り、こんにゃく作り、草木染め、山菜採り、クラフト、自然観察、間伐体験、巣箱作り、布ぞうり作り、黒豆腐作り、その他

◇成果（自己評価等）

団体数90、参加者数1,843人

◇翌年度の予定

今後も利用希望の団体があれば、積極的に受け入れる。



ネイチャーゲームを体験する参加者

団体学校利用活動

◇ねらい

学校の里山授業の一環として学校や公園で里山活動し、いろいろな里山体験を年間通して学習する。

◇実施内容

こんにゃく作り、草木染め、山菜採り、木工クラフト、自然観察、間伐体験、そば打ち体験、わらぞうり作り、しめ縄作り、その他

◇成果（自己評価等）

回数 15回、生徒数 16人

◇翌年度の予定

来年度も同様の里山体験授業を実施する。



つるでツル細工を作る生徒と講師

森の学校

◇ねらい

小学校4年生から6年生を対象に、豊かな自然の中でさまざまな体験活動を通して、たくましく生きる力を育むことを目的に参加者を募り開校する。

◇実施内容

昆虫採集と標本作り、夜の自然体験など宿泊体験、山菜教室、バードウォッチング、ツリーイング、巣箱作り、間伐体験、和風作り、その他

◇成果（自己評価等）

回数 11回、生徒数 12人

◇翌年度の予定

来年度も同様の里山体験授業を実施する。



キャンプでテントを張る生徒達

プログラム一覧

ア) 基本プログラム

① 里山体験班のプログラム活動

プログラム名	実施日	内 容	参加者数
春休みシリーズ 親子で染め物体験	4月 4日	杉の葉でバンダナを染める	8
春休みシリーズ 親子でクッキング	4月 5日	レンガ窯でピザを焼いて食べる	23
やきもの体験シリーズ おしゃれな植木鉢を作ろう① ～作陶～	5月31日	公園の土を使って作陶	7
里山伝承 ～ちまき作り～	6月 7日	ササ・カヤ・イグサでちまきを作る	31
トマトケチャップをつくろう	6月14日	旬のトマトでケチャップを作る	31
小さな宝物を作ろう ～石と炭のアート～	6月21日	石や炭に絵を描く	7
やきもの体験シリーズ おしゃれな植木鉢を作ろう② ～絵付け・本焼き～	6月28日	絵付けと本焼き	8
里山伝承シリーズ ～昔ながらの田舎料理～	7月12日	夏野菜を使った和え物などの料理	20
布ぞうりを作ろう！	7月19日	古布を使ってぞうりを作る	16
夏休み宿題お助け企画 ～輪ゴム鉄砲を作ろう～	7月26日	割り箸と輪ゴムで鉄砲を作る	24
草木染め教室 ～藍の生葉で染めよう～	8月 2日	藍の生葉でストールを染める	14
夏休み宿題お助け企画 ～モビールを作ろう～	8月23日	昆虫や魚のバランスで動く木工を作る	9
里山体験シリーズ そば道場入門① ～種まき～	8月30日	種まき作業	21
ミニ靴の小物入れを作ろう	9月13日	和紙を使って靴の形の小物入れを作る	4
こんにゃく作り	9月20日	こんにゃく芋でこんにゃくを作る	10
やきもの体験シリーズ ウェルカムボードを作ろう① ～作陶～	10月18日	公園の土を使って作陶	8
里山伝承シリーズ ～昔ながらの田舎料理～	10月25日	栗・小豆・のりを使っておはぎを作る	16
里山体験シリーズ そば道場入門② ～そば刈り～	11月 1日	そば刈り作業	23
男の料理	11月 3日	ロールキャベツと黒豆ご飯を作る	18
草木染め教室 ～秋色に染めましょう～	11月21日	杉の葉でバンダナを染める	5
やきもの体験シリーズ ウェルカムボードを作ろう② ～絵付けと本焼き～	11月22日	絵付けと本焼き	11
里山体験シリーズ そば道場入門②-1 ～脱穀～	12月 6日	乾燥したそばの脱穀作業	6
布ぞうり作り	12月 6日	古布を使ってぞうりを作る	8
里山体験シリーズ そば道場入門③ ～そば打ち体験～	12月20日	収穫したそば粉でそば打ち体験	23
しめ縄作り	12月23日	お正月準備のしめ縄を作る	33
かわいい馬の置物を作ろう	1月23日	自然素材を使って馬の置物を作る	7
里山伝承シリーズ ～昔ながらの田舎料理～	1月31日	地元「山の神」で作る豆腐なますなどを作る	9
黒豆味噌作り パート1	2月14日	丹波特産の黒豆を使って味噌を作る	18
黒竹で恐竜を作ろう	2月14日	黒竹を使って恐竜の置物を作る	7
黒豆味噌作り パート2	2月24日	丹波特産の黒豆を使って味噌を作る	18
やきもの体験シリーズ ミニティッシュボックスを作ろう① ～作陶～	3月 7日	公園の土を使って作陶	11
やきもの体験シリーズ ミニティッシュボックスを作ろう② ～絵付けと本焼き～	3月22日	絵付けと本焼き	11
春を呼ぶおやつを作ろう	3月28日	ヨモギ団子とうぐいす餅を作る	6

計	33回	471
---	-----	-----

② レクリエーション班のプログラム活動

プログラム名	実施日	内 容	参加者数
第12回グラウンドゴルフ大会	4月15日	ささやまの森公園杯争奪	35
深山登山 ～新緑の「深山」に登ろう～	5月16日	新緑の深山へ登山をする	5
ロープで木登りしよう ～ツリーイング体験～	6月13日	(AM) アメリカ式木登り体験をする	12
ロープで木登りしよう ～ツリーイング体験～	6月13日	(PM) アメリカ式木登り体験をする	15
ささやまの森探検隊	7月11日	源流をめざして沢歩きをする	13
深山登山 ～黄葉の深山に登ろう～	11月22日	黄葉の深山へ登山をする	16
深山登山 ～冬の深山に登ろう～	1月24日	冬の深山へ登山をする	28
初めての野外炊飯 ～自分でご飯を炊いてみよう～	2月27日	薪に火をつけご飯を炊く体験をする	15
計	8回		139

③ 自然学習班のプログラム活動

プログラム名	実施日	内 容	参加者数
バードウォッチング ～幸せの青い鳥と黄色い鳥に出会うツアー～	5月2日	オオルリなどの野鳥の観察をする	27
モリアオガエルとホタルの観察	6月6日	夜の生き物の観察をする	35
モリアオガエルの観察会	6月20日	モリアオガエルの卵の観察をする	10
ヒメボタルの観察会	7月4日	フラッシュ点滅するヒメボタルを観察する	36
夏休み宿題お助け企画 ～昆虫標本作り～	7月25日	昆虫観察と標本を作る	12
水辺の生きものを探そう	8月16日	溪流に棲む生きものの観察をする	24
夏の自然を楽しもう	8月29日	初秋の風が吹く園内で自然観察をする	3
秋の夜 虫の声を聞き分けよう	9月5日	夜の鳴く虫の観察をする	18
きのこウォッチング	9月26日	園内のきのこを観察する	16
秋の自然を楽しもう!	10月24日	木の実など園内で自然観察をする	17
杉玉作り	11月29日	杉の葉を使って杉玉を作る	12
バードウォッチング	12月12日	カマガラなどの野鳥を観察する	18
小鳥の食卓とお家を作ろう	1月17日	巣箱とペットボトルでエサ箱を作る	12
冬の自然を楽しもう!	2月13日	生き物の足跡や冬ごもりを観察する	5
バードウォッチング	3月20日	早春の園内で野鳥を観察する	22
計	15回		267

④ 里山復元班のプログラム活動

プログラム名	実施日	内 容	参加者数
癒しの灯りを作ろう	4月26日	間伐材で電気スタンドを作る	13
コケ玉とミニ盆栽作り	5月18日	植物の苗でコケ玉とミニ盆栽を作る	17
炭焼き体験 ～木炭作り～	6月27日	木炭の窯出しと木炭材の窯入れをする	16
竹の食器を作ろう	7月5日	竹で箸やコップなどを作る	8
夏休み宿題お助け企画 ～小さな飾り棚を作ろう～	8月22日	間伐材を使ってミニ飾り棚を作る	12
里山活用シリーズ 丸太のベンチ作り② ～ベンチ作り～	9月27日	マイベンチを作る	16
癒しの灯りを作ろう	10月17日	間伐材で電気スタンドを作る	11
コケ玉とミニ盆栽作り	10月31日	植物の苗でコケ玉・ミニ盆栽を作る	13
里山活用シリーズ 炭焼き体験① ～竹伐りと竹割り～	11月8日	炭材の竹伐り・竹割り作業をする	16

里山活用シリーズ シイタケづくり① ～原木伐採とシイタケの話～	11月14日	原木伐採とシイタケの話	11
里山活用シリーズ 炭焼き体験② ～炭焼き～	11月28日	竹炭材の窯入れ作業をする	14
里山活用シリーズ シイタケづくり② ～ほだ木作り～	12月14日	原木の玉伐り・ほだ木を作る	13
雑木林を育てよう&ネームプレート作り	1月24日	除伐・輪切りでネームプレートを作る	5
炭焼き体験 ～木炭作り～	2月28日	竹炭の窯出しと木炭材の窯入れをする	6
里山活用シリーズ シイタケづくり③ ～菌打ち～	3月7日	植菌作業をする	9
計	15回		180

イ) 特別プログラム

プログラム名	実施日	内容	参加者数
春の里山まつり	4月12日	体験コーナー・バザー 他	1863
GW特別企画 竹笛作り	5月3日	篠竹を使って竹笛を作る	30
GW特別企画 木工クラフト	5月4日	木の実や枝を使って森の動物を作る	29
GW特別企画 トールペイント	5月5日	石や炭に絵を描く	29
GW特別企画 ウッドバーニング	5月6日	木を焦がしながら絵を描く	18
お盆休み特別企画 葉脈しおり作りと顕微鏡でミクロの世界をみよう	8月14日	葉脈しおり作りと顕微鏡で観察をする	79
お盆休み特別企画 木工クラフト	8月15日	木の実や枝を使って森の動物を作る	62
里山コンサートⅦ	9月23日	アカペラ・沖繩太鼓演奏	88
秋の里山まつり	10月11日	体験コーナー・バザー 他	1600
福住校区限定 シイタケづくり①	11月28日	原木伐採とシイタケの話	4
福住校区限定 シイタケづくり②	1月23日	原木の玉切り作業をする	3
福住校区限定 シイタケづくり③	2月20日	菌打ち作業をする	3
河合雅雄先生 講演会	3月14日	演題「アフリカ調査 こぼれ話」	56
計	13回		3864

ウ) 団体プログラム

プログラム内容別利用団体・参加者数

内容	団体数	参加者数	内容	団体数	参加者数
園内散策	31	676	田舎料理	1	18
自然観察	5	125	山菜教室	1	18
環境・里山学習	2	32	ツリーイング体験	1	28
間伐体験	4	103	ピザ作り	1	40
沢登り	1	15	草木染め	5	82
木工クラフト	4	120	ネイチャーゲーム	1	30
紙すき体験	1	6	こんにやく作り	1	18
シカ肉料理	1	18	ネイチャーゲーム	1	14
沢遊び	1	57	ハイキング	1	15
コケ玉作り	2	22	動物オブジェ作り	4	52
きのこ学習	1	8	ミニ靴の小物入れ作り	1	8
しいたけ植菌	1	28	そば打ち体験	2	31
しめ縄作り	1	18	深山登山	1	18

黒豆腐作り	1	18	つる採集・つる細工	2	36
森の学校	11	189	計	90	1843

エ) 会議・その他

月日	事業名	事業内容	参加者数
4月17日	お楽しみプログラム	鬼まんじゅう作り	3
4月15日	団体準備	草木染め煮出し	1
4月18日	あらし班活動	畑作業	4
4月19日	木工旋盤実演会	木工旋盤の使い方を講習する	4
4月25日	自然学習班会議	7～9月新プログラム案企画会議	2
4月29日	里山体験班・レクリエーション班合同会議	7～9月新プログラム案企画会議	7
4月29日	里山復元班会議	7～9月新プログラム案企画会議	5
4月29日	ロックガーデン	ロックガーデン(野草園)の整地・移植作業	4
4月中	プログラム準備	春の里山まつり準備 その他(8回)	31
5月1日	リーダー会	7～9月新プログラム企画調整会議	3
5月10日	活動スタッフ総会	H20年度活動報告・H21年度活動計画 他	26
5月28日	団体準備	丹波の森の祭典の葉脈しおり作り	5
5月中	プログラム準備	丸太のベンチ材料準備・炭焼き体験 その他(4回)	7
5月中	マツタケ施業	実地作業(2回)	4
5月中	あらし班	畑作業(2回)	11
6月4日	団体準備	森の学校のツリーイング	6
6月7日	あらし班作業	黒豆の種植え作業	6
6月17日	草木染め同好会	草木染めの勉強会をする	6
6月19日	運営協議会	H20収支・事業報告、H21事業計画	22
6月20日	自然学習班会議	10～12月新プログラム案企画会議	4
6月中	プログラム準備	炭焼き体験の竹伐り作業・ちまき作り その他(3回)	8
6月中	マツタケ施業	実地作業(2回)	6
7月11日	ささもり窯作業	窯の修復作業	4
7月15日	草木染め同好会	草木染めの勉強会をする	10
7月18日	木工旋盤実演会	木工旋盤の使い方講習会	1
7月18日	里山復元班会議	10～12月新プログラム案企画会議	6
7月18日	里山体験班会議	10～12月新プログラム案企画会議	7
7月18日	レクリエーション班会議	10～12月新プログラム案企画会議	4
7月20日	おやつ研究会	郷土お菓子の研究をする	6
7月中	プログラム準備	昆虫標本作り材料作り・布ぞうり試作その他(4回)	11
8月1日	リーダー会	10月～12月プログラム企画調整会議・その他	5
8月7日	団体準備	森の学校 竹の食器準備	2
8月8日	あらし班	南瓜撤収作業・草刈作業	4
8月19日	草木染め同好会	草木染めの勉強会をする	9
8月27日	マツタケ施業	実地作業	5
8月中	プログラム準備	そば道場・丸太のベンチ作り材料作りその他(5回)	19
8月中	ささもり窯作業	窯の修復作業	8
9月16日	草木染め同好会	草木染めの勉強会をする	6
9月19日	竹の館の修理	屋根の雨漏りの修理	4
9月中	プログラム準備	丸太のベンチ試作・秋の里山まつり準備その他(4回)	11
9月中	マツタケ施業	実地作業(2回)	3
9月中	ささもり窯作業	窯の修復作業(5回)	15

10月 3日	竹の館修理	屋根の雨漏り修理	1
10月12日	団体準備	草木染め準備	1
10月15日	おやつ研究会	郷土お菓子の研究をする	6
10月17日	里山復元班会議	1月～3月新プログラム案企画会議	4
10月17日	里山体験班会議	1月～3月新プログラム案企画会議	2
10月21日	草木染め同好会	草木染めの勉強会をする	5
10月22日	刃研ぎ講習会	工具の刃研ぎを講習する	5
10月24日	自然学習班会議	1月～3月新プログラム案企画会議	6
10月24日	レクリエーション班会議	1月～3月新プログラム案企画会議	2
10月28日	ツリーイング でく班活動	ツリーイング場所の除伐・整地	2
10月29日	リーダー会	1月～3月新プログラム企画調整会議・その他	3
10月中	プログラム準備	癒しの明かりとり試作・葉脈しおり準備その他(4回)	12
10月中	マツタケ施業	実地作業(4回)	8
11月 1日	ふるさとの森公園イベント	人と自然の博物館のイベント参加(葉脈しおり作り)	5
11月 4日	ツリーイング でく班活動	ツリーイング場所の除伐・整地	1
11月 8日	福住祭イベント	布ぞうり作りで参加	1
11月15日	活動スタッフ研修旅行	海洋博物館・神戸森林植物園を見学	24
11月18日	草木染め同好会	草木染めの勉強会をする	1
11月21日	お楽しみプログラム	杉玉作り	11
11月中	プログラム準備	杉玉作・草木染め(2回)	7
11月中	マツタケ施業	実地作業(2回)	3
12月10日	マツタケ施業	実地作業	3
12月12日	自然学習班会議	4～6月新プログラム案企画会議	2
12月16日	草木染め同好会	草木染めの勉強会をする	4
12月17日	ツリーイング でく班活動	ツリーイング場所の除伐・整地	2
12月24日	正月準備	公園の門松・歳徳神材料準備	2
12月中	プログラム準備	炭焼き・ミニ門松作り その他(6回)	13
1月17日	里山体験班・レクリエーション班合同会議	4～6月新プログラム案企画会議	4
1月24日	里山復元班会議	4～6月新プログラム案企画会議	5
1月26日	おやつ研究会	郷土お菓子の研究をする	4
1月中	プログラム準備	小鳥の食卓を作ろう・田舎料理(2回)	6
2月 7日	ボランティアスタッフ交流会	ゆめさきの森公園にて	6
2月11日	リーダー会	4～6月新プログラム企画調整会議・その他	5
2月16日	野鳥の森整備	植樹作業	3
2月20日	木工旋盤講習会	木工旋盤の使い方を講習する	5
2月28日	ツリーイング でく班活動	ツリーイング場所の除伐・整地	3
2月中	プログラム準備	ミニティッシュボックスを作ろう試作 その他(5回)	24
2月中	マツタケ施業	実地作業(2回)	6
3月11日	幹事会	H21事業実施報告・H22事業計画	7
3月14日	活動スタッフ交歓会	親交を深める活動	18
3月17日	運営協議会	H21事業実施報告・H22事業計画	17
3月18日	草木染め同好会	草木染めの勉強会をする	4
3月29日	アカゲラ巣箱作り	アカゲラ巣箱製作	2
3月中	プログラム準備	春を呼ぶおやつを作ろう・癒しの灯りを作ろうその他(3回)	9
計			579

活動・施設利用一覽

平成21年4月1日～平成22年3月31日

月 日	主 な 事 項	会 場
平成20年4月		
2	口酒井子供会来園	ささやまの森公園
4	プログラム「親子で染め物体験」	ささやまの森公園
5	プログラム「親子でクッキング」	ささやまの森公園
12	プログラム「春の里山まつり」	ささやまの森公園
14	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園
15	プログラム「ささやまの森公園杯争奪 第12回グラウンドゴルフ大会」	ささやまの森公園
	篠山市立福住小学校来園	ささやまの森公園
16	篠山産業高等学校 丹南校 ～草木染め教室～	篠山産業高等学校 丹南校
17	篠山市立村雲小学校 4・5・6年生来園	ささやまの森公園
	寝屋川市自然資料施設運営スタッフ来園	ささやまの森公園
23	篠山産業高等学校 丹南校 ～山菜教室～	ささやまの森公園
26	プログラム「癒しの灯りを作ろう」	ささやまの森公園
30	篠山産業高等学校 丹南校 ～こんにやく作り～	篠山産業高等学校 丹南校
5月		
1	篠山産業高等学校 東雲校来園	ささやまの森公園
2	プログラム「バードウォッチング ～幸せの青い鳥と黄色い鳥に出会うツアー～」	ささやまの森公園
3	GW特別企画「竹笛作り」	ささやまの森公園
4	GW特別企画「木工クラフト ～木の実で森の動物を作ろう～」	ささやまの森公園
5	GW特別企画「トールペイント」	ささやまの森公園
6	GW特別企画「ウッドバーニング」	ささやまの森公園
9	森の学校 ～開校式・オリエンテーション～	ささやまの森公園
13	春日・丹波の森の会来園	ささやまの森公園
	県立芦屋国際中等教育学校来園	ささやまの森公園
14	篠山産業高等学校 丹南校 ～間伐体験～	ささやまの森公園
16	プログラム「深山登山 ～新緑の深山に登ろう～」	ささやまの森公園
17	プログラム「コケ玉とミニ盆栽作り」	ささやまの森公園
19	ささやまの森公園維持管理協議会来園	ささやまの森公園
26	氷上高年低山会来園	ささやまの森公園
30	丹波の森の祭典	丹波の森公苑
31	プログラム「おしゃれな植木鉢を作ろう①」	ささやまの森公園
6月		
5	篠山市教育委員会来園	ささやまの森公園
6	プログラム「モリアオガエルとホタルの観察会」	ささやまの森公園
	森の学校 ～ツリーイング体験と巣箱作り～	ささやまの森公園
7	プログラム「里山伝承 ～ちまき作り～」	ささやまの森公園
11	篠山産業高等学校 丹南校 ～動物オブジェ作り～	ささやまの森公園
13	プログラム「ロープで木登りしよう ～ツリーイング体験～」	ささやまの森公園
14	プログラム「トマトケチャップを作ろう」	ささやまの森公園
16	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園

20	プログラム「モリアオガエルの観察会」	ささやまの森公園
21	プログラム「小さな宝物をつくろう ～石と炭のアート～」	ささやまの森公園
25	篠山産業高等学校 丹南校 ～ダッチオープン料理とモリアオガエルの観察～	ささやまの森公園
27	プログラム「炭焼き体験 ～木炭作り～」	ささやまの森公園
28	プログラム「おしゃれな植木鉢を作ろう②」	ささやまの森公園
7月		
3	篠山市国際理解センター来園	ささやまの森公園
4	プログラム「ヒメボタルの観察会」 森の学校 ～昆虫標本作り～	ささやまの森公園
5	プログラム「竹の食器を作ろう」 亀岡親子劇場来園	ささやまの森公園
7	植物同好会来園	ささやまの森公園
8	篠山市立福住小学校 4年生来園	ささやまの森公園
9	ナチュネット来園	ささやまの森公園
11	プログラム「ささやまの森探検隊 ～ささやまの森公園の知られざる秘境地帯をゆく～」 ささやまスポーツクラブ21来園	ささやまの森公園
12	プログラム「里山伝承 ～昔ながらの田舎料理～」	ささやまの森公園
19	プログラム「布ぞうりを作ろう！」	ささやまの森公園
22	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園
24	篠山市特別支援学級・養護学級来園	ささやまの森公園
25	プログラム「夏休み宿題お助け企画 ～昆虫標本作り～」	ささやまの森公園
26	プログラム「輪ゴム鉄砲を作ろう」 日本野外生活推進協会来園	ささやまの森公園
28	京都中丹養護学校中部来園	ささやまの森公園
30	篠山産業高等学校 東雲校来園	ささやまの森公園
31	丹波県民局 環境教育研修会来園	ささやまの森公園
8月		
2	プログラム「草木染め教室 ～藍の生葉で染めよう～」	ささやまの森公園
6	篠山産業高等学校 東雲校来園	ささやまの森公園
7	篠山産業高等学校 東雲校来園 篠山市親子ふれあいセンター ウサギ組来園	ささやまの森公園
8～9	森の学校 ～竹の食器作り・ささやまの森探検隊・ 夜の自然体験・水辺の生きものを探そう～	ささやまの森公園
14	お盆休み特別企画「葉脈しおり&顕微鏡でミクロの世界をみよう」	ささやまの森公園
15	お盆休み特別企画「木工クラフト」	ささやまの森公園
16	プログラム「水辺の生き物を探そう！」	ささやまの森公園
20	篠山市教育委員会（幼稚園中堅職員研修）来園	ささやまの森公園
21	篠山市教育委員会（幼稚園新人職員研修）来園	ささやまの森公園
22	プログラム「小さな飾り棚を作ろう」	ささやまの森公園
23	プログラム「モバイルを作ろう」	ささやまの森公園
26	富山保育園来園	ささやまの森公園
29	プログラム「夏の自然を楽しもう！」	ささやまの森公園
30	プログラム「そば道場入門① ～種まき～」	ささやまの森公園
9月		
3	篠山産業高等学校 丹南校 ～黒豆腐作り～	篠山産業高等学校 丹南校

5	プログラム「秋の夜 虫の声を聞き分けよう」 森の学校 ～間伐体験・木工クラフト～	ささやまの森公園 ささやまの森公園
10	篠山産業高等学校 丹南校 ～つる植物の採集～	ささやまの森公園
12～13	J U O N 来園	ささやまの森公園
13	プログラム「ミニ靴の小物入れを作ろう」	ささやまの森公園
15	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園
17	篠山産業高等学校 丹南校 ～つる細工～	ささやまの森公園
20	プログラム「こんにやく作り」	ささやまの森公園
23	プログラム「里山コンサートⅦ」	ささやまの森公園
26	プログラム「きのこウォッチング」	ささやまの森公園
27	プログラム「丸太のベンチ作り② ～ベンチ作り～」	ささやまの森公園
10月		
1	篠山産業高等学校 丹南校 ～田舎料理～	篠山産業高等学校 丹南校
3	森の学校 ～きのこウォッチング・自然観察～ 兵庫きのこ研究会来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園
7	篠山市立篠山幼稚園来園	ささやまの森公園
11	プログラム「秋の里山まつり」	ささやまの森公園
14	篠山市姉妹都市委員会来園 社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園
17	プログラム「癒しの灯りを作ろう」	ささやまの森公園
18	プログラム「ウエルカムボードを作ろう①」	ささやまの森公園
22	篠山産業高等学校 丹南校 ～竹とんぼ作り～	篠山産業高等学校 丹南校
24	プログラム「秋の自然を楽しもう」 日本災害救援ボランティアネットワーク来園 KWVOB会来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園 ささやまの森公園
25	プログラム「昔ながらの田舎料理 ～おはぎ作り～」	ささやまの森公園
28	篠山市立福住小学校来園	ささやまの森公園
31	プログラム「コケ玉とミニ盆栽作り」	ささやまの森公園
11月		
1	プログラム「そば道場入門② ～そば刈り～」 ふるさと森公園「人博フェスティバル」イベント	ささやまの森公園 人と自然の博物館
3	プログラム「男の料理」 多紀文化祭イベント	ささやまの森公園 篠山市ハートピアセンター
4	篠山市立福住小学校 3年生来園	ささやまの森公園
6	J A 丹波ささやま女性の会来園	ささやまの森公園
7	森の学校 ～深山へ木の名前を覚えるハイキングと自然観察～	ささやまの森公園
8	プログラム「炭焼き体験① ～竹伐採と竹割り～」 福住祭イベント	ささやまの森公園 篠山産業高等学校 東雲校
13	HNWVクラブ来園	ささやまの森公園
14	プログラム「シイタケづくり① ～シイタケの話と原木伐採～」 香寺町野外活動協会来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園
19	篠山産業高等学校 丹南校 ～ドングリを使ったオモチャ作り～	ささやまの森公園
21	プログラム「草木染め教室 ～秋色に染めましょう～」	ささやまの森公園
22	プログラム「ウエルカムボードを作ろう② ～絵付け&本焼き～」	ささやまの森公園
23	プログラム「深山登山 ～黄葉の深山に登ろう～」	ささやまの森公園
25	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園

26	篠山産業高等学校 丹南校 ～しめ縄作り～	ささやまの森公園
27	丹波県民局 ビジョン委員会来園	ささやまの森公園
28	プログラム「炭焼き体験② ～竹炭作り～」	ささやまの森公園
	プログラム「シイタケづくり①（福住校区限定）」	ささやまの森公園
	人と自然の会来園	ささやまの森公園
29	プログラム「杉玉作り」	ささやまの森公園
	篠山自然の会来園	ささやまの森公園

12月

5	森の学校 ～クリスマスリース作り～	ささやまの森公園
6	プログラム「布ぞうり作り」	ささやまの森公園
	プログラム「そば道場入門②-1 ～そばの脱穀～」	ささやまの森公園
12	プログラム「バードウォッチング」	ささやまの森公園
13	プログラム「シイタケづくり② ～ほだ木作り～」	ささやまの森公園
15	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園
20	プログラム「そば道場入門③ ～そば打ち体験～」	ささやまの森公園
23	プログラム「しめ縄作り」	ささやまの森公園
27	プログラム「ミニ門松作り」	ささやまの森公園

平成20年1月

13	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園
14	篠山産業高等学校 丹南校 ～そば打ち体験～	ささやまの森公園
16	森の学校 ～和風作り～	ささやまの森公園
17	プログラム「小鳥の食卓とお家を作ろう」	ささやまの森公園
21	篠山産業高等学校 丹南校 ～シカ肉料理教室～	篠山産業高等学校 丹南校
23	プログラム「かわいい馬の置物を作ろう」	ささやまの森公園
	プログラム「シイタケづくり②（福住校区限定）」	ささやまの森公園
24	プログラム「雑木林を育てよう&ネームプレート作り」	ささやまの森公園
30	プログラム「深山登山 ～冬の深山に登ろう～」	ささやまの森公園
31	プログラム「昔ながらの田舎料理 ～山の神で作る料理～」	ささやまの森公園

2月

2	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園
6	森の学校 ～バードウォッチング・自然ウォッチング～	ささやまの森公園
13	プログラム「冬の自然を楽しもう」	ささやまの森公園
14	プログラム「黒豆味噌作り Part 1」	ささやまの森公園
20	プログラム「シイタケづくり③（福住校区限定）」	ささやまの森公園
21	プログラム「黒竹で恐竜を作ろう」	ささやまの森公園
24	プログラム「黒豆味噌作り Part 2」	ささやまの森公園
28	プログラム「炭焼き体験 ～木炭作り～」	ささやまの森公園
27	プログラム「初めての野外炊飯 ～自分でご飯を炊いてみよう～」	ささやまの森公園
28	プログラム「炭焼き体験 ～木炭作り～」	ささやまの森公園

3月

2	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園
6	森の学校 ～終了式・文集作り～	ささやまの森公園
7	プログラム「シイタケ作り③ ～菌打ち～」	ささやまの森公園
	プログラム「ミニティッシュボックスを作ろう① ～作陶～」	ささやまの森公園
9	プログラム「河合雅雄さん・永田萌さん対談 ～子どもに自然を～」	ささやまの森公園
10	篠山市立畑小学校 5年生来園	ささやまの森公園

20	プログラム「バードウォッチング」	ささやまの森公園
22	プログラム「ミニティッシュボックスを作ろう② ～絵付け&本焼き～」	ささやまの森公園
29	プログラム「春を呼ぶおやつを作ろう」	ささやまの森公園
29	阪神シニアカレッジ来園	ささやまの森公園
	六甲道児童館来園	ささやまの森公園

ささやまの森公園運営協議会委員名簿

平成23年3月31日現在

区分	氏名	職名・所属等	
学識経験者	河合 雅雄	兵庫県立人と自然の博物館名誉館長 丹波の森公苑名誉公苑長	会長
	永吉 照人	兵庫県生物学会元会長 兵庫県立大自然環境科学研究所元教授	副会長
	樋口 清一	兵庫県生物学会副会長・関西学院大学非常勤講師 兵庫県自然保護指導員	
地元代表	土井 忍	地元福住校区自治会長	副会長
	森田 悟	地元川原自治会会長	
	小畠 裕	地元大字福住地区代表	
教育関係	河南 秀和	篠山市教育委員会教育長	
	小田 繁雄	丹波市教育委員会教育長	
	久木 茂昭	兵庫県立篠山産業高等学校東雲校教頭	
	臼井 正博	篠山市立西紀北小学校教諭	
自然・環境活動関係	足立 勲	自然体験研究所長・関西学院大学非常勤講師 兵庫県自然保護指導員	副会長
	荻野 茂	兵庫県立丹波年輪の里館長	
	竹内 正義	篠山自然の会	
	脇塚 陸	ひょうご森のインストラクター	
	近成 つた子	丹波の森花くらぶ	
	芦田 正章	丹波自然友の会	
活動スタッフ代表	杉田 弘治	地元活動スタッフ代表	
	森田 守二	地元活動スタッフ代表	
	谷口 次男	活動スタッフリーダー	
	山崎 和美	活動スタッフリーダー	

機能

体験プログラム・イベントのご案内

丹波篠山は、自然豊かな森に囲まれています。里人たちは「里山」と呼ばれる森を利用して生活してきました。農家の裏山にあたる里山は、村人たちが長い間暮らしと共に育んできたすばらしい環境です。美しい水と森に育まれた草花や動物たちが生息し、四季それぞれの表情を見せています。身近な動物やホタル、カブトムシなど子供達の大好きな昆虫、春・秋の七草をはじめ、街で見かけなくなった生き物とも出会うことができます。ささやまの森公園は暮らしと共に育んできた里山環境をみんなで理解し、山の幸を味わい、里山文化を伝承し、森の環境そのものを皆で楽しみながら、人と共生できる自然の営みや私達の暮らしのあり方を考える場として整備しています。ボランティアの活動スタッフとともに多彩なプログラムやイベントを展開し、世代や地域を越えた交流を通して、豊かな丹波の里山づくりを目指しています。

プログラム		主な内容
里山体験	①工 作 ③食 材・料 理 ④体 験 農 業	つる細工、しめ縄、巣箱、葉脈しおり、木工、リース、草木染め 山菜料理、豆腐、味噌、餅、田舎料理、こんにゃく、そば 丹波黒豆、山の芋、そば、野菜等
自然学習	①環 境 学 習 ②生 態 学 習 ③保 全 学 習	植生、水生昆虫、ビオトープ、水鳥、野鳥 里山自然林の動植物、両生類、魚類、昆虫 里山森林保全、谷川の清流、原生林の植生、湿地の植生
レクリエーション	①ハ イ キ ン グ ②ゲ ー ム ③み どころ 巡 り	深山コース、府県境コース、胎内くぐりコース、源流探検 ネイチャーゲーム、ネイチャーテイリング 胎内くぐり、天然記念物「沙羅の木」、蛇岩、かくし田
里山復元	①里山総合学習 ②里山総合体験 ③里山総合利用	樹種学習、植生調査、森林生態、森林科学、森林経済 間伐、枝打ち、きのこ栽培、堆肥作り、植林 炭焼き、木材利用、水車作り、ログハウス建築

■団体プログラム

プログラムは原則として土曜・日曜・祝日に実施しますが、団体の申し込みには、平日でも希望のプログラムを組み実施しています。

■学校向けプログラム

総合的な学習の展開に適したプログラムを約20種類用意し、学校や子供会の要望に応じています。

■森の学校

毎月第1土曜日を基本として年間(11回)里山体験をする。夏期休暇は1泊2日のキャンプ体験をします。

■イベント

春の里山まつり・秋の里山まつり・里山音楽会・講演会等、年に数回のイベントを実施しています。

沿革

ささやまの森公園の設置

1 設置の趣旨

兵庫県では法人県民税の超過課税の財源を基に「自然活用型野外CSR事業」（文化 Culture/スポーツ Sports/レクリエーション Recreation）を実施しています。

「丹波の森構想」の理念のもとに、自然を生かした生活環境や地域の文化を形成してきた里山を保全育成することを目的とします。住民の参画と実践により都市住民との交流、異世代間の交流、里山の保全利用したプログラムを展開し、グリーンツーリズムの場として県民に自然との触れ合いの場を提供し、生活をより豊かにする里山・森づくりを推進します。

2 沿革

- ・平成14年 4月 1日 兵庫県と丹波の森協会が実施委託契約
- ・平成14年 4月 4日 活動拠点施設開所式
- ・平成14年 7月 6日 ログ小屋完成
- ・平成14年 7月21日 開園式典
- ・平成15年 5月17日 柚小屋完成
- ・平成16年 3月31日 10号作業道・12号歩道（木の実の散策路）完成
- ・平成16年 6月 1日 竹の館完成
- ・平成17年 3月31日 13号歩道・14号歩道・15号歩道（湖上の散策路）完成
- ・平成18年 3月31日 16号作業道（エビズエの散策路）・東屋（雑木林の散策路頂上）・藤棚（水辺の広場）・臨時駐車場完成
- ・平成18年10月 8日 森守の小屋完成
- ・平成19年 4月15日 開園5周年記念式典
- ・平成19年 4月15日 万兔の森第1期工事完成
- ・平成19年11月10日 炭焼き小屋と柚小屋の屋根延長工事完成
- ・平成20年 3月15日 万兔の森第2期工事完成
- ・平成20年11月23日 レンガ窯「ささもり窯」の完成
- ・平成20年11月26日 野鳥観察小屋完成
- ・平成21年 3月10日 万兔の野草園造成
- ・平成22年 3月 6日 野鳥の森第1期植樹完成

施設の概要

ささやまの森公園の概要

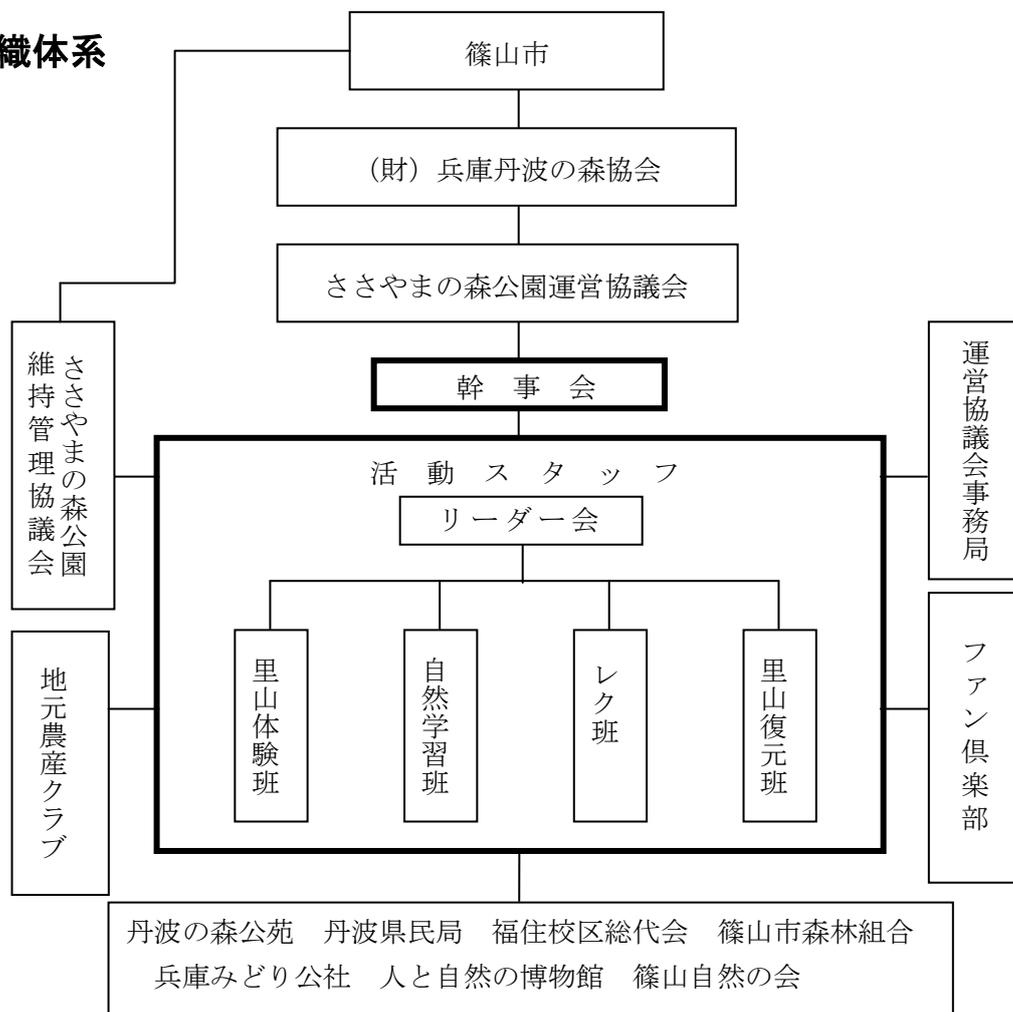
活動拠点施設の位置する谷を中心に両側の尾根までを「ささやまの森公園」の範囲としています。その中には、兵庫県所有地と借地を含んでおり、面積は25.5haに及び、人工林30%自然林70%が広がる。

なお、利用者は、平成14年度13,312人、平成15年度17,355人、平成16年度18,364人、平成17年度17,885人、平成18年度20,131人、平成19年度19,319人、平成20年度18,434人、平成21年度23,684人 累計 **148,484**人です。

名 称	内 容
活 動 拠 点 施 設	事務局・森の道場・和室・倉庫・台所・トイレ・手押しポンプ
ク リ 林 の 園 地	クリ林の中での活動、交流など集いの拠点
水 辺 の 広 場	溪流の傍に芝生の広場が広がり、木陰・石ベンチがあり子どもの遊び場
こ も れ び の 園 地	コナラ林の明るい散開林に東屋があり、ネイチャーゲームや野鳥観察ができる
モ リ ア オ ガ エ ル の 池	季節にはモリアオガエルが産卵する池で、説明板や観察台を設置
炭 焼 き 窯	直径 1.8m の本格的な炭焼き窯
杣 小 屋	木工細工所として、活動スタッフの手で建築
ロ グ 小 屋	作業車の格納庫として、活動スタッフが間伐材を利用して建築
散 策 路	湖岸の散策路・赤松の散策路・雑木林の散策路・黄葉樹の散策路・木の実散策路・湖上の散策路等全長12.640km整備
駐 車 場	林間駐車場（46台）・施設前駐車場（6台）・臨時駐車場（50台）
竹 の 館	木工材料の乾燥・保管場所(4×10m) 活動スタッフが間伐材を利用して建築
森 守 の 小 屋	活動スタッフの研修・集会・休憩場所として活動スタッフの手で建設
ハ イ キ ン グ 道	尾根に全長10kmのハイキングコースを活動スタッフの手で開拓・整備
万 兎 の 森	昆虫や鳥を呼ぶ森作りとして、活動スタッフの手で植樹・造成
万 兎 の 野 草 園	野草の盗掘を防ぐため石庭形式にし、公園内の野草を集め観察できる庭を完成
果 樹 園	農家の庭先に植えてあるような果樹を栽培
ビ オ ト ー プ 池	トンボや水生生物などが集まり、自然観察ができる場
野 鳥 観 察 小 屋	雑木林の中に野鳥が観察できる小屋（16㎡）が完成
レ ン ガ 窯	丹波焼きの技術を取り入れた窯で、パン・ピザも焼くことができる設計にした
野 鳥 の 森	鳥を呼ぶ森作りとして、活動スタッフの手で植樹

組織と職員

(1) 組織体系



- 太枠の活動スタッフと幹事会（若干名）は、ボランティアの活動スタッフ。
- 幹事会：ささやまの森公園運営協議会と活動スタッフより各々の若干名で組織し両者の調整を行う。
- ファン倶楽部：運営を支援するための年会費制での応募者。
- 活動スタッフ：プログラムの企画・実施や、ささやまの森公園で里山活動を行う。

(2) 職員 (運営協議会事務局)

担 当	氏 名
公園長兼事務局長	樋 口 清 一
総 務 担 当	藤 原 一 美
森 づ く り 担 当	酒 井 正 治
プ ロ グ ラ ム 担 当	長 井 吉 広
事 務 員	中 尾 俊 子
事 務 員	森 田 朋 子

(3) ボランティア活動スタッフ名簿

里山体験班	秦 信 夫	山 鳥 吉 子
足 立 忠 士	秦 有 理 子	
上 西 三 郎	樋 口 初 美	里山復元班
梅 垣 伸 行	牧 野 英 郎	入 江 ま つ 子
梅 垣 玲 子	森 田 愛 子	上 田 宏
宇 和 川 三 鈴	森 田 美 佐 代	大 野 直 明
大 石 エ ミ 子	山 口 祐 助	岡 野 弘 明
大 石 一 夫	山 崎 和 美	加 藤 隆
大 和 田 英 樹	山 取 樹 利	金 井 拓 男
岡 田 照 代	山 取 純 子	金 子 武 夫
小 賀 野 文 代	横 山 孝 雄	神 原 勝 彦
荻 田 弘 子		喜 多 洋 二
金 丸 一	自然学習班	北 場 章 子
川 上 忠	阿 部 操	小 山 雅 充
杉 田 和 代	泉 靖 子	杉 田 弘 治
杉 田 貞 子	大 塚 剛 二	諏 訪 田 知 敬
杉 谷 和 子	大 塚 千 鶴 子	田 代 善 彌
鈴 木 和 子	倉 掛 み ど り	辻 本 哲
高 田 眞 里	田 井 彰 人	津 田 良 仁
竹 内 正 義	高 山 謙 輔	坪 井 忠
竹 内 美 由 紀	谷 口 次 男	中 西 千 秋
近 成 つ た 子	畑 中 美 智 子	初 島 広 治
泊 高 則	道 本 久 美 子	平 田 春 芳
中 島 章 雄		福 島 宏 行
中 島 紀 子	レクリエーション班	藤 村 恵 道
西 村 美 代 子	青 木 美 子	増 田 藤 志 一
野 中 烈	市 村 祐 高	三 木 栄 三
野 中 陸 子	小 島 啓 介	脇 塚 陸
野々村正晟	原 田 優	

丹波年輪の里 主要事業報告

2010年度に実施した丹波年輪の里の主要な事業・取り組みについては次のとおりです。

環境月間フェア「マイ箸づくり」

◇ねらい

生活に最も身近な「マイ箸」を、丹波材を活用し創作することを通じて、日常利用するお箸のこと、国産材や森林の現状など身近な環境を考える契機とする。

◇実施内容

6月の毎週日曜日に、予め応募し当選した者が、工作指導員の指導のもと、丹波産サカキやツバキの木をカンナで削って、また削ってマイ箸を完成。

- ・実施日：6月の毎日曜日（定員1日10名）

◇成果

- ・4回実施、参加者38人

◇翌年度の予定

- ・平成23年6月実施



マイ箸入れは丹波布製の箸袋です

2010. 6. 2

第23回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）

◇ねらい

「一般の部」は木のおもちゃを念頭に遊び心や木のぬくもりを感じられる作品を、「ジュニアの部」は子どもたちに広く木に親しんでもらうことを目的に自由な木工作品を公募した。

◇実施内容

- 一般・募集作品：「テーマ作品（揺れる）」「自由作品」
 - ・展示期間：平成22年9月19日～10月3日
 - ・展示会場：丹波年輪の里木の館ホール
- ジュニア・募集作品：「自由作品」
 - ・展示期間：平成22年10月24日～11月7日
 - ・展示会場：丹波年輪の里木の館ホール

◇成果

- ・出展者(出展数) 一般 : 50名 (57点)
ジュニア : 260名 (265点)
- ・入選作品 一般 : 10作品・ジュニア : 11作品
- ・展示見学者 一般 : 2,238名・ジュニア : 716名

◇翌年度の予定

- ・平成23年7月～11月



一般の部グランプリ作品
(文部科学大臣賞)



ジュニアの部グランプリ作品
(文部科学大臣賞)

アートクラフトフェスティバル in たんば2010

◇ねらい

全国の木工や陶磁器、布など様々なジャンルのクラフトマンの作品が、野外で自由に展示出来る場を提供し、手づくり文化や地域文化の向上など、創造活動の普及を図る。

◇実施内容

丹波をはじめ、山梨、広島など全国各地のクラフト作家が、芝生広場や木陰で展示や来園者との交流を楽しんだ。

当日は好天に恵まれ、近年最高の入場者で賑わった。

- ・開催日：平成22年10月2・3日



芝生広場は楽しい展示場

2010.10/2・3

◇成果

- ・出展者： 161名
- ・入場者： 14,922人

◇翌年度の予定

- ・平成23年10月1日(土)・2日(日)

特別工作教室

◇ねらい

利用者の創作ニーズや工作指導員の特技に応じた教室や子供・親子などを対象にした教室を開催した。

◇実施内容

年輪の里の木工指導員による木工教室、地元陶芸家による陶芸教室、絵本の読み聞かせなどを実施した。

【開催した各種教室】		参加数
・木彫り教室（中級）	月2回	309名
・木彫り教室（専科）	月2回	278名
・刃研ぎ塾	年6回	60名
・木育木工教室	年5回	150名
・にっこり笑えば木工教室	年5回	50名
・くらしの手づくり道具 木工教室	年2回	10名
・夏休み親子 工作教室	年1回	59名
・陶芸教室	年1回	30名
・親子で絵本を楽しもう	年2回	27名
・クリスマスリースづくり	年1回	25名



様々な木工教室を開催



地元陶芸家による陶芸教室

2010.9.5

◇翌年度の予定

同様のプログラムを、年間を通じて実施する。

つくって飛ばそう竹とんぼ大会

◇ねらい

竹とんぼは、竹の材質、大きさ、羽の角度、重さ、心棒など、制作者は工夫し独自の作品を創作する。こうした手づくりの竹とんぼで競技し、技術の向上を図るとともに伝承おもちゃの普及を目指す。

◇実施内容

- ・実施日：平成22年8月22日(日)
- ・競技種目：①高度(高さ) ②滞空時間 ③距離
 - *竹製の部(竹のみで制作)
 - *象嵌の部(竹に木や金属などをはめ込む)



飛べ！ 競技者も見学者も力が入る瞬間

2010. 8. 22

◇成果

- 参加者 28人(全国から集合)
- *前日の21日(土)には竹とんぼ教室を開催

◇翌年度の予定

平成23年8月28日(日)

第7回 たんばはがき絵展

◇ねらい

「たんば」の自然、風物、風景などを中心とした「はがき絵」を募集し、丹波の良さを発見する契機とする。

◇実施内容

- ・募集期間：9月1日～12月28日
- ・募集部門：①高校生と一般
 - ②小学高学年と中学生
 - ③幼児と小学低学年 の3部門

◇成果

丹波内外の156名から210点の応募

	出展作品数	出展者の住所地
幼児と小学校低学年の部	111点(88名)	丹波 76名
小学校高学年と中学生の部	30点(23名)	丹波外 80名
高校生と一般の部	69点(45名)	合計156名

○展示会開催・年輪の里 木の館ホール

- ・京都会場(南丹市日吉町生涯学習センター)
- ・神戸会場(県立中央労働センター)

◇翌年度の予定

- ・平成23年9月～12月募集、翌年2月展示



一般・高校生の部大賞



中学生・小学高学年の部大賞



小学生低学年・幼児の部大賞

ギャラリーアトリエとアトリエ作品展

◇ねらい

創作活動の促進とアトリエの有効活用と図るため、サークル活動を支援するとともに教室生の発表の場と機会を提供する。

◇実施内容

○アトリエを拠点に活動するサークル活動

- ・スーパー竹とんぼ教室・木彫教室・絵画サークル
- ・バードカービング教室・レザークラフト教室
- ・こども絵画教室(研修室)・日本画教室(研修室)

○アトリエ作品展

- ・出展者：教室生徒・友の会員、
木工指導員の創作作品の展示
- ・開催日：4月29日～5月5日(ゴールデンウィーク期間)
- ・見学者：1,765名

○フリーマーケット・ツリーイング・親子木工教室等実施

- ・実施日：5月3日・4日

◇翌年度の予定

平成23年度 4・5月ゴールデンウィークに実施



友の会会員の作品展示風景

丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会と平日のグラウンドゴルフ

◇ねらい

芝生広場の利用が少ない平日の3日間(水・木・金)は、グラウンドゴルフ愛好者に有料で解放している。このグラウンドゴルフ利用者を対象に、相互の交流とさらなる利用を促進するため年4回の大会を開催する。

◇実施内容

- ・大会参加者：グラウンドゴルフ利用者
- ・募集定員 1回当たり144名
- ・開催状況
・平成22年06月22日参加=134名
・平成22年09月28日参加=134名
・平成22年12月07日参加=134名
・平成23年03月08日参加=149名

【参考】平日のグラウンドゴルフ

- ・利用可能日：水・木・金曜の3日間(夏休・祝日等除く)
- ・利用料金：1日1人300円
- ・利用受付：レストラン奏旬館 ☎0795-70-1845

◇翌年度の予定

- ・平成23年度 年4回開催予定。



芝生広場でグラウンドゴルフを楽しむ

事業一覧

2010年に実施した丹波年輪の里の事業は次表のとおりである。

1. 工作事業活動

事業名	実施日	内 容	参加者(名)
(1) 木工指導員による工作教室			
①・1年を通して開催する教室			
木彫り教室専科	通年24回	ブローチ、タオル掛け、ペンダント等自由課題	延309
木彫り教室中級	通年24回	同 上	延278
②その都度募集して実施する教室			
刃研ぎ塾 6回開催	5月 8日	刃物の研ぎ方を学ぶ	10
	7月 3日		11
	9月 5日		11
	11月13日		11
	1月16日		5
	3月26日		12
マイ箸づくり 4回開催	6月 6日	丹波産材でマイ箸をつくる	10
	6月13日		8
	6月20日		10
	6月27日		10
親子で木工教室	5月 3日	親子で子供イスをつくる	15
	5月 4日		18
木育工作教室Ⅰ	5月13日	メッセージボードをつくる	7
	5月20日		7
	5月27日		3
木育工作教室Ⅱ 4回シリーズ	9月12月	コートハンガーをつくる	10
	9月19日		10
	9月26日		10
	10月10日		10
木育工作教室Ⅲ 2回シリーズ+予備日	11月21日	おもちゃ「プラトイ・ヘリコプター」をつくる	10
	11月28日		10
	12月 5日		3
木育工作教室Ⅳ	12月 4日	My スプーンをつくる	10
	12月12日		10
	3月20日		10
木育木工教室Ⅴ 4回シリーズ	2月13日	三輪プッシュカー（三輪車）をつくる	10
	2月20日		10
	2月27日		10
	3月 6日		10
にっこり笑えば木工教室 5回シリーズ	1月20日	携帯道具箱をつくる	10
	1月27日		10
	2月 3日		10
	2月10日		10
	2月17日		10

くらしの道具手作り教室	2月11日	木版で便箋をつくる	6
	2月18日		4
夏休み親子工作教室	7月25日	コリントゲームをつくる	59
夏休み限定丹波竜貯金箱づくり	7月24日～ 8月31日	丹波竜貯金箱をつくる	75
(2) 木工以外のものづくり等を楽しむ教室			
陶芸教室	9月5日	オリジナル作品に挑戦(例) コーヒーカップ等	30
親子で絵本を楽しもう	8月7日	絵本読み、ペーパークラフトを楽しむ	11
	3月19日		16
クリスマスリース教室	12月5日	クリスマスリース飾りをつくる	25
丹波年輪の里友の会 *入会金1000円 *年会費2000円	通 年	会員には24回の利用特典と、毎月「友の会おしらせ」等情報の提供、刃研ぎ塾、現地研修会などの参加を通して施設利用の促進と技術の向上と相互の交流を図る。	1,280
計			2,424

2. 競技大会等

事業名	実施日	内 容	参加者数(名)
つくって飛ばそう「竹とんぼ大会」	8月22日	手づくりの竹とんぼで①滞空時間②飛ぶ距離、③飛ぶ高さの3種目を競う。	27
コバ・カイバラ2010 少年サッカー大会	7月24日 25日	地元と大阪・県内チームとの交流大会	400
【グラウンドゴルフ】			
丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会	6月22日	通常年輪の里でグラウンドゴルフを楽しんでいる者による大会	134
	9月28日		134
	12月 7日		134
	3月 8日		149
グラウンドゴルフ事業	通年平日	グラウンドゴルフを楽しむ	1,063
計			2,041

3. サークル教室活動

事業名	実施日	内 容
スーパー竹とんぼ教室	毎月第4土曜 10:00～16:00	国際竹とんぼ協会兵庫本部の会員が、お子さんから大人まで指導。
レザークラフト教室	毎月第2日曜 10:00～16:00	レザークラフト第一人者、佐藤健さんの教室。継続コースと1日だけの体験コースあり。
木彫サークル	毎月第3土曜 10:00～16:00	木彫り大好きが集いの場。
バードカービング教室	毎月第1・3土曜 10:00～16:00	木彫りの野鳥を作ります。
絵画教室 学美隊	毎月第2・4土曜 小学生 9:30～11:30 中・高校生・一般 13:00～16:30	子供は主に鉛筆、色鉛筆、クレヨン、水彩、墨汁、ポスターカラーでの絵画指導です。大人は水彩画が中心。
絵画サークル	毎月第1・3木曜 10:00～16:00	絵を描くことが大好きな仲間のサークル
日本画教室	毎月第1・2・4火曜 13:30～16:30	水彩画・はがき絵から日本画まで初心者から。

4. 展示・イベント事業

事業名	実施日	内 容	参加者数(名)
【ウッドクラフト展】			
第23回丹波の森 ウッドクラフト展 (一般部門)	9月19日～ 10月3日	「遊び、戯れ、木のぬくもり」をテーマに、全国公募し、審査、優秀作を表彰、入賞作品・出展作品すべて展示。	見学者 2,238
同 上 (ジュニア部門)	10月24日～ 11月7日	県下を中心に全国の高校生以下の生徒作品を公募、審査、優秀作を表彰し、応募全作品を展示した。	見学者 716
丹波の森ウッドクラフト展 歴代グランプリ作品展示	通 年	丹波の森ウッドクラフト展の歴代のグランプリ作品を展示紹介。	
【木に関する展示】			
木 木 市 (もくもくいち)	5月15日	丹波の木材製材関係者の協力のもと、県民を対象に木材、端材などの展示販売。	3,000
	11月20日		2,900
木材利用啓発展示	通 年	県民に木材利用を啓発するため、分かりやすい工夫をしてパネルを展示	
身近な木製品展示	3月～5月	・木のある暮らしに欠かせない木工・木工品の展示 ・県産木材玩具(ヒノキの積み木)の展示と遊びコーナーの設置	
木のなんでも市・木珠あそび	通 年	木の普及振興事業として、丹波の木材製材関係の業者の協力のもと、県民を対象に木材、端材などの展示販売。	
【文化関連・その他の展示】			
絵画教室 学美隊 作品展示	6月25日～ 7月4日	教室生徒の作品を展示。	*
日本画教室作品発表展	11月2日～ 5日	日本画教室生徒の作品発表と展示。	作品 25点
第6回たんばはがき絵展	2月14日～28日	県下及び京都丹波地域に、はがきサイズ絵の作品を公募と作品展示。	出展 210点 見学 834
年輪の里フリーマーケット	5月3日・4日	フリマ出店者を募集、日用雑貨、衣類等のリサイクル市を開催。	出店 57件
アート・クラフトフェスティバル インたんば2010	10月2日・3日	全国のアートやクラフトに取り組む人たちの自由な作品を苑内芝生広場で展示をおこない、地域をはじめ来苑者との交流を図った。	14,922

5. 施設案内

走る県民教室等を活用して施設を見学に来られた団体等は次表のとおりである・

地域	来苑日	参加者数(名)	備 考
尼崎市	4/28	40名	大型1台
姫路市	5/1	43名	大型1台
神戸市中央区	5/26	300名	大型6台
但馬	5/28	50名	大型2台
氷上町	5/28	120名	大型3台
氷上町	6/5	140名	大型4台
神戸市	6/13	40名	大型1台
神戸市	6/22	40名	大型1台
神戸市	7/4	100名	大型2台
但馬	7/5	35名	大型1台
神戸	7/11	40名	大型1台
但馬	7/11	23名	マイクロ1台
西宮市	7/24	40名	大型1台
神戸	7/27	30名	大型1台
西宮市	7/29	43名	大型1台
神戸市	8/6	30名	大型1台
神戸市中央区	8/7	30名	大型1台
西宮市	8/20	60名	大型2台
神戸市	8/21	75名	大型2台
伊丹市	8/27	45名	大型1台
神戸市	9/4	80名	大型2台
但馬	9/9	20名	マイクロ1台
小野市	9/28	56名	大型1台
神戸市	10/11	80名	大型2代
神戸	10/22	100名	大型2台
姫路	10/24	30名	大型1台
神戸	10/24	30名	大型1台
神戸	10/24	30名	大型1台
大阪	10/24	30名	大型1台
大阪	10/24	30名	大型1台
大阪	10/24	30名	大型1台
丹波市	10/29	30名	大型1台
西宮市	11/9	30名	大型1台
芦屋市	11/18	28名	マイクロ1台
神戸市	11/24	40名	大型1台
神戸市	11/24	82名	大型2台
阪神・神戸	11/25	21名	マイクロ1台
加東市	1/29	30名	大型1台
尼崎市	2/5	37名	大型1台
尼崎市	3/20	80名	大型2台
芦屋市	3/31	45名	大型1台
計	41団体	2,263名	

活動・施設利用一覧

平成22年4月1日～平成23年3月31日

月 日	主 な 事 項	会 場
平成22年4月		
1	絵画サークル	アトリエ棟
3	バードカービング教室	アトリエ棟
6	日本画教室	研修室A
7	木彫り教室（専科）	工作室B
10	絵画教室 学美隊	研修室B
11	レザークラフト教室	アトリエ棟
13	日本画教室	研修室A
13	火曜クラブ	工作室B
14	木彫り教室（中級）	工作室B
14	工作機器安全点検	工作室
15	絵画サークル	アトリエ棟
17	木彫サークル	アトリエ棟
17	バードカービング教室	アトリエ棟
21	木彫り教室（専科）	工作室B
24	絵画教室 学美隊	研修室B
24	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
27	火曜クラブ	工作室B
28	木彫り教室（中級）	工作室B
29	アトリエ作品展 GW期間(4/29～5/5)	アトリエ棟ほか
5月		
3	親子で木工教室	工作室B
4	親子で木工教室	工作室B
5	木彫り教室（専科）	工作室B
8	刃研ぎ塾	工作室B
8	絵画教室 学美隊	研修室B
9	レザークラフト教室	アトリエ棟
11	火曜クラブ	工作室B
11	日本画教室	研修室A
12	工作機械安全点検	工作室
12	木彫り教室（中級）	工作室B
13	木育木工教室	工作室B
15	木彫サークル	アトリエ棟
15	バードカービング教室	アトリエ棟
15	木木市（1日目）	木の館ホールほか
19	木彫り教室（専科）	工作室B
20	絵画サークル	アトリエ棟
22	絵画教室 学美隊	研修室B
22	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
23	アートクラフトフェスフェスティバル打合せ	会議室

25	火曜クラブ	工作室 B
25	日本画教室	研修室 A
26	木彫り教室（中級）	工作室 B
27	木育木工教室	工作室 B
6月		
2	木彫り教室（専科）	工作室 B
3	絵画サークル	アトリエ棟
5	バードカービング教室	アトリエ棟
6	マイ箸づくり教室	工作室 B
8	日本画教室	研修室 A
9	工作機械安全点検	工作室
9	木彫り教室（中級）	工作室 B
12	絵画教室 学美隊	研修室 B
13	マイ箸づくり教室	工作室 B
13	レザークラフト教室	アトリエ棟
15	火曜クラブ	工作室 B
15	日本画教室	研修室 A
16	木彫り教室（専科）	工作室 B
17	絵画サークル	アトリエ棟
19	木彫サークル	アトリエ棟
19	バードカービング教室	アトリエ棟
20	マイ箸づくり教室	工作室 B
22	グラウンドゴルフ大会	芝生広場
23	木彫り教室（中級）	工作室 B
26	絵画教室 学美隊	研修室 B
26	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
27	マイ箸づくり教室	工作室 B
29	火曜クラブ	工作室 B
29	日本画教室	研修室 A
7月		
1	絵画サークル	アトリエ棟
3	刃研ぎ塾	工作室 B
3	バードカービング教室	アトリエ棟
4	アートクラフトフェスフェスティバル打合せ	会議室
6	日本画教室	研修室 A
7	木彫り教室（専科）	工作室 B
10	絵画教室 学美隊	研修室 B
11	レザークラフト教室	アトリエ棟
13	日本画教室	研修室 A
14	工作機械安全点検	工作室
14	木彫り教室（中級）	工作室 B
15	絵画サークル	アトリエ棟
15・16	木材劣化研修会(木材保存協会)	研修室 A
17	バードカービング教室	アトリエ棟
17	木彫サークル	アトリエ棟
21	木彫り教室（専科）	工作室 B

	22	緑の少年団	工作室、研修室ほか
	24	絵画教室 学美隊	研修室 B
	24	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
	24・25	コパ・カイバラ少年サッカー大会	イベント広場
	25	夏休み親子工作教室	工作室 A
	27	日本画教室	研修室 A
	28	木彫り教室（中級）	工作室 B
	31	アートクラフトフェスフェスティバル打合せ	会議室
8月			
	3	火曜クラブ	工作室 B
	3	日本画教室	研修室 A
	4	木彫り教室（専科）	工作室 B
	7	親子で絵本を楽しもう	研修室 A
	7	バードカービング教室	アトリエ棟
	7	絵画教室 学美隊	研修室 B
	10	日本画教室	研修室 A
	11	木彫り教室（中級）	工作室 B
	17	火曜クラブ	工作室 B
	18	アートクラフトフェスフェスティバル打合せ	会議室
	18	木彫り教室（専科）	工作室 B
	19	絵画サークル	アトリエ棟
	21	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
	21	木彫サークル	アトリエ棟
	21	バードカービング教室	アトリエ棟
	22	つくって飛ばそう竹とんぼ大会	芝生広場
	24	日本画教室	研修室 A
	25	木彫り教室（中級）	工作室 B
	28	絵画教室 学美隊	研修室 B
	31	火曜クラブ	工作室 B
9月		日本画教室	研修室 A
	1	木彫り教室（専科）	工作室 B
	4	バードカービング教室	アトリエ棟
	5	アートクラフトフェスフェスティバル打合せ	会議室
	5	陶芸教室	工作室 A
	5	刃研ぎ塾	工作室 B
	7	日本画教室	研修室 A
	8	工作機械安全点検	工作室
	8	木彫り教室（中級）	工作室 B
	9	絵画サークル	アトリエ棟
	10	丹波の森ウッドクラフト展一般の部審査会	研修室 A
	11	絵画教室 学美隊	研修室 B
	12	木育木工教室	工作室 B
	12	レザークラフト教室	アトリエ棟
	14	火曜クラブ	工作室 B
	14	日本画教室	研修室 A
	15	木彫り教室（専科）	工作室 B

15	アートクラフトフェスフェスティバル打合せ	会議室
18	バードカービング教室	アトリエ A 棟
18	木彫サークル	アトリエ棟
19	木育木工教室	工作室 B
9/19~10/3	丹波の森ウッドクラフト展一般の部作品展	木の館ホール
22	木彫り教室（中級）	工作室 B
25	絵画教室 学美隊	研修室 B
25	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
26	木育木工教室	工作室 B
28	日本画教室	研修室 A
28	火曜クラブ	工作室 B
28	グラウンドゴルフ大会	芝生広場
10月		
2	バードカービング教室	アトリエ A 棟
2・3	アートクラフトフェスティバル 2010	芝生広場
3	丹波の森ウッドクラフト展一般の部表彰式	研修室 A
5	日本画教室	研修室 A
6	木彫り教室（専科）	工作室 B
7	絵画サークル	アトリエ棟
9	絵画教室 学美隊	研修室 B
10	レザークラフト教室	アトリエ棟
10	木育木工教室	工作室 B
13	工作機械安全点検	工作室
13	木彫り教室（中級）	工作室 B
16	丹波の森ウッドクラフト展ジュニアの部審査会	研修室 A
16	木彫サークル	アトリエ棟
16	バードカービング教室	アトリエ棟
19	火曜クラブ	工作室 B
19	日本画教室	研修室 A
20	木彫り教室（専科）	工作室 B
21	絵画サークル	アトリエ棟
23	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
23	絵画教室 学美隊	研修室 B
26	日本画教室	研修室 A
10/24~11/7	丹波の森ウッドクラフト展ジュニアの部	木の館ホール
27	木彫り教室（中級）	工作室 B
30	木材講演会	研修室 A
11月		
2	火曜クラブ	工作室 B
2~5	日本画教室作品展	研修室 A
3	木彫り教室（専科）	工作室 B
4	絵画サークル	アトリエ棟
6	バードカービング教室	アトリエ棟
7	丹波の森ウッドクラフト展ジュニアの部表彰式	研修室 A
7	レザークラフト教室	アトリエ棟
9	日本画教室	研修室 A

10	工作機械安全点検	工作室
10	木彫り教室（中級）	工作室 B
13	刃研ぎ塾	工作室 B
13	絵画教室 学美隊	研修室 B
16	日本画教室	研修室 A
16	絵画サークル	アトリエ棟
17	木彫り教室（専科）	工作室 B
20	木彫サークル	アトリエ棟
20	バードカービング教室	アトリエ棟
20	木木市	木の館ホールほか
21	木育木工教室	工作室 B
24	木彫り教室（中級）	工作室 B
27	絵画教室 学美隊	研修室 B
27	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
28	木育木工教室	工作室 B
28	アートクラフトフェスフェスティバル会議	会議室
30	日本画教室	研修室 A

12月

1	木彫り教室（専科）	工作室 B
3	絵画サークル	アトリエ棟
4	my スプーンをつくろう	工作室 B
4	バードカービング教室	アトリエ棟
5	クリスマスリース教室	研修室 A
5	木育木工教室	工作室 B
5	レザークラフト教室	アトリエ棟
7	日本画教室	研修室 A
7	グラウンドゴルフ大会	芝生広場
8	工作機械安全点検	工作室
8	木彫り教室（中級）	工作室 B
11	絵画教室 学美隊	研修室 B
11	アートクラフトフェスフェスティバル会議	会議室
12	my スプーンをつくろう	工作室 B
14	火曜クラブ	工作室 B
14	日本画教室	研修室 A
15	木彫り教室（専科）	工作室 B
16	絵画サークル	アトリエ棟
18	木彫サークル	アトリエ棟
18	バードカービング教室	アトリエ棟
21	日本画教室	研修室 A
22	木彫り教室（中級）	工作室 B
25	絵画教室 学美隊	研修室 B

平成23年1月

4	日本画教室	研修室 A
5	木彫り教室（専科）	工作室 B
8	絵画教室 学美隊	研修室 B
8	バードカービング教室	アトリエ A 棟

9	レザークラフト教室	アトリエ棟
12	工作機械安全点検	工作室
12	木彫り教室（中級）	工作室B
15	木彫サークル	アトリエ棟
15	バードカービング教室	アトリエA棟
16	刃研ぎ塾	工作室B
18	日本画教室	研修室A
18	火曜クラブ	工作室B
19	木彫り教室（専科）	工作室B
20	にっこり笑えば木工教室	工作室B
22	絵画教室 学美隊	研修室B
22	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
25	たんばはがき絵展審査会	研修室A
25	日本画教室	研修室A
26	木彫り教室（中級）	工作室B
27	にっこり笑えば木工教室	工作室B
27	絵画サークル	アトリエ棟
2月		
1	日本画教室	研修室A
1	火曜クラブ	工作室B
2	木彫り教室（専科）	工作室B
2	丹波の森ウッドクラフト展実行委員会	研修室A
3	にっこり笑えば木工教室	工作室B
3	絵画サークル	アトリエ棟
5	バードカービング教室	アトリエ棟
8	日本画教室	研修室A
9	工作機械安全点検	工作室
9	木彫り教室（中級）	工作室B
10	にっこり笑えば木工教室	工作室B
11	暮らしの道具手づくり教室	工作室B
2/12~27	たんばはがき絵 作品展	木の館ホール
12	絵画教室 学美隊	研修室B
13	レザークラフト教室	アトリエ棟
13	木育木工教室	工作室B
16	木彫り教室（専科）	工作室B
17	にっこり笑えば木工教室	工作室B
18	暮らしの道具手づくり教室	工作室B
19	バードカービング教室	アトリエ棟
19	木彫サークル	工作室B
20	木育木工教室	工作室B
20	たんばはがき絵展表彰式	研修室A
22	日本画教室	研修室A
23	木彫り教室（中級）	工作室B
24	にっこり笑えば木工教室	工作室B
26	絵画教室 学美隊	研修室B
26	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟

27	木育木工教室	工作室 B
3月		
1	火曜クラブ	工作室 B
1	日本画教室	研修室 A
2	木彫り教室（専科）	工作室 B
3	絵画サークル	アトリエ棟
5	バードカービング教室	アトリエ棟
6	木育木工教室	工作室 B
8	グラウンドゴルフ大会	芝生広場
8	日本画教室	研修室 A
9	工作機械安全点検	工作室
9	木彫り教室（中級）	工作室 B
12	絵画教室 学美隊	研修室 B
13	木育木工教室	工作室 B
13	レザークラフト教室	アトリエ棟
15	日本画教室	研修室 A
16	木彫り教室（専科）	工作室 B
19	絵本を楽しもう	研修室 A
19	木彫サークル	工作室 B
19	バードカービング教室	アトリエ棟
20	my スプーンをつくろう	工作室 B
23	木彫り教室（中級）	工作室 B
24	絵画サークル	アトリエ棟
26	刃研ぎ塾	工作室 B
26	絵画教室 学美隊	研修室 B
26	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
29	火曜クラブ	工作室 B

平成22年度兵庫県立丹波年輪の里運営協議会運営委員

平成23年3月2日現在

(敬称略)

職名	氏名	職名	備考
会長	河合雅雄	丹波の森公苑 名誉公苑長	
副会長	辻重五郎	丹波市長	
委員	足立秀男	連合兵庫丹波地域協議会事務局長	
委員	井口剛	ささやまの森公園長兼事務局長	
委員	伊藤聡	丹波県民局長	
委員	上田棟次郎	丹波市木材林産協同組合理事長	
委員	大木豊	丹波市観光協会会長	
委員	荻大陸	京都創成大学教授	
委員	小田繁雄	丹波市教育長	
委員	小森真一	ひょうごCSRクラブ丹波支部長	
委員	高見豊	(有)ウッドワーク丹波顧問	
委員	中瀬勲	丹波の森公苑 公苑長	
委員	畑田久祐	丹波市中央公民館長	
委員	村上康充	丹波市商工会長	
委員	吉見守正	神戸新聞社 丹波総局長	

平成22年度兵庫県立丹波年輪の里運営協議会運営委員会開催状況

開催日	開催地	出席者数	協議事項
平成23年3月2日	丹波年輪の里 研修室A	13名 *オブザーバー 3名(県等関係者)	1 平成22年度の事業実施状況について 2 平成23年度の事業計画について

沿革

丹波年輪の里の設置

1 設置目的

木とのふれあいの中で、勤労青少年の文化活動、スポーツ活動およびレクリエーション活動を促進し、あわせて勤労者をはじめ広く県民に憩いの広場を提供するとともに、林産振興に寄与することを目的とする。

2 沿革

昭和63年	4月	丹波年輪の里竣工式典を挙行
	4月	常陸宮ご夫妻ご来苑
	4月	ホロンピア'88「北摂丹波の祭典」のイベントとして *「21世紀をになう青少年祭」(4/17~11/6)を開催
	4月	ウイーン市公園局長パウエル・シーラー氏来苑
	8月	入苑者10万人達成
	10月	「第1回全国ウッドクラフト公募展」開催 *第3回国民文化祭ひょうご'88の事業として開催し、以後、 現在まで毎年開催
平成 元年	10月	旧ソ連ハバロフスク地方友好代表団来苑 ・「子供娯楽園」を寄贈
	12月	「子供娯楽園」完成
平成 2年	8月	子どもクラフトデーの開催
平成 3年	10月	旧ソ連ハバロフスク地方友好代表団来苑
平成 4年	3月	ソーラー時計完成
	5月	開苑5周年記念 ツインツリーの植樹(クロガネモチ)
	9月	「第1回クラフト フェスティバル IN たんば'92」開催 ・平成7年「アート・クラフトフェスティバル IN たんば」に改称 ・現在も継続して開催
	10月	入苑者100万人を突破
平成 5年	4月	アトリエ102-3展
平成 5年	11月	森林文化祭国民会議等参加者来苑 ・ウイーン13区 ハイנטツ・ゲルトバッハ区長ほか20名
平成 6年	3月	全国竹とんぼ競技大会 in たんば

平成 7年	2月	阪神・淡路大震災被災者支援「竹とんぼ教室」開催 (開催場所：神戸市灘区・西宮市・伊丹市・宝塚市)
平成 8年	8月	全国産直住宅展
平成 9年	5月	入苑者200万人を突破
	10月	開苑10周年記念 第10回全国ウッドクラフト公募展開催 ・同 記念巡回展開催 11月東京会場 12月神戸会場 ・ 1月愛知春日井会場 1月丹波の森公苑
平成10年	5月	第1回木木市(もくもくいち)開催
平成11年	7月	第1回コパ・カイバラ少年サッカー大会開催
平成11年	11月	ひょうご勤労者Vネット丹波コーディネーターセンター設置(事務所) ・平成14年3月閉鎖
平成12年	6月	CSR 丹波支部事務所再設置
平成13年	3月	ざいもくやさんのフェスティバル開催
平成13年	8月	入苑者300万人を突破
平成14年	4月	開苑15周年・春のフェスティバル開催
平成15年	8月	第10回記念 竹とんぼ競技大会開催
平成16年	7月	イベント広場照明設備の改修
平成17年	3月	「子ども娯楽園」の解体撤去
平成17年	4月	「ハバロフスクの館」開館(アトリエB棟改修)
平成18年	4月	芝生広場 グラウンドゴルフ開業(水、木、金曜の平日のみ)
	18年 月	第1回丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会開催
平成19年	12月	丹波の森ウッドクラフト展第20回を記念 特別展 「恐竜の世界(集まれ丹波恐竜)」開催
平成21年	4月	指定管理者(財)兵庫丹波の森協会に移管
平成22年	10月	木育講演会を開催

施設の概要

丹波年輪の里の概要

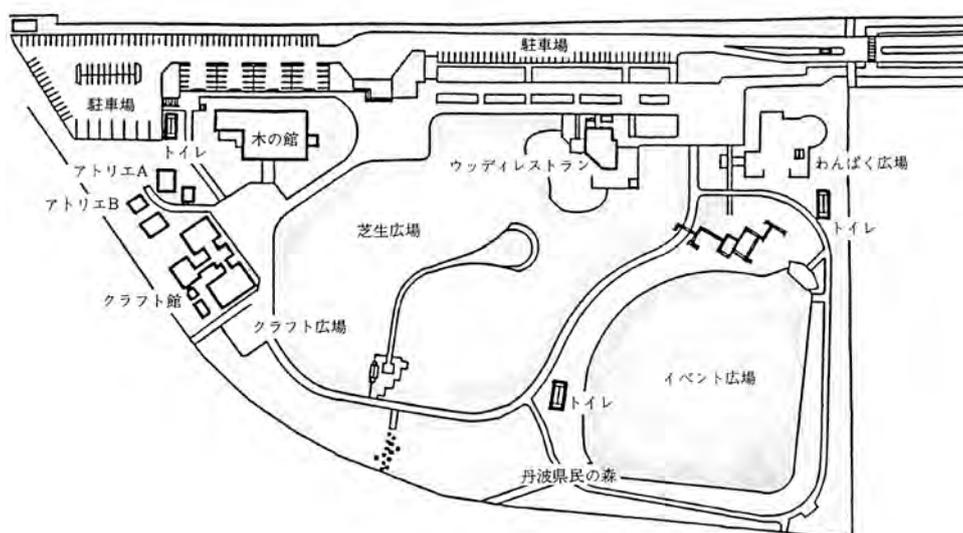
(1) 建物の内訳

名称	建築面積 (㎡)	内容
クラフト館	524.88	工作室A・工作室B・木工機械室・研修室B・図書室・休養室・館長室・業務課・受付
木の館	654.48	研修室A・会議室・多目的ホール・図書資料室・総務課・林産指導課事務室・相談室・倉庫
アトリエA	1棟 64.80	2棟 2階建 1階 洋室32㎡・16㎡ 2階 和室20㎡
アトリエB		
ハバロフスクの館	38.88	ロシア・ハバロフスク州紹介の展示 1階 展示室 24㎡・12㎡ 2階 展示室 9㎡
CSR事務所	38.88	CSR 丹波支部 事務室
レストラン	219.51	約60席 ・営業は業者：喫茶軽食 10時～18時

(2) 屋外施設

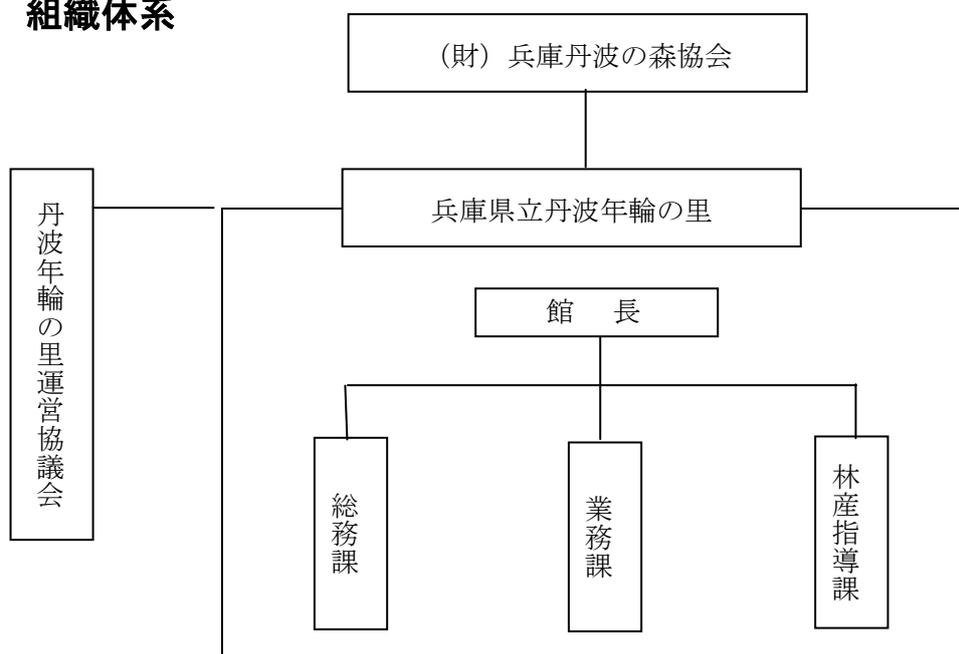
イベント広場	夜間照明設備（照明度平均200ルクス）約80m×約80m
クラフト広場	屋外作業用工作台4台
わんぱく広場	砂場約20㎡、芝生広場、休憩棟1棟、空中回廊・すべり台等
芝生広場	凡そ10000㎡の芝生広場とその中央に小川と修景池がある。
丹波県民の森	丹波地域旧10町の町木（松、ケヤキ、栗、クヌギ、コナラ）などを植栽した森。
駐車場	大型バス7台・普通車153台・身障用5台

「丹波年輪の里」クラフト創造遊苑



組織と職員

(1) 組織体系



(2) 職員

役 職	氏 名
館 長	荻 野 茂
副参事兼総務課長	山 本 勇 二
総務課係長	谷 口 哲
総務課企画担当	中 野 文 代
総務課経理担当	高 階 正 美
業務課長	館長兼務
業務課係長	東 浦 誠
業務課工作指導員	椎 葉 泰 彦
同上	小 泉 匡
同上	泉 真 由 子
業務課受付担当	西 山 珠 美
同上	稲 田 陽 子
林産指導課課長	館長兼務
林産指導専門員	藤 原 一 三
林産指導員	富 永 庸 一

利用案内

丹波の森公苑

■開園時間 午前9時から午後10時まで

■休園日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月31日から1月1日まで
（ただし、アトリエの継続利用については月曜日も利用可）

- アクセス ◇自動車利用
- ・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口 IC」から、国道176号を福知山方面へ25分
 - ・舞鶴若狭自動車道「春日 IC」から、国道175号・176号を柏原方面へ20分
 - ・北近畿豊岡自動車道「氷上 IC」から、柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ15分
 - ・中国自動車道「滝野社 IC」から、国道175号を福知山方面へ45分

- ◇JR利用
- ・JR福知山線「柏原駅」下車、徒歩15分



ささやまの森公園

■開園時間 4・5・6・9月 9:00~18:00
7・8月 9:00~19:00
10月~翌3月 9:00~17:00

■休園日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月31日から1月3日まで

■入園料・駐車料 無料

- アクセス ◇自動車利用
- ・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口 IC」から、国道372号を亀岡方面へ30分
 - ・京都縦貫自動車道「亀岡 IC」から、国道372号を篠山方面へ40分
 - ・北近畿豊岡自動車道「氷上 IC」から、柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ15分
 - ・中国自動車道「滝野社 IC」から、国道175号を福知山方面へ45分

- ◇JR利用
- ・JR福知山線「柏原駅」下車、徒歩15分



丹波年輪の里

■開園時間 午前9時から午後9時まで

■休園日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月31日から1月3日まで

- アクセス ◇自動車利用
- ・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口 IC」から、国道176号を福知山方面へ30分
 - ・舞鶴若狭自動車道「春日 IC」から、国道175号・176号を柏原方面へ15分
 - ・北近畿豊岡自動車道「氷上 IC」から、柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ5分
 - ・中国自動車道「滝野社 IC」から、国道175号を福知山方面へ40分
- ◇JR利用
- ・JR福知山線「柏原駅」下車、車で約5分

